

恩納村障がい福祉計画策定のための  
アンケート調査報告書

令和2年12月

恩納村



## 目 次

I. 調査の概要 .....	1
1. 調査の目的 .....	1
2. 調査の対象 .....	1
3. 調査方法 .....	1
4. 回収結果 .....	1
5. 留意事項 .....	1
II. 障がい者アンケート調査結果 .....	2
1. ご本人について .....	2
2. ご家族や介助者について .....	5
3. 相談・情報入手について .....	13
4. 外出について .....	19
5. 住まいについて .....	21
6. サービスの利用について .....	22
7. 就労について .....	28
8. 権利擁護・虐待について .....	33
9. 地域のこと・暮らしについて .....	43
10. 災害時の避難等について .....	57
11. 自由意見 .....	61
II. 障がい児アンケート調査結果 .....	65
1. お子さんについて .....	65
2. ご家族や介助者について .....	71
3. 保育・療育・教育について .....	79
4. 住まいについて .....	87
5. 外出について .....	88
6. 権利擁護について .....	89
7. 地域での暮らしについて .....	91
8. 自由意見 .....	94



## I. 調査の概要

### 1. 調査の目的

第6期恩納村障がい福祉計画及び第2期恩納村障がい児福祉計画（令和3年度～令和5年度）を策定するにあたり、障がい福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識等を把握し、本村の地域特性に応じた計画づくりの基礎資料とすることを目的とします。

### 2. 調査の対象

＜障がい者及び障がい児＞

恩納村にて、障害者手帳の交付を受けている障がい者 614 人、障がい児 55 人を対象としました（全数に調査）。

### 3. 調査方法

抽出した対象者宛に、返信用封筒を同封した調査票を送付し、郵送による配布回収を基本としながら、調査票の表にある URL から WEB 回答を選ぶことができる方法で調査を実施しました。

### 4. 回収結果

	配布数	郵送回収	WEB 回収	回収数 総計	回収率		
					郵送	WEB	計
障がい者アンケート	613	280	13	293	45.7%	2.1%	47.8%
障がい児アンケート	54	19	2	21	35.2%	3.7%	38.9%

※障がい者、障がい児ともに 1 件ずつ宛先不明による返送があったため、上記の配布数は対象者より 1 件少ない数となっています。

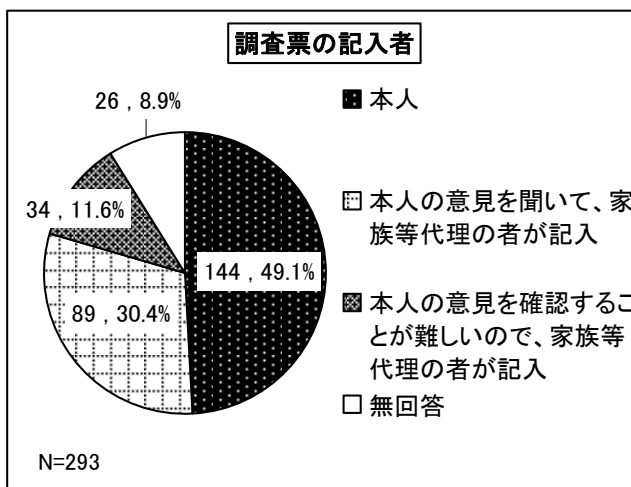
### 5. 留意事項

- ① 小数点第 2 位を四捨五入しているため、割合の合計は 100%一致しない場合があります。
- ② 回答者を限定した質問に対しては、限定回答者数を母数として集計しました。
- ③ 各質問に対するグラフ表示は、単純集計の場合は円グラフ、複数回答の場合には横棒グラフで表示しています。複数回答の合計割合は 100%を超えることがあります。

## Ⅱ. 障がい者アンケート調査結果

◎この調査票にご記入いただくのはどなたですか。(1つだけ○)

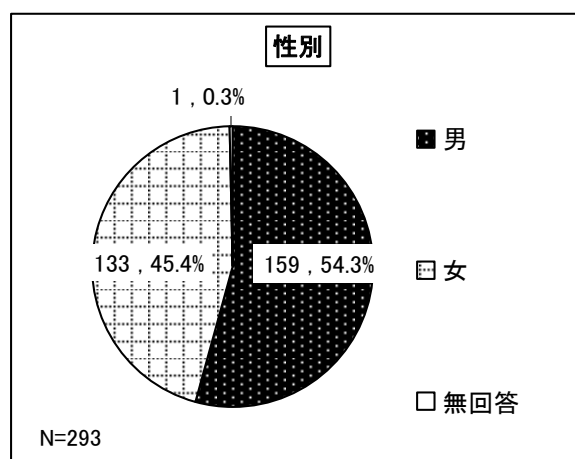
調査票の記入者を見ると、「本人」が49.1%で最も多く、次いで「本人の意見を聞いて、家族等代理の者が記入」の30.4%、「本人の意見を確認することが難しいので、家族等代理の者が記入」の11.6%となっています。



### 1. ご本人について

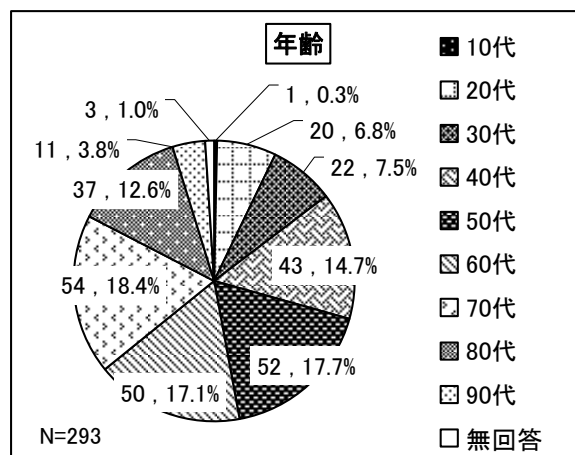
問1 あなたの性別は。(1つだけ○)

性別をみると、「男」が54.3%で最も多く、次いで「女」の45.4%となっています。



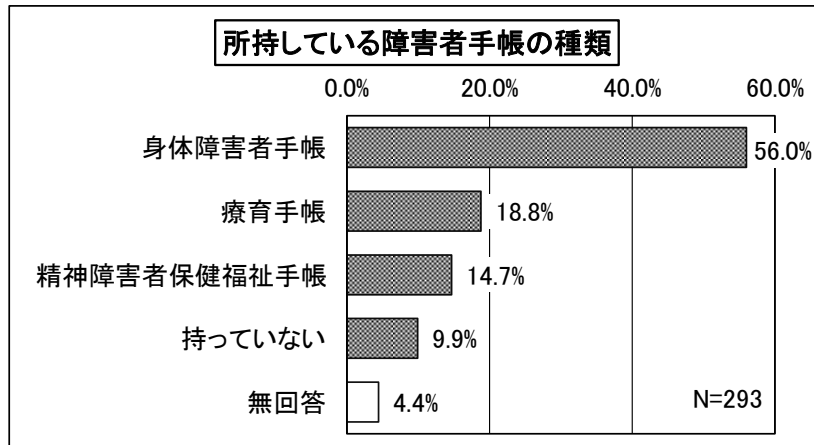
問2 あなたの年齢は。(令和2年1月1日現在の満年齢を記入してください。)

年齢をみると、「70代」が18.4%で最も多く、次いで「50代」の17.7%、「60代」の17.1%、「40代」の14.7%、「80代」の12.6%等となっています。



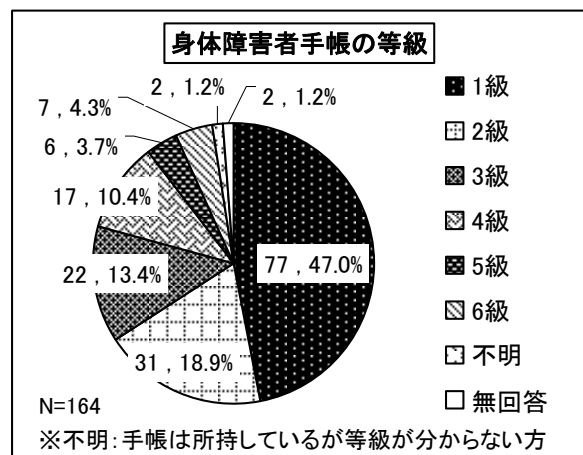
問3 あなたの持っている障害者手帳の種類は何ですか。(あてはまるものすべてに○) また、手帳に記載されている障がいの等級(程度)について、あてはまるものを○で囲んでください。

所持している障害者手帳の種類第1位は「身体障害者手帳」の56.0%、第2位は「療育手帳」の18.8%、第3位は「精神障害者保健福祉手帳」の14.7%、第4位は「持っていない」の9.9%となっています。



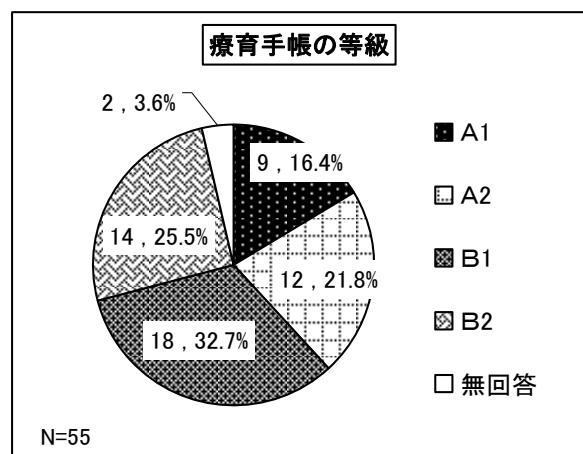
### ①身体障害者手帳の等級

身体障害者手帳の等級をみると、「1級」が47.0%で最も多く、次いで「2級」の18.9%、「3級」の13.4%、「4級」の10.4%、「6級」の4.3%等となっています。



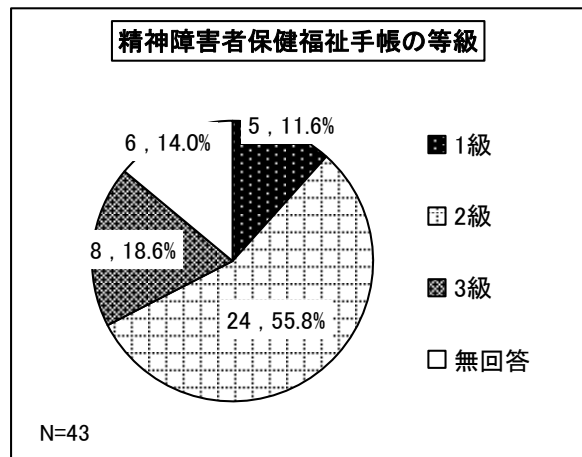
### ②療育手帳の等級

療育手帳の等級をみると、「B1」が32.7%で最も多く、次いで「B2」の25.5%、「A2」の21.8%、「A1」の16.4%となっています。



### ③精神障害者保健福祉手帳の等級

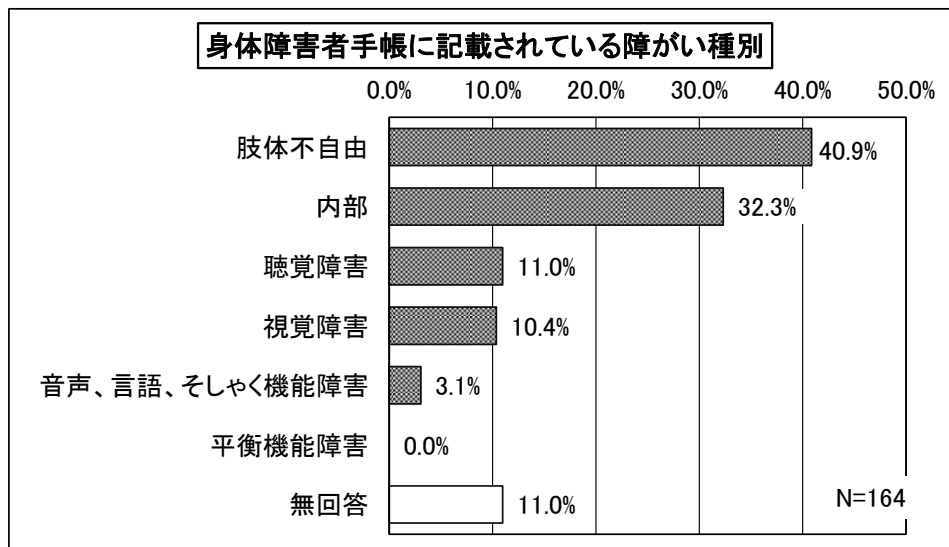
精神障害者保健福祉手帳の等級をみると、「2級」が55.8%で最も多く、次いで「3級」の18.6%、「1級」の11.6%となっています。



問4 身体障害者手帳に記載されている障がいの種類は次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

身体障害者手帳に記載されている障がい種別の第1位は「肢体不自由」の40.9%、第2位は「内部」の32.3%、第3位は「聴覚障害」の11.0%、第4位は「視覚障害」の10.4%、第5位は「音声、言語、そしゃく機能障害」の3.1%等となっています。

なお、「平衡機能障害」との回答はありません。

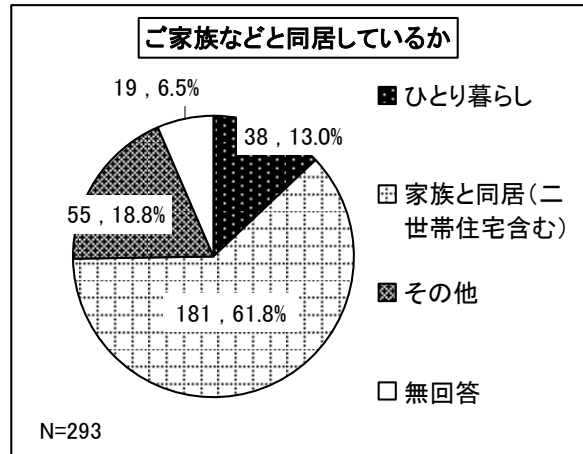




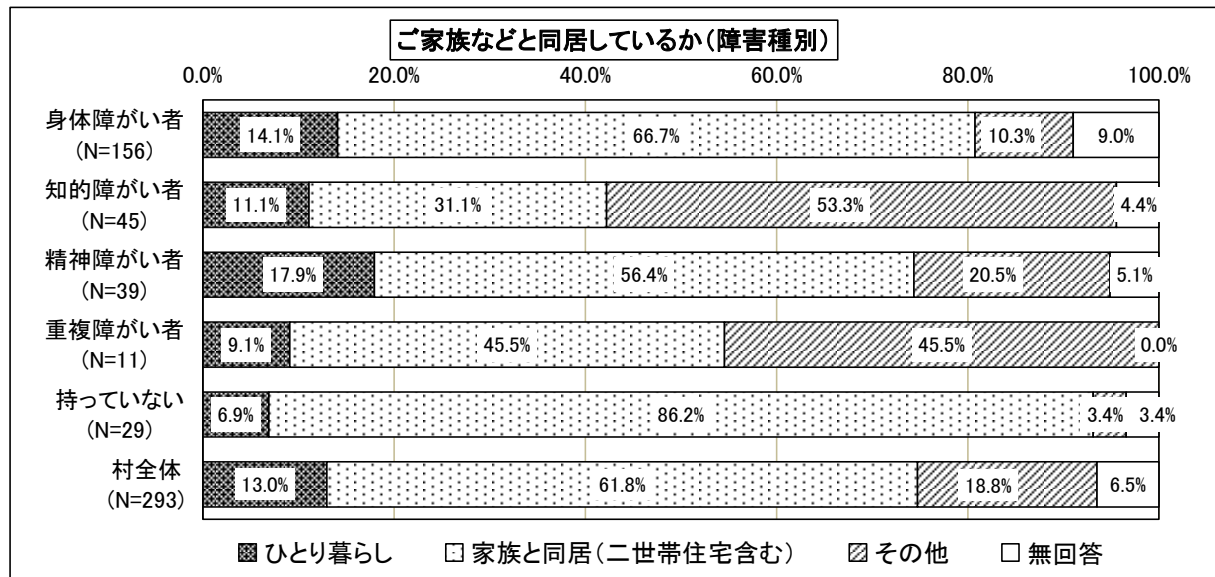
## 2. ご家族や介助者について

問5 あなたは、ご家族などと同居していますか。(1つだけ○)

ご家族などと同居しているかをみると、「家族と同居(二世帯住宅含む)」が61.8%で最も多く、次いで「その他」の18.8%、「ひとり暮らし」の13.0%となっています。

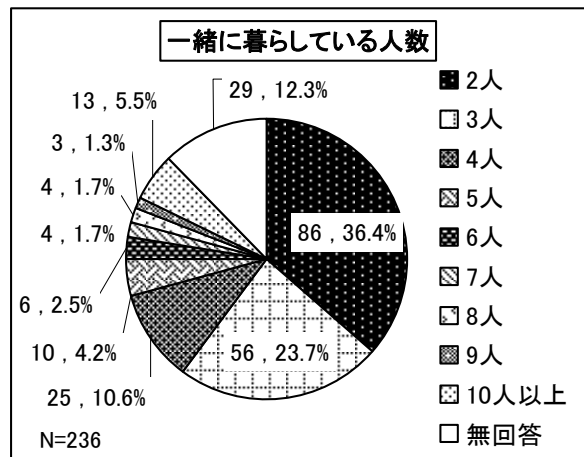


障害種別でみると、ほとんどの障害種別で「家族と同居(二世帯住宅含む)」との回答が最も多くなっています(重複障がい者は「その他」も同率)。一方、知的障がい者では「その他」の回答割合が最も多くなっています。



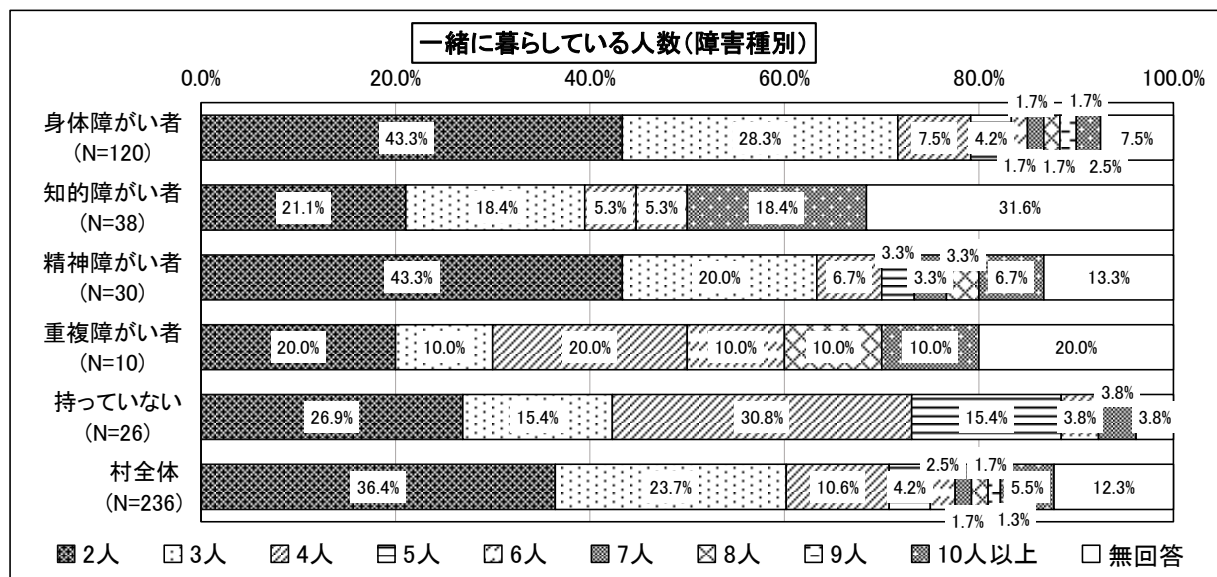
問6 あなた自身を含めて何人で暮らしていますか。

一緒に暮らしている人数をみると、「2人」が36.4%で最も多く、次いで「3人」の23.7%、「4人」の10.6%、「10人以上」の5.5%、「5人」の4.2%等となっています。



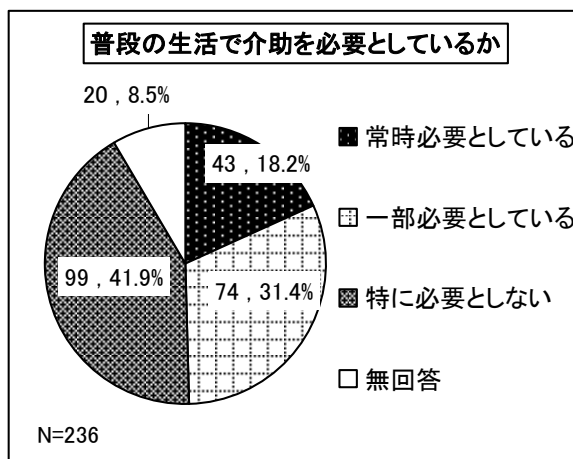
障害種別でみると、身体障がい者及び知的障がい者、精神障がい者、重複障がい者では「2人」との回答が最も多くなっています（重複障がい者は「4人」も同率）。

また、持っていないでは「4人」が最も多くなっています。

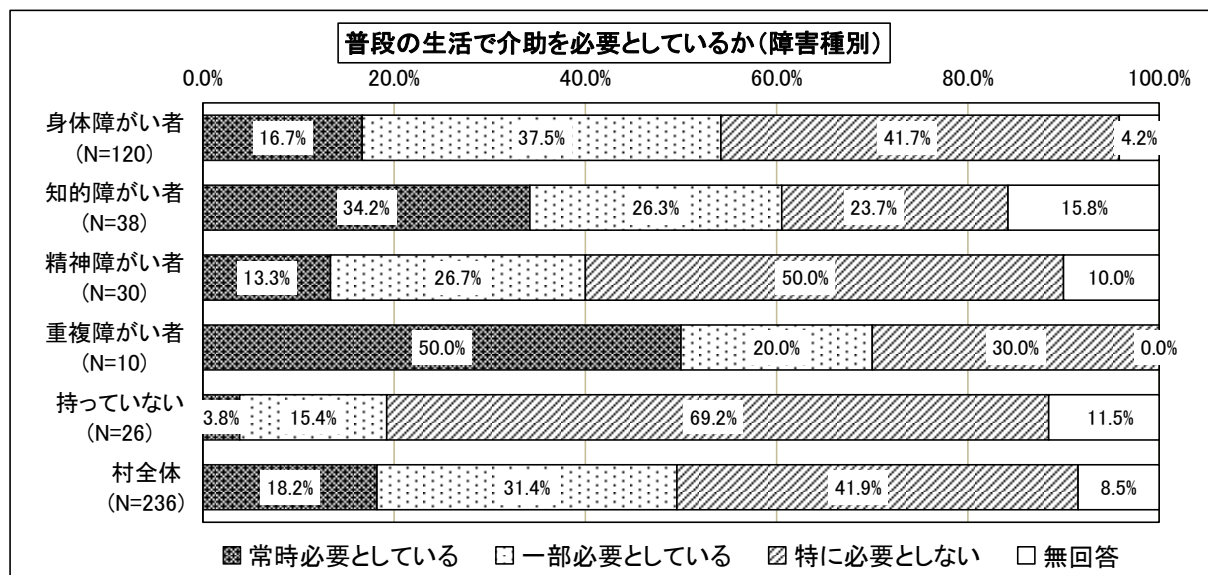


問7 あなたは、普段の生活で介助を必要としていますか。(1つだけ○)

普段の生活で介助を必要としているかをみると、「特に必要としない」が41.9%で最も多く、次いで「一部必要としている」の31.4%、「常時必要としている」の18.2%となっています。



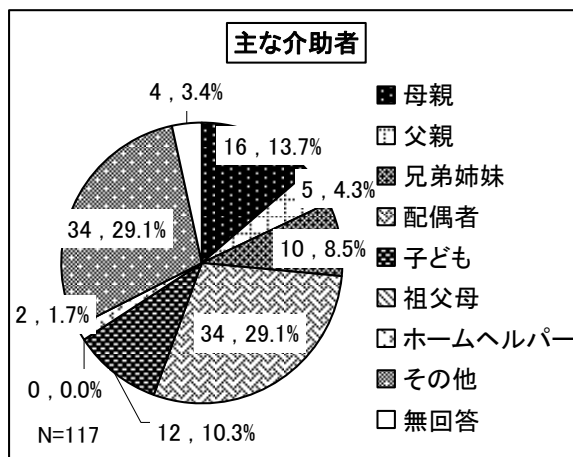
障害種別でみると、「常時必要としている」との回答で最も多いのは重複障がい者で50.0%と半数を占めています。一方、精神障がい者では「特に必要としない」との回答が50.0%で半数を占めています。



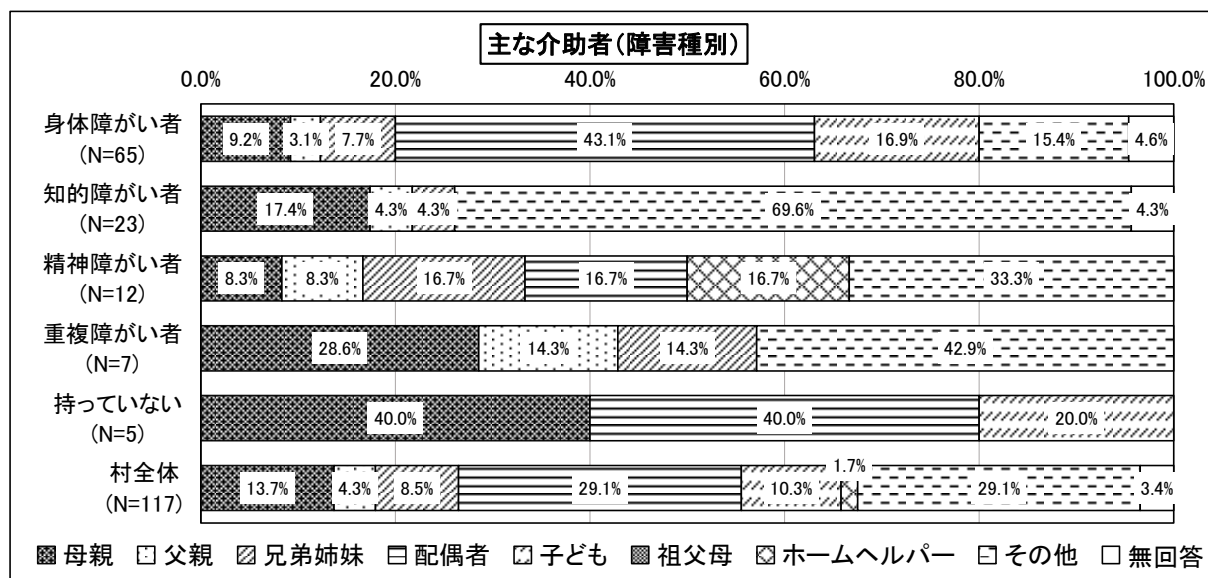
問8 あなたの主な介助者はどなたですか。(1つだけ○)

主な介助者を見ると、「配偶者」及び「その他」が同率の29.1%で最も多く、次いで「母親」の13.7%、「子ども」の10.3%、「兄弟姉妹」の8.5%等となっています。

なお、「祖父母」との回答はありません。



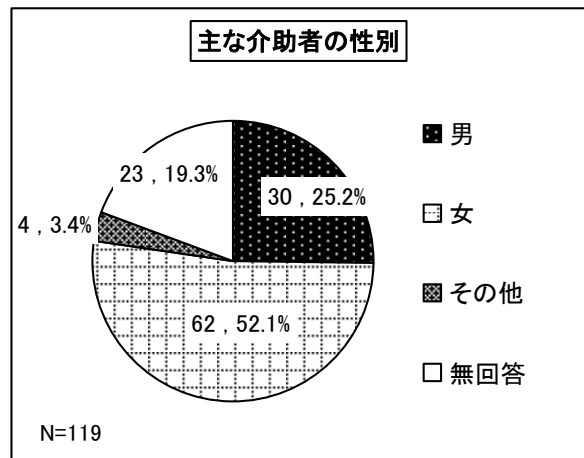
障害種別でみると、知的障がい者及び精神障がい者、重複障がい者では「その他」との回答が最も多く、それぞれ69.6%、33.3%、42.9%となっています。また、身体障がい者及び持っていないでは「配偶者」との回答が最も多く、それぞれ43.1%、40.0%となっています（持っていないでは「母親」も同率）。



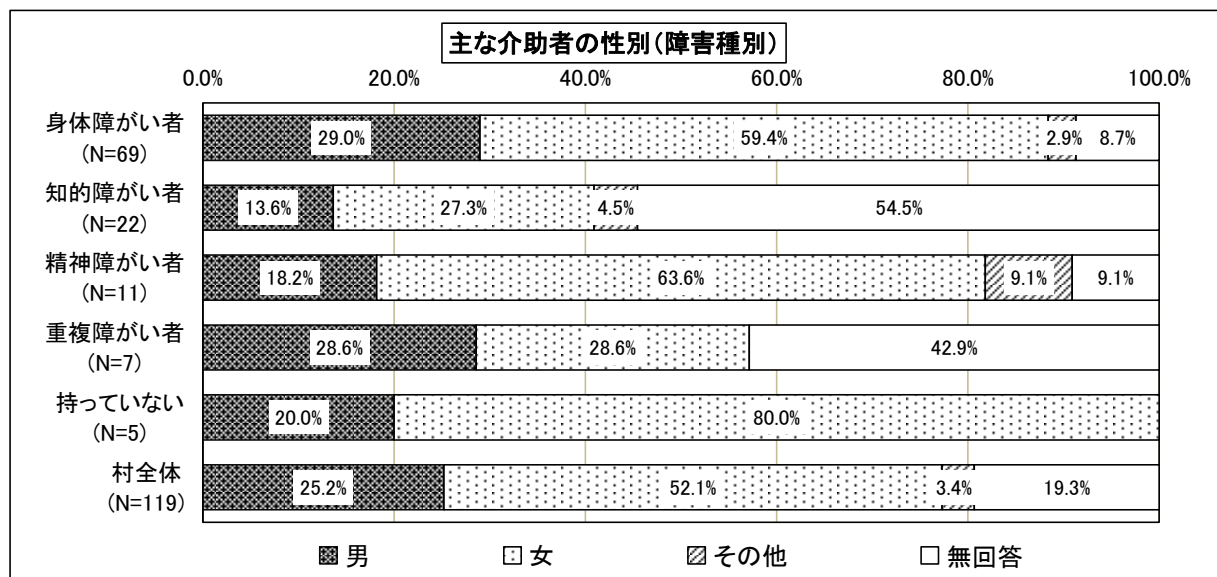
問 9 主な介助者の性別と年齢を教えてください。(年齢は令和 2 年 1 月 1 日現在)(性別、年齢のそれぞれ 1 つに○)

①性別

主な介助者の性別をみると、「女」が 52.1% で最も多く、次いで「男」の 25.2%、「その他」の 3.4%となっています。



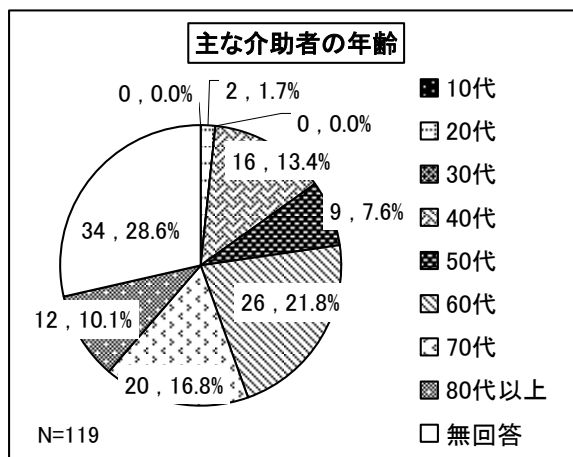
障害種別でみると、全ての障害種別で「女」との回答が最も多くなっています(重複障がい者では「男」も同率)。特に、身体障がい者及び精神障がい者、持っていないでは「女」が過半数を占めています。



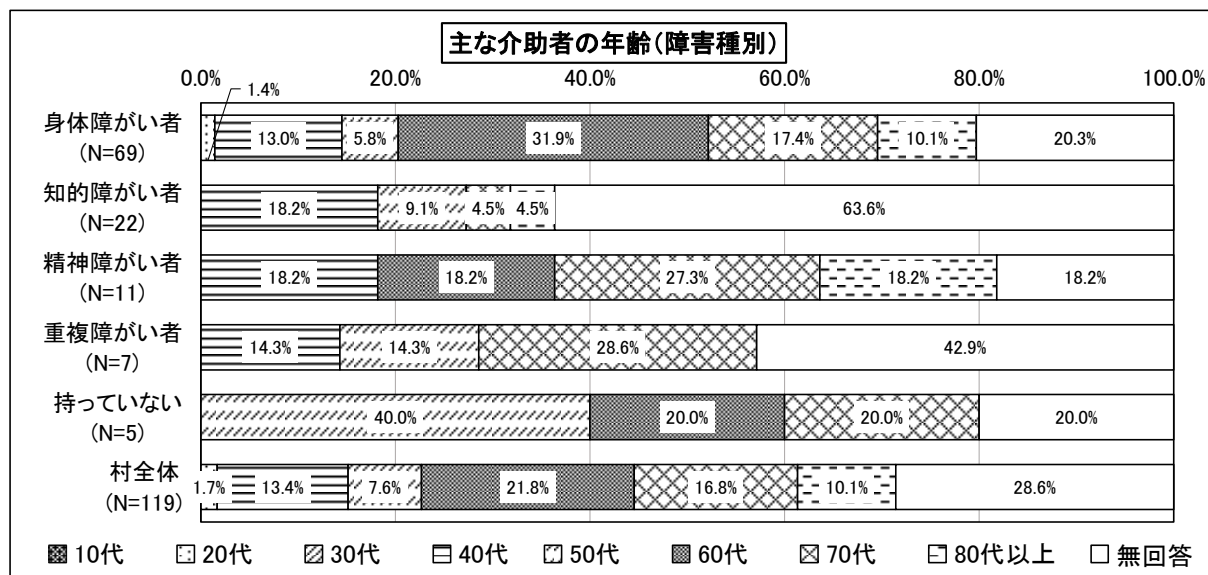
②年齢

主な介助者の年齢をみると、「60代」が21.8%で最も多く、次いで「70代」の16.8%、「40代」の13.4%、「80代以上」の10.1%、「50代」の7.6%等となっています。

なお、「10代」及び「30代」との回答はありません。

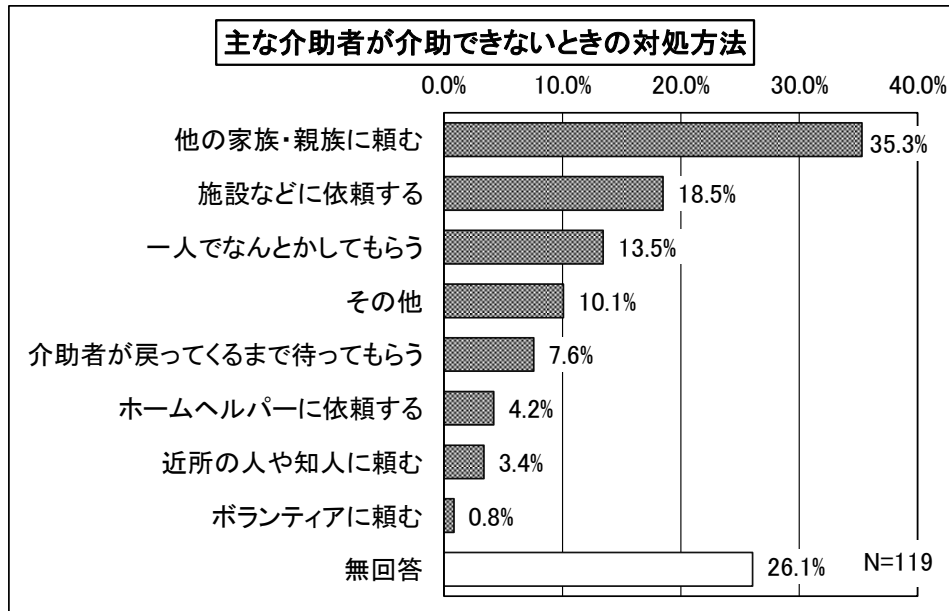


障害種別でみると、身体障がい者では「60代」が31.9%、知的障がい者では「40代」が18.2%、精神障がい者及び重複障がい者では「70代」がそれぞれ27.3%、28.6%、持っていないでは「50代」が40.0%で最も多くなっています。



問 10 主な介助者が病気や用事などで介助できないとき、ご本人の介助はどうしていますか。(あてはまるものすべてに○)

主な介助者が介助できないときの対処方法の第 1 位は「他の家族・親族に頼む」の 35.3%、第 2 位は「施設などに依頼する」の 18.5%、第 3 位は「一人でなんとかしてもらう」の 13.5%、第 4 位は「その他」の 10.1%、第 5 位は「介助者が戻ってくるまで待ってもらう」の 7.6%等となっています。

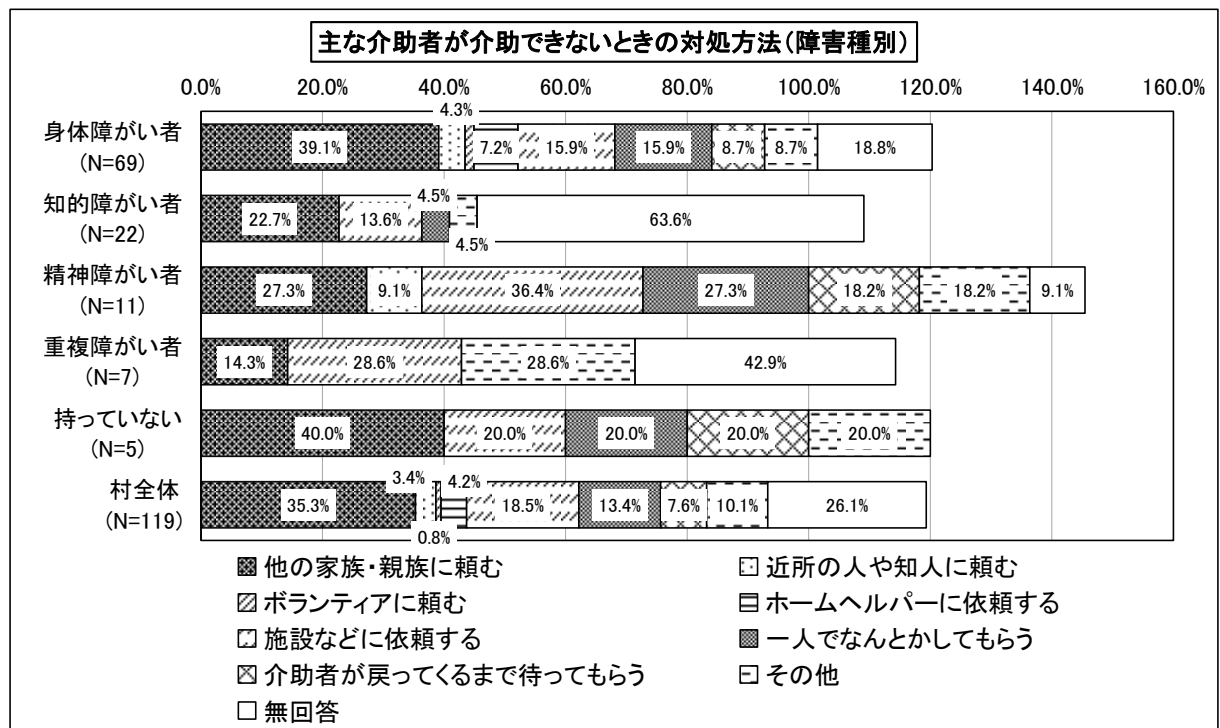


障害種別でみると、身体障がい者及び知的障がい者、持っていないでは「他の家族・親族に頼む」がそれぞれ39.1%、22.7%、40.0%で最も多くなっています。

また、精神障がい者及び重複障がい者では「施設などに依頼する」がそれぞれ36.4%、28.6%で最も多くなっています（重複障がい者では「その他」も同率）。

主な介助者が介助できないときの対処方法(障害種別)

	他の家族・親族に頼む	近所の人や知人に頼む	ボランティアに頼む	ホームヘルパーに依頼する	施設などに依頼する	一人でなんとかしてもらおう	介助者が戻ってくるまで待ってもらおう	その他	無回答
身体障がい者(N=69)	39.1%	4.3%	1.4%	7.2%	15.9%	15.9%	8.7%	8.7%	18.8%
知的障がい者(N=22)	22.7%	0.0%	0.0%	0.0%	13.6%	4.5%	0.0%	4.5%	63.6%
精神障がい者(N=11)	27.3%	9.1%	0.0%	0.0%	36.4%	27.3%	18.2%	18.2%	9.1%
重複障がい者(N=7)	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	28.6%	42.9%
持っていない(N=5)	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%
村全体(N=119)	35.3%	3.4%	0.8%	4.2%	18.5%	13.4%	7.6%	10.1%	26.1%

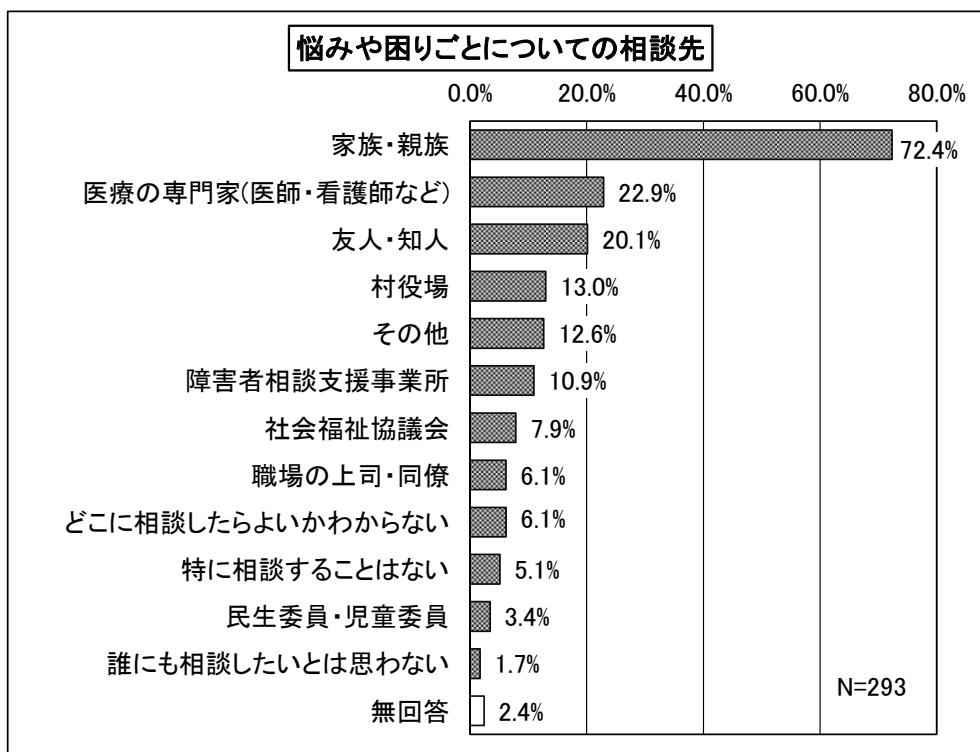




### 3. 相談・情報入手について

問 11 悩みや困りごとについて、誰（どこ）に相談していますか。（あてはまるものすべてに○）

悩みや困りごとについての相談先の第1位は「家族・親族」の72.4%、第2位は「医療の専門家(医師・看護師など)」の22.9%、第3位は「友人・知人」の20.1%、第4位は「村役場」の13.0%、第5位は「その他」の12.6%等となっています。

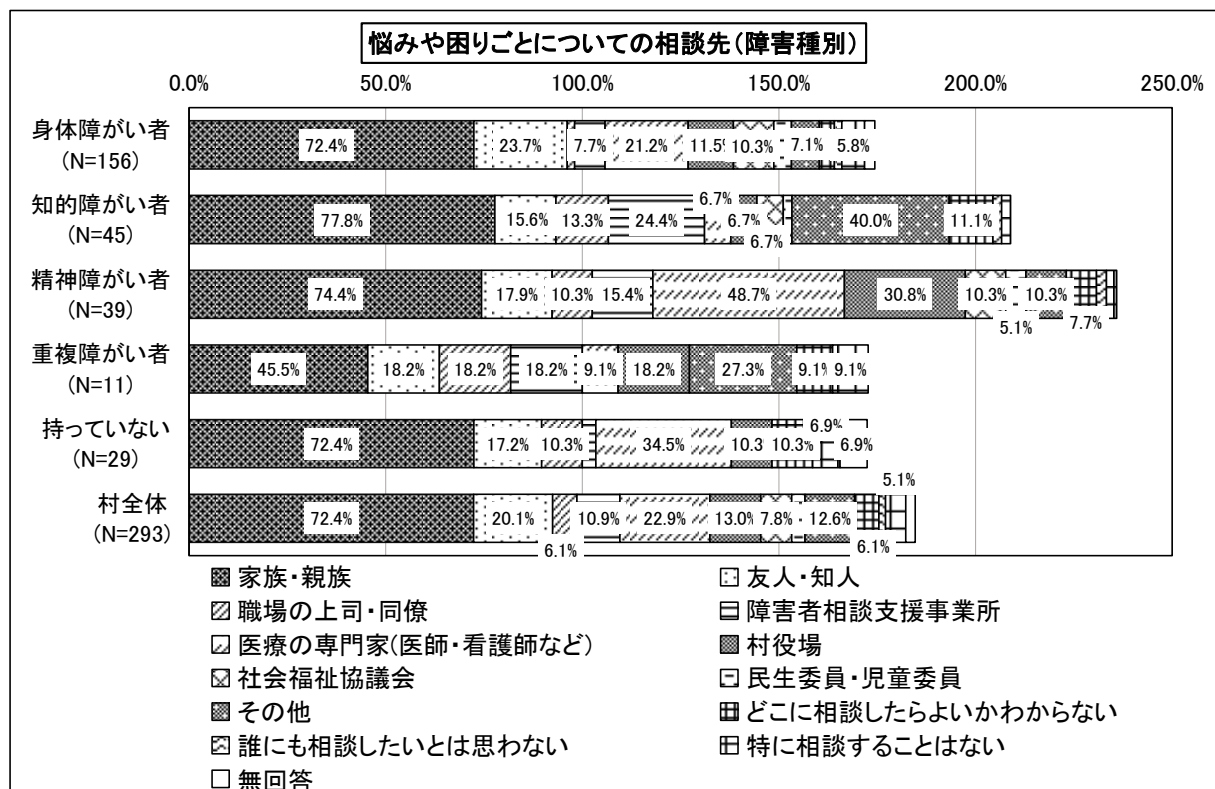


障害種別でみると、全ての障害種別で「家族・親族」との回答が最も多くなっています。一方、次点での回答に差が生じており、身体障がい者では「友人・知人」、知的障がい者及び重複障がい者では「その他」、精神障がい者及び持っていないでは「医療の専門家(医師・看護師など）」との回答が次点で多くなっています。

悩みや困りごとについての相談先(障害種別)

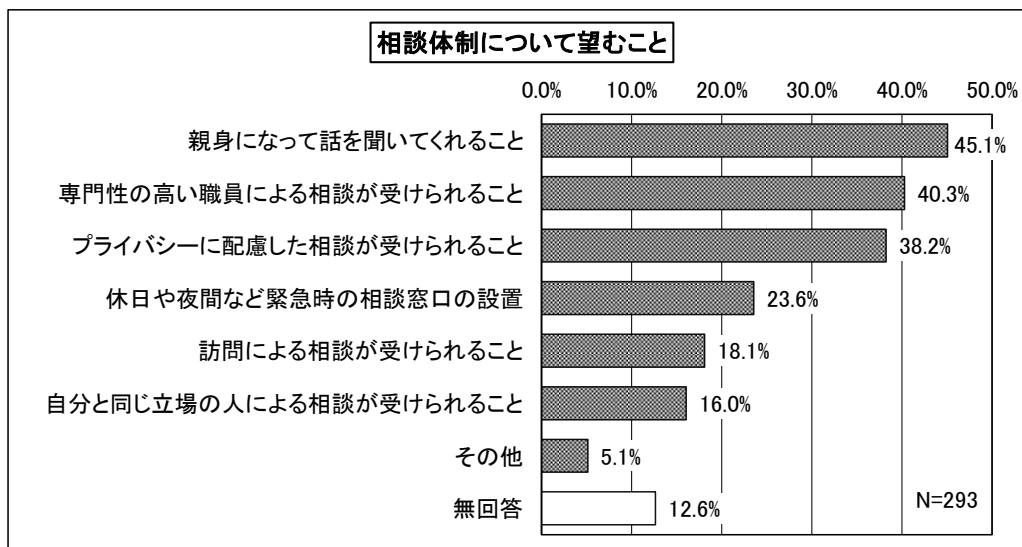
	家族・親族	友人・知人	職場の上 司・同僚	障害者相 談支援事 業所	医療の専 門家(医 師・看護 師など)	村役場	社会福祉 協議会
身体障がい者(N=156)	72.4%	23.7%	1.9%	7.7%	21.2%	11.5%	10.3%
知的障がい者(N=45)	77.8%	15.6%	13.3%	24.4%	6.7%	6.7%	6.7%
精神障がい者(N=39)	74.4%	17.9%	10.3%	15.4%	48.7%	30.8%	10.3%
重複障がい者(N=11)	45.5%	18.2%	18.2%	18.2%	9.1%	18.2%	0.0%
持っていない(N=29)	72.4%	17.2%	10.3%	3.4%	34.5%	10.3%	0.0%
村全体(N=293)	72.4%	20.1%	6.1%	10.9%	22.9%	13.0%	7.8%

	民生委 員・児童 委員	その他	どこに相 談したらよ いかわか らない	誰にも相 談したいと は思わな い	特に相談 すること はない	無回答
身体障がい者(N=156)	4.5%	7.1%	3.8%	1.9%	5.8%	2.6%
知的障がい者(N=45)	2.2%	40.0%	11.1%	2.2%	2.2%	0.0%
精神障がい者(N=39)	5.1%	10.3%	7.7%	2.6%	2.6%	0.0%
重複障がい者(N=11)	0.0%	27.3%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%
持っていない(N=29)	0.0%	0.0%	10.3%	0.0%	6.9%	6.9%
村全体(N=293)	3.4%	12.6%	6.1%	1.7%	5.1%	2.4%



問 12 あなたは、相談体制についてどのようなことを望みますか。(最大3つまで○)

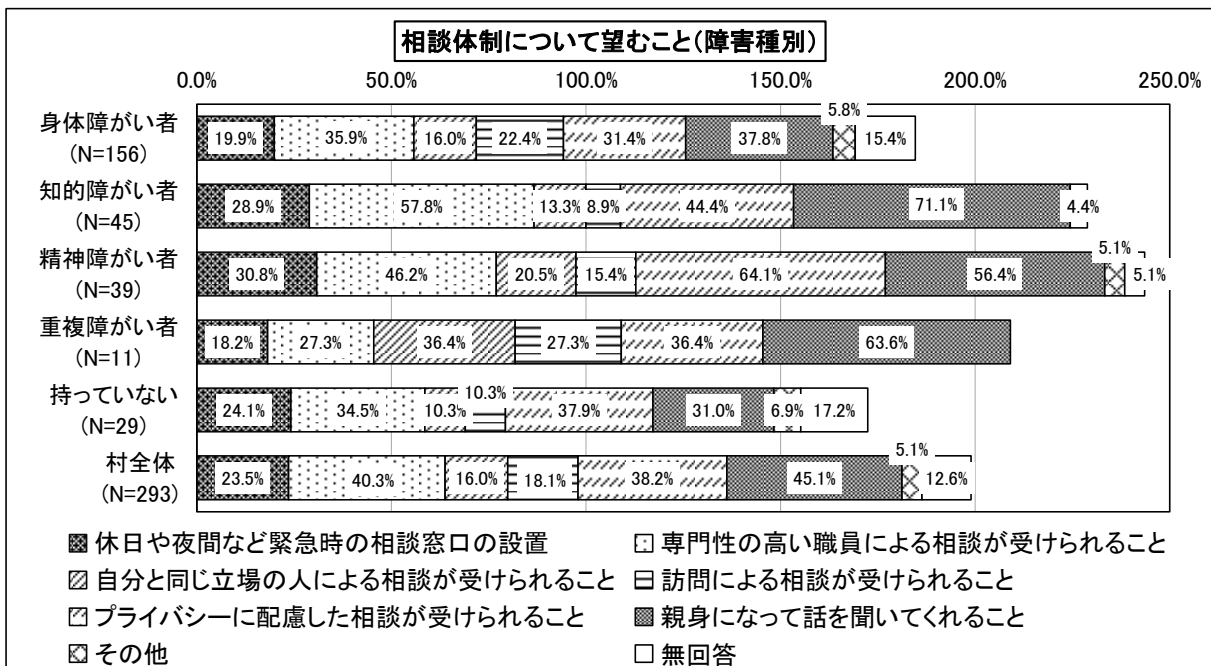
相談体制について望むことの第1位は「親身になって話を聞いてくれること」の45.1%、第2位は「専門性の高い職員による相談が受けられること」の40.3%、第3位は「プライバシーに配慮した相談が受けられること」の38.2%、第4位は「休日や夜間など緊急時の相談窓口の設置」の23.6%、第5位は「訪問による相談が受けられること」の18.1%等となっています。



障害種別でみると、身体障がい者及び知的障がい者、重複障がい者では「親身になって話を聞いてくれること」がそれぞれ37.8%、71.1%、63.6%で最も多く、精神障がい者及び持っていないでは「プライバシーに配慮した相談が受けられること」がそれぞれ64.1%、37.9%で最も多くなっています。

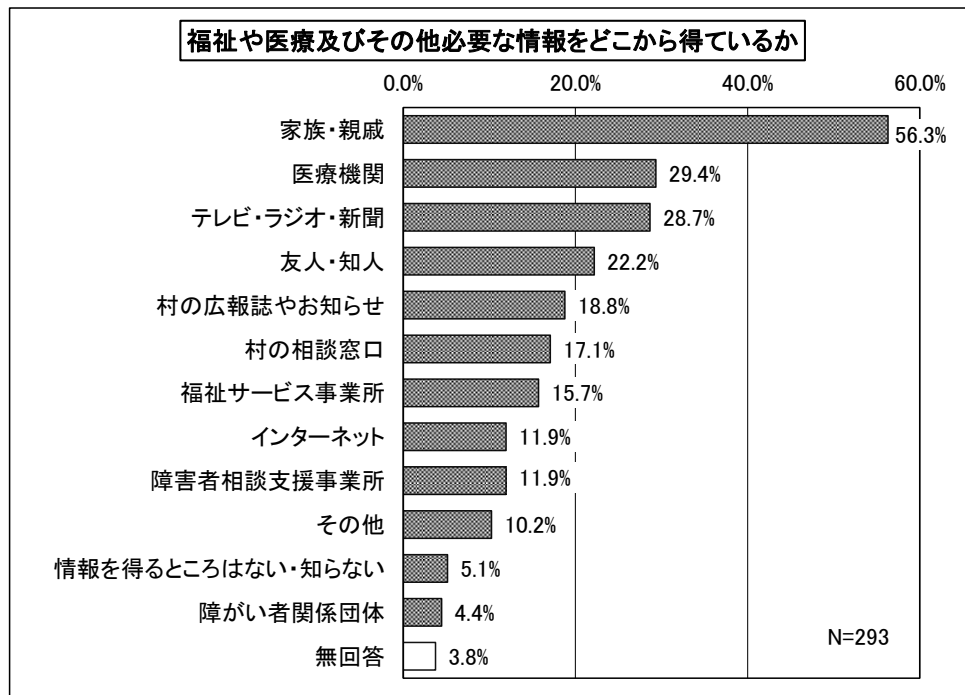
相談体制について望むこと(障害種別)

	休日や夜間など緊急時の相談窓口の設置	専門性の高い職員による相談が受けられること	自分と同じ立場の人による相談が受けられること	訪問による相談が受けられること	プライバシーに配慮した相談が受けられること	親身になって話を聞いてくれること	その他	無回答
身体障がい者(N=156)	19.9%	35.9%	16.0%	22.4%	31.4%	37.8%	5.8%	15.4%
知的障がい者(N=45)	28.9%	57.8%	13.3%	8.9%	44.4%	71.1%	0.0%	4.4%
精神障がい者(N=39)	30.8%	46.2%	20.5%	15.4%	64.1%	56.4%	5.1%	5.1%
重複障がい者(N=11)	18.2%	27.3%	36.4%	27.3%	36.4%	63.6%	0.0%	0.0%
持っていない(N=29)	24.1%	34.5%	10.3%	10.3%	37.9%	31.0%	6.9%	17.2%
村全体(N=293)	23.5%	40.3%	16.0%	18.1%	38.2%	45.1%	5.1%	12.6%



問 13 あなたは、福祉や医療及びその他必要な情報をどこから得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

福祉や医療及びその他必要な情報をどこから得ているかの第1位は「家族・親戚」の56.3%、第2位は「医療機関」の29.4%、第3位は「テレビ・ラジオ・新聞」の28.7%、第4位は「友人・知人」の22.2%、第5位は「村の広報誌やお知らせ」の18.8%等となっています。

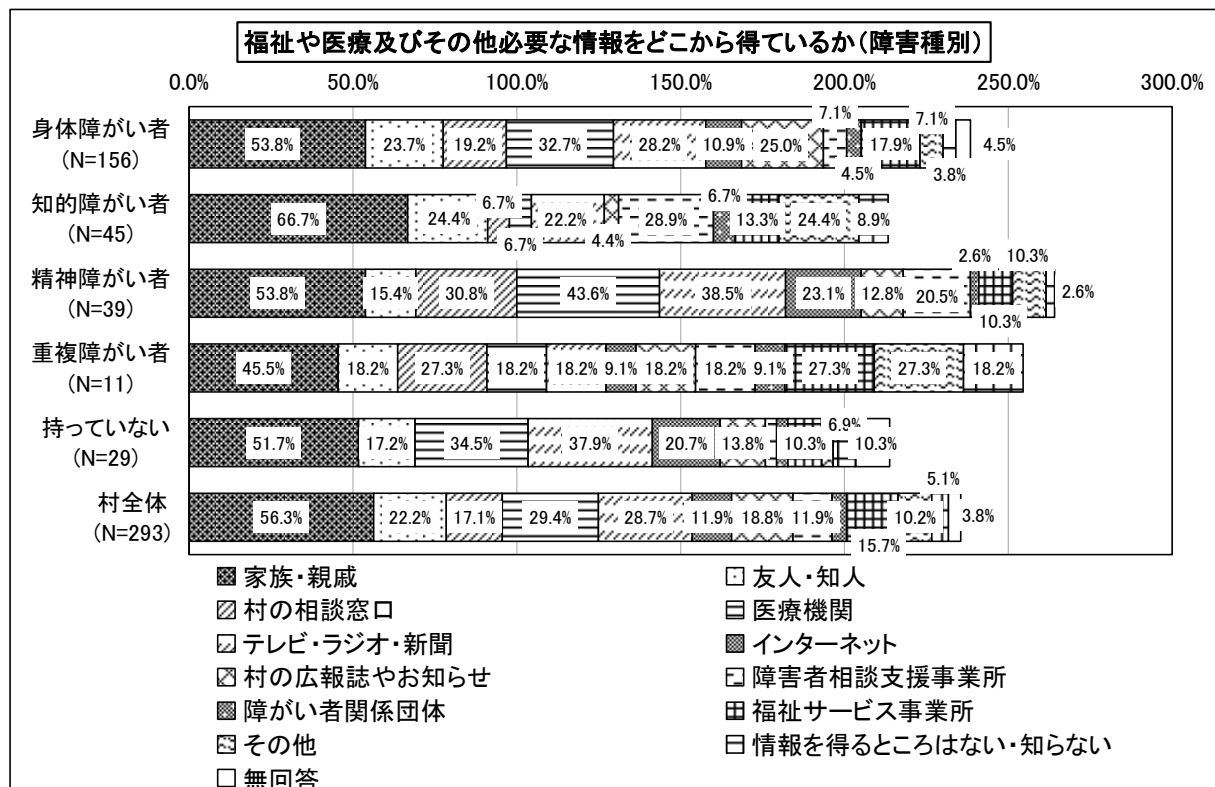


障害種別でみると、全ての障害種別で「家族・親戚」との回答が最も多く、特に知的障がい者の割合が66.7%で最も多くなっています。

福祉や医療及びその他必要な情報をどこから得ているか(障害種別)

	家族・親戚	友人・知人	村の相談窓口	医療機関	テレビ・ラジオ・新聞	インターネット	村の広報誌やお知らせ
身体障がい者(N=156)	53.8%	23.7%	19.2%	32.7%	28.2%	10.9%	25.0%
知的障がい者(N=45)	66.7%	24.4%	6.7%	6.7%	22.2%	0.0%	4.4%
精神障がい者(N=39)	53.8%	15.4%	30.8%	43.6%	38.5%	23.1%	12.8%
重複障がい者(N=11)	45.5%	18.2%	27.3%	18.2%	18.2%	9.1%	18.2%
持っていない(N=29)	51.7%	17.2%	0.0%	34.5%	37.9%	20.7%	13.8%
村全体(N=293)	56.3%	22.2%	17.1%	29.4%	28.7%	11.9%	18.8%

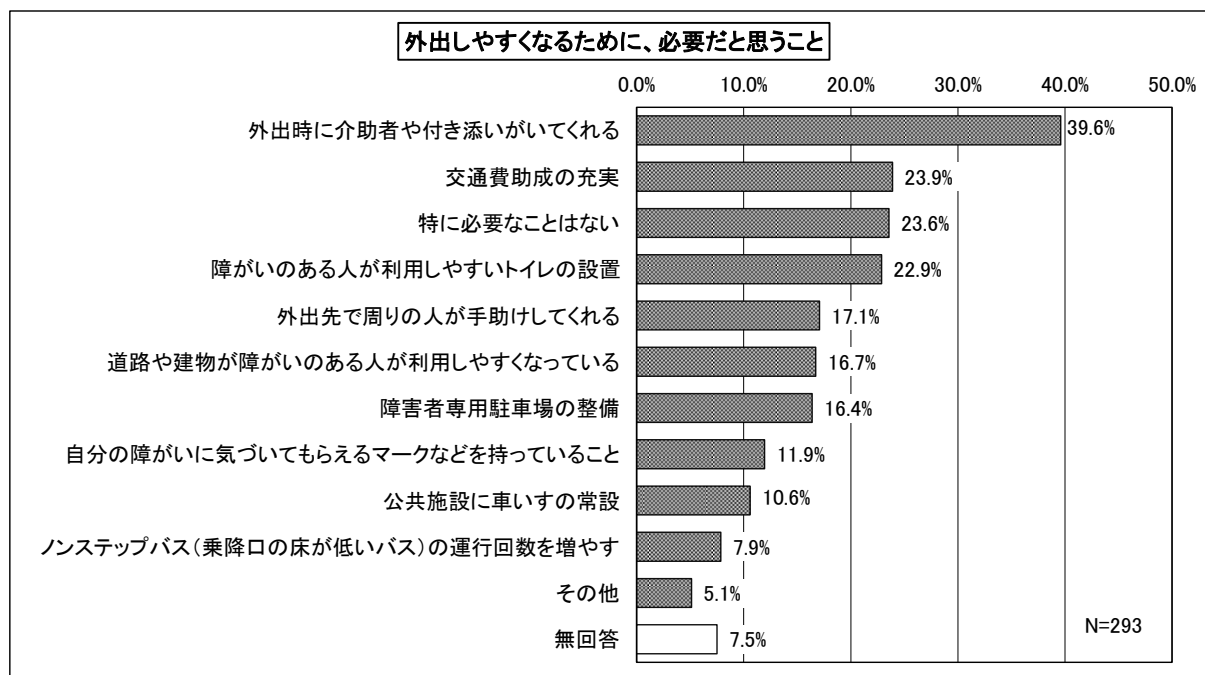
	障害者相談支援事業所	障がい者関係団体	福祉サービス事業所	その他	情報を得るところはない・知らない	無回答
身体障がい者(N=156)	7.1%	4.5%	17.9%	7.1%	3.8%	4.5%
知的障がい者(N=45)	28.9%	6.7%	13.3%	24.4%	8.9%	0.0%
精神障がい者(N=39)	20.5%	2.6%	10.3%	10.3%	2.6%	0.0%
重複障がい者(N=11)	18.2%	9.1%	27.3%	27.3%	18.2%	0.0%
持っていない(N=29)	3.4%	3.4%	10.3%	3.4%	6.9%	10.3%
村全体(N=293)	11.9%	4.4%	15.7%	10.2%	5.1%	3.8%



#### 4. 外出について

問 14 あなたが外出しやすくなるには、どんなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

外出しやすくなるために、必要だと思うことの第1位は「外出時に介助者や付き添いがいてくれる」の39.6%、第2位は「交通費助成の充実」の23.9%、第3位は「特に必要なことはない」の23.6%、第4位は「障がいのある人が利用しやすいトイレの設置」の22.9%、第5位は「外出先で周りの人が手助けしてくれる」の17.1%等となっています。

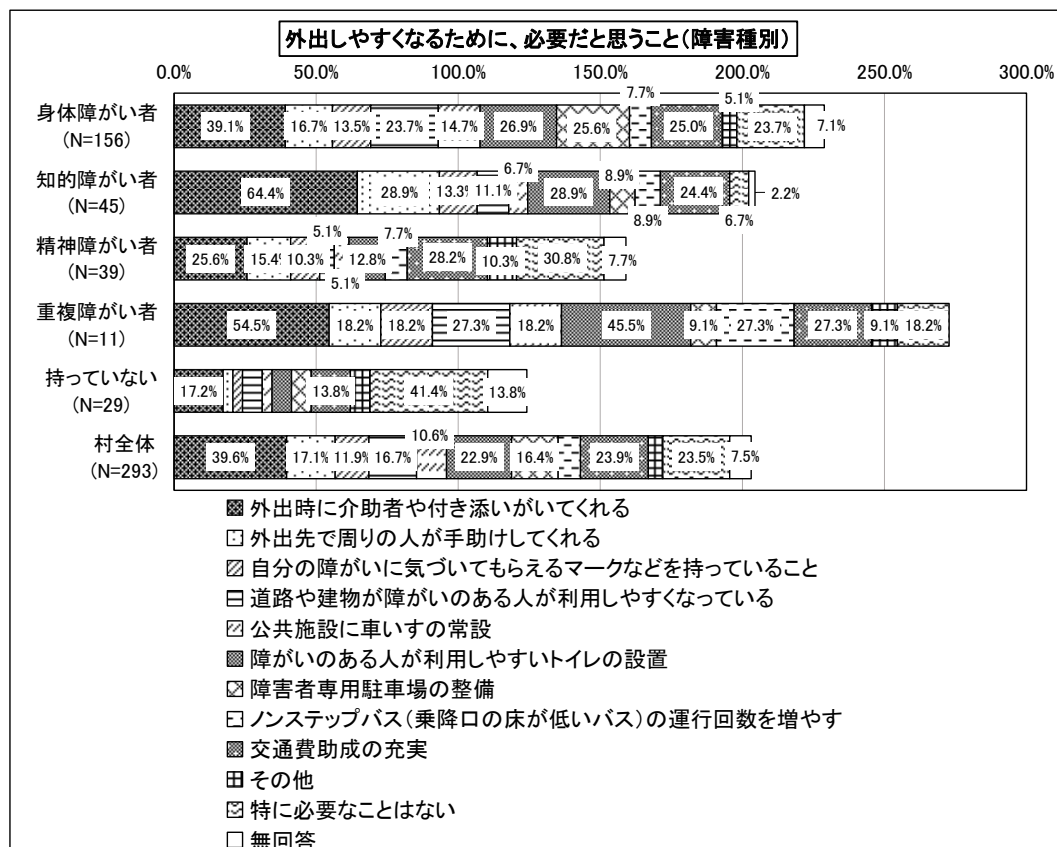


障害種別でみると、身体障がい者及び知的障がい者、重複障がい者では「外出時に介助者や付き添いがいてくれる」がそれぞれ39.1%、64.4%、54.5%で最も多く、精神障がい者及び持っていないでは「特に必要なことはない」がそれぞれ30.8%、41.4%で最も多くなっています。

外出しやすくなるために、必要だと思うこと(障害種別)

	外出時に介助者や付き添いがいてくれる	外出先で周りの人が手助けしてくれる	自分の障がいに気づいてもらえるマークなどを持っていること	道路や建物が障がいのある人が利用しやすくなっている	公共施設に車いすの常設	障がいのある人が利用しやすいトイレの設置
身体障がい者(N=156)	39.1%	16.7%	13.5%	23.7%	14.7%	26.9%
知的障がい者(N=45)	64.4%	28.9%	13.3%	11.1%	6.7%	28.9%
精神障がい者(N=39)	25.6%	15.4%	10.3%	5.1%	5.1%	12.8%
重複障がい者(N=11)	54.5%	18.2%	18.2%	27.3%	18.2%	45.5%
持っていない(N=29)	17.2%	3.4%	3.4%	6.9%	3.4%	6.9%
村全体(N=293)	39.6%	17.1%	11.9%	16.7%	10.6%	22.9%

	障害者専用駐車場の整備	ノンステップバス(乗降口の床が低いバス)の運行回数を増やす	交通費助成の充実	その他	特に必要なことはない	無回答
身体障がい者(N=156)	25.6%	7.7%	25.0%	5.1%	23.7%	7.1%
知的障がい者(N=45)	8.9%	8.9%	24.4%	0.0%	6.7%	2.2%
精神障がい者(N=39)	0.0%	7.7%	28.2%	10.3%	30.8%	7.7%
重複障がい者(N=11)	9.1%	27.3%	27.3%	9.1%	18.2%	0.0%
持っていない(N=29)	6.9%	0.0%	13.8%	6.9%	41.4%	13.8%
村全体(N=293)	16.4%	7.8%	23.9%	5.1%	23.5%	7.5%

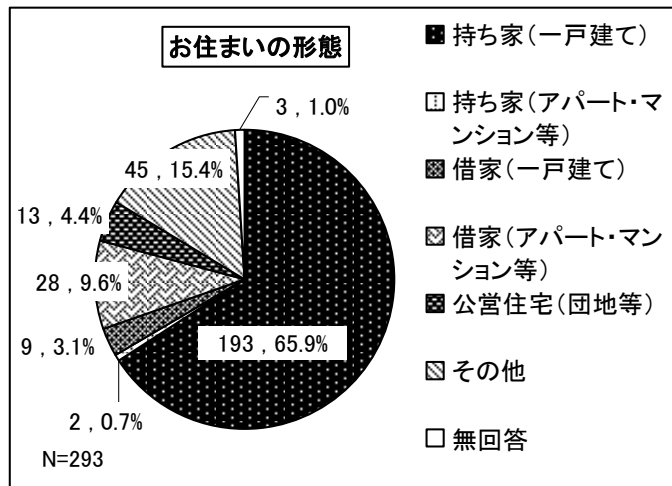




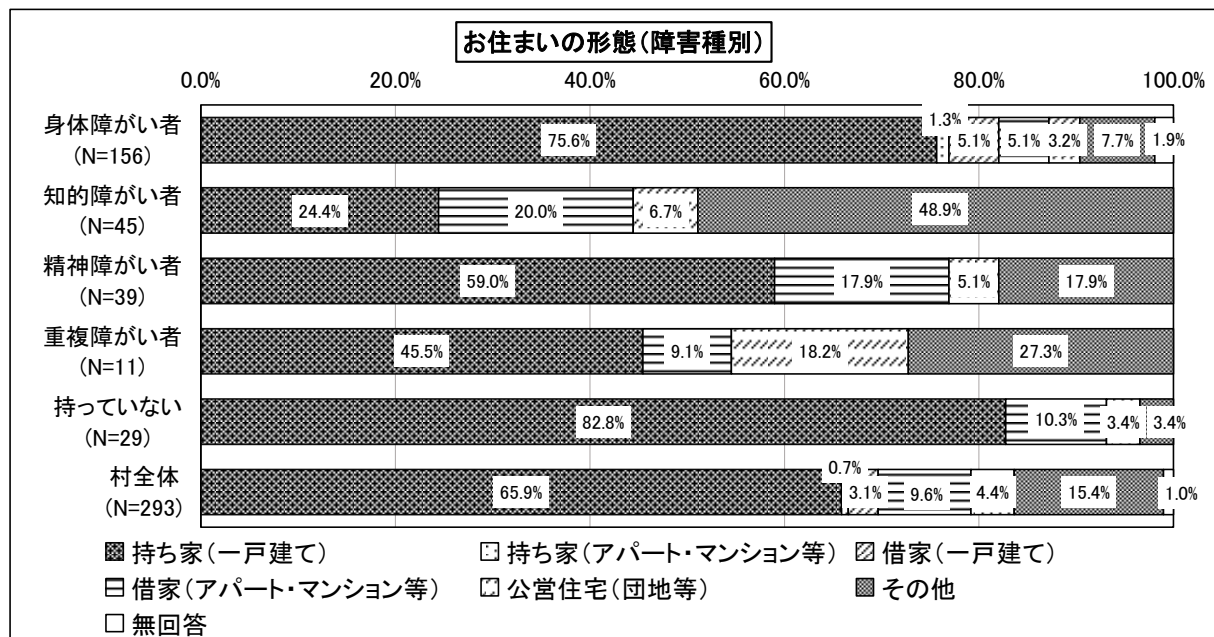
## 5. 住まいについて

問 15 あなたのお住まいの形態をお聞きします。(1つだけ○)

お住まいの形態をみると、「持ち家（一戸建て）」が65.9%で最も多く、次いで「その他」の15.4%、「借家（アパート・マンション等）」の9.6%、「公営住宅（団地等）」の4.4%、「借家（一戸建て）」の3.1%等となっています。



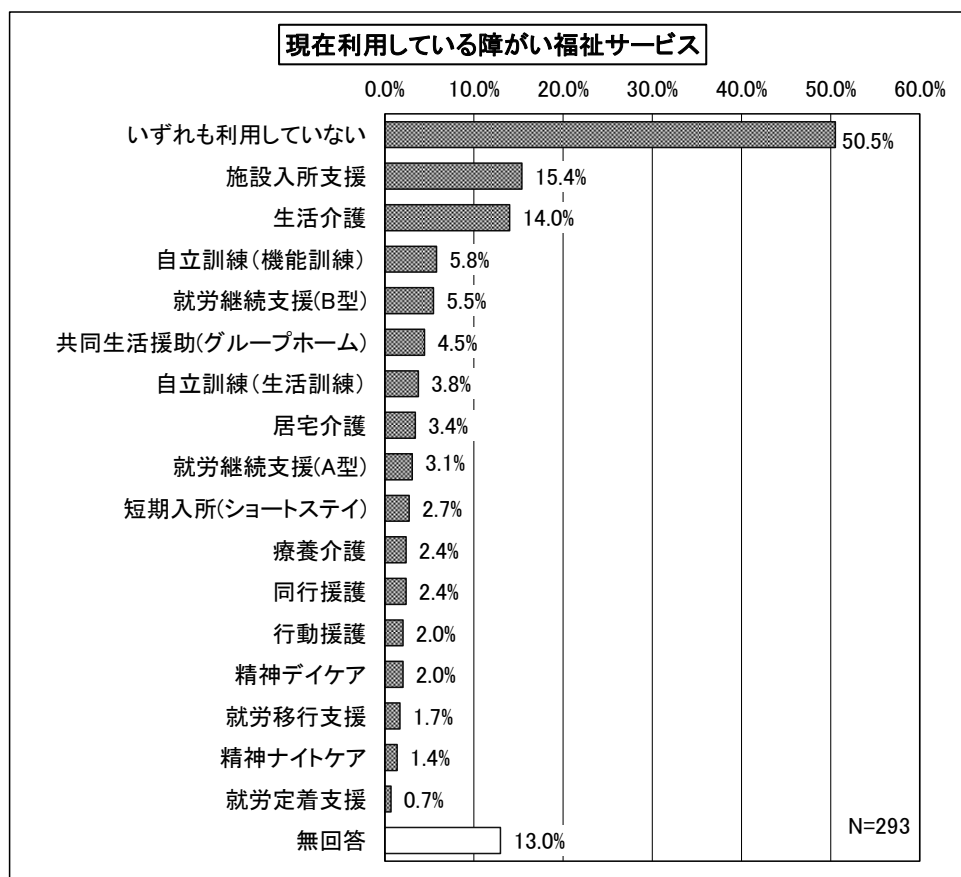
障害種別でみると、知的障がい者では「その他」が48.9%で最も多く、それ以外では「持ち家（一戸建て）」との回答が最も多くなっています。特に、持っていないでは82.8%の方が「持ち家（一戸建て）」と回答しており、他の障害種別に比べて多くなっています。



## 6. サービスの利用について

問 16 あなたは、現在次のサービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

現在利用している障がい福祉サービスの第 1 位は「いずれも利用していない」の 50.5%、第 2 位は「施設入所支援」の 15.4%、第 3 位は「生活介護」の 14.0%、第 4 位は「自立訓練（機能訓練）」の 5.8%、第 5 位は「就労継続支援(B 型)」の 5.5%等となっています。

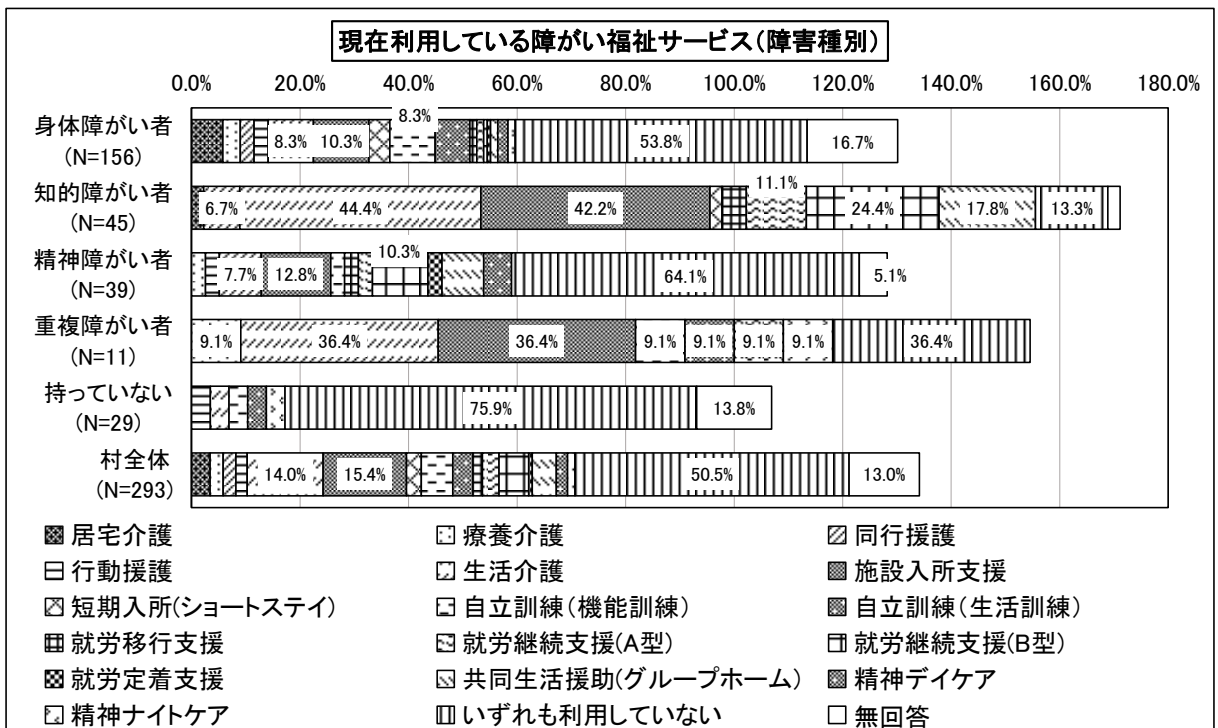


障害種別でみると、知的障がい者では「生活介護」が44.4%で最も多く、それ以外では「いずれも利用していない」との回答が最も多くなっています（重複障がい者では「生活介護」及び「施設入所支援」も同率）。

現在利用している障がい福祉サービス(障害種別)

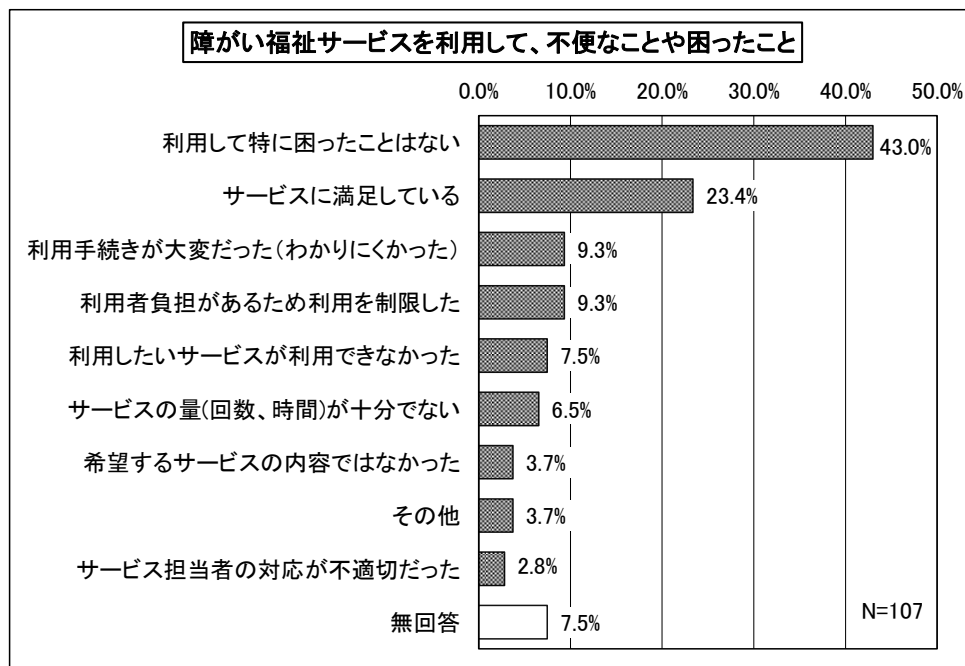
	居宅介護	療養介護	同行援護	行動援護	生活介護	施設入所支援	短期入所(ショートステイ)	自立訓練(機能訓練)	自立訓練(生活訓練)
身体障がい者(N=156)	5.8%	3.2%	2.6%	2.6%	8.3%	10.3%	3.8%	8.3%	6.4%
知的障がい者(N=45)	2.2%	0.0%	6.7%	0.0%	44.4%	42.2%	2.2%	0.0%	0.0%
精神障がい者(N=39)	0.0%	2.6%	0.0%	2.6%	7.7%	12.8%	0.0%	2.6%	0.0%
重複障がい者(N=11)	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	36.4%	36.4%	0.0%	9.1%	9.1%
持っていない(N=29)	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	3.4%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%
村全体(N=293)	3.4%	2.4%	2.4%	2.0%	14.0%	15.4%	2.7%	5.8%	3.8%

	就労移行支援	就労継続支援(A型)	就労継続支援(B型)	就労定着支援	共同生活援助(グループホーム)	精神デイケア	精神ナイトケア	いずれも利用していない	無回答
身体障がい者(N=156)	1.3%	1.3%	0.6%	0.6%	1.3%	1.9%	1.3%	53.8%	16.7%
知的障がい者(N=45)	4.4%	11.1%	24.4%	0.0%	17.8%	0.0%	0.0%	13.3%	2.2%
精神障がい者(N=39)	2.6%	2.6%	10.3%	2.6%	7.7%	5.1%	0.0%	64.1%	5.1%
重複障がい者(N=11)	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	36.4%	0.0%
持っていない(N=29)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	3.4%	75.9%	13.8%
村全体(N=293)	1.7%	3.1%	5.5%	0.7%	4.4%	2.0%	1.4%	50.5%	13.0%



問 17 これまで、サービスを利用して、何か不便なことや困ったことはありましたか。(あてはまるものすべてに○)

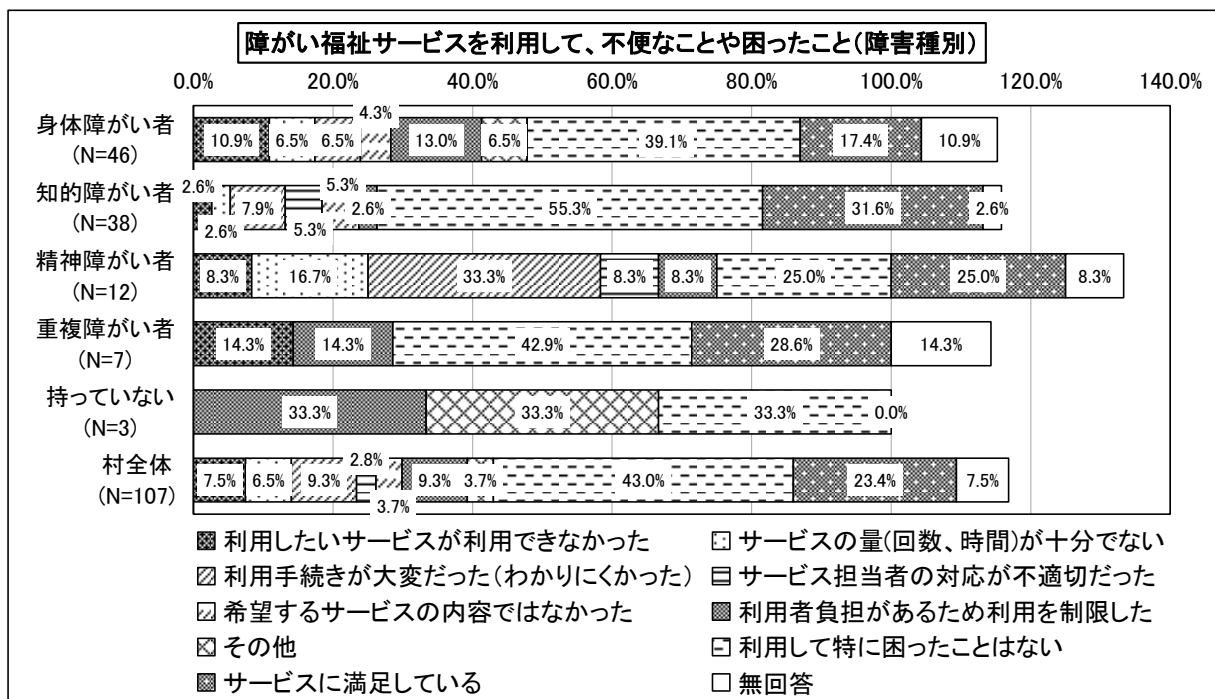
障がい福祉サービスを利用して、不便なことや困ったことの第 1 位は「利用して特に困ったことはない」の 43.0%、第 2 位は「サービスに満足している」の 23.4%、第 3 位は「利用手続きが大変だった(わかりにくかった)」及び「利用者負担があるため利用を制限した」が同率の 9.3%、第 5 位は「利用したいサービスが利用できなかった」の 7.5%等となっています。



障害種別でみると、精神障がい者では「利用手続きが大変だった(わかりにくかった)」が33.3%で最も多く、それ以外では「利用して特に困ったことはない」との回答が最も多くなっています(持っていないでは「利用者負担があるため利用を制限した」及び「その他」も同率)。

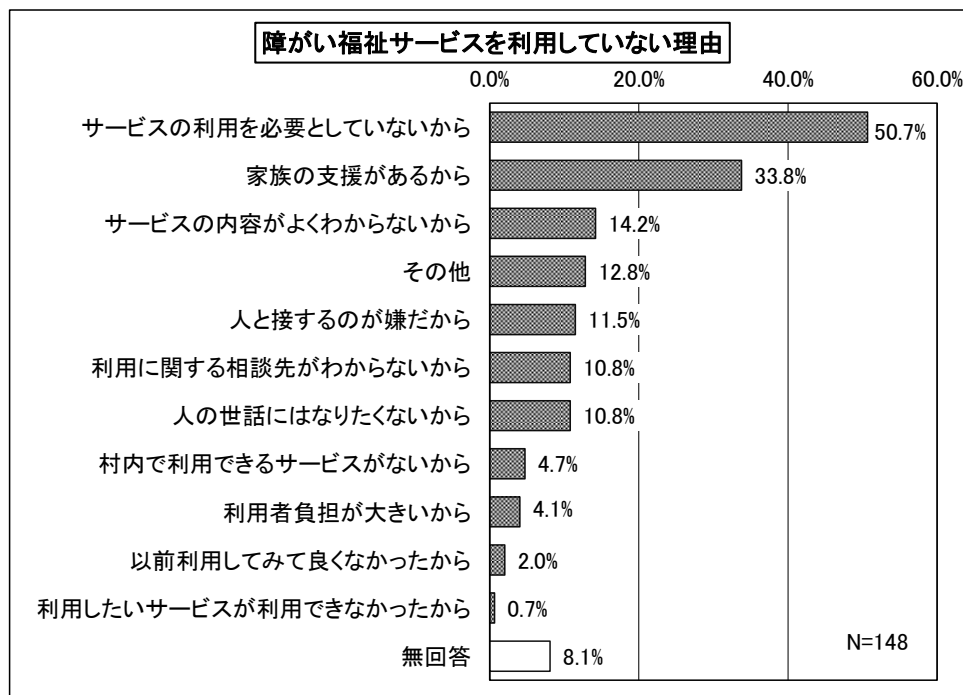
障がい福祉サービスを利用して、不便なことや困ったこと(障害種別)

	利用したいサービスが利用できなかった	サービスの量(回数、時間)が十分でない	利用手続きが大変だった(わかりにくかった)	サービス担当者の対応が不適切だった	希望するサービスの内容ではなかった	利用者負担があるため利用を制限した	その他	利用して特に困ったことはない	サービスに満足している	無回答
身体障がい者(N=46)	10.9%	6.5%	6.5%	0.0%	4.3%	13.0%	6.5%	39.1%	17.4%	10.9%
知的障がい者(N=38)	2.6%	2.6%	7.9%	5.3%	5.3%	2.6%	0.0%	55.3%	31.6%	2.6%
精神障がい者(N=12)	8.3%	16.7%	33.3%	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%	25.0%	25.0%	8.3%
重複障がい者(N=7)	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	42.9%	28.6%	14.3%
持っていない(N=3)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
村全体(N=107)	7.5%	6.5%	9.3%	2.8%	3.7%	9.3%	3.7%	43.0%	23.4%	7.5%



問 18 サービスを利用していないのはどうしてですか。(あてはまるものすべてに○)

障がい福祉サービスを利用していない理由の第 1 位は「サービスの利用を必要としていないから」の 50.7%、第 2 位は「家族の支援があるから」の 33.8%、第 3 位は「サービスの内容がよくわからないから」の 14.2%、第 4 位は「その他」の 12.8%、第 5 位は「人と接するのが嫌だから」の 11.5%等となっています。



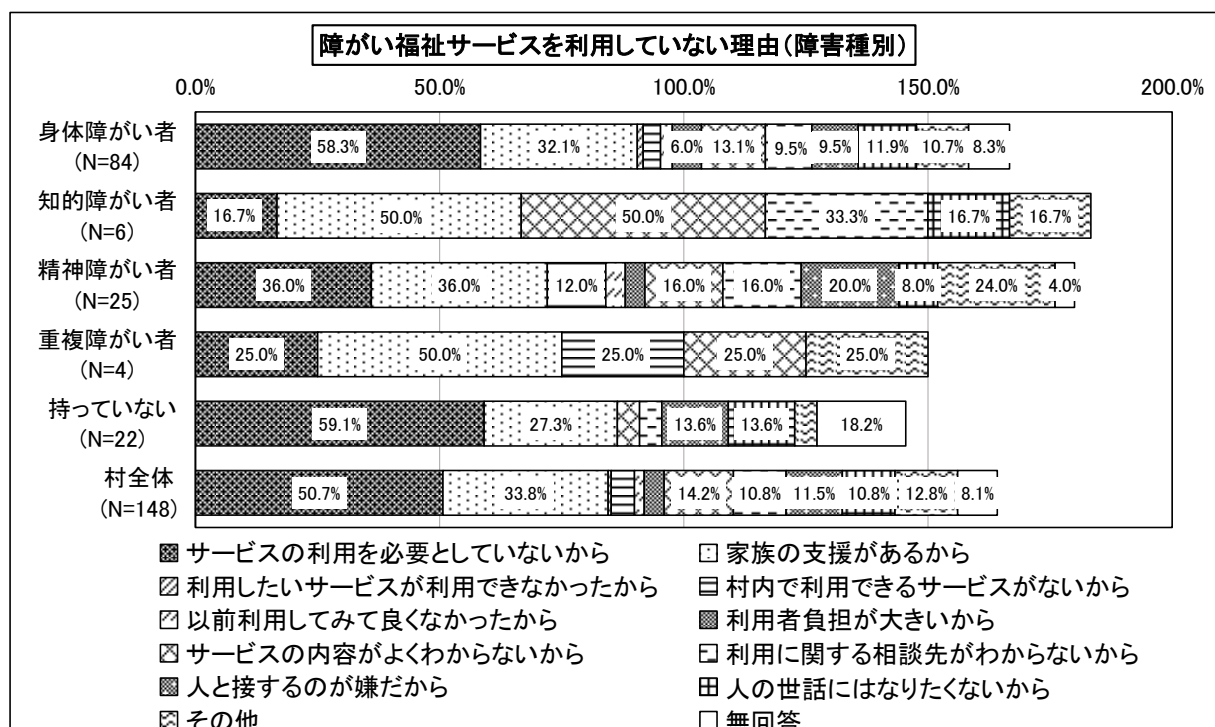
障害種別でみると、身体障がい者及び精神障がい者、持っていないでは「サービスの利用を必要としていないから」との回答が最も多くなっています（精神障がい者では、「家族の支援があるから」も同率）。

また、知的障がい者及び重複障がい者では「家族の支援があるから」との回答が最も多くなっています（知的障がい者では「サービスの内容がよくわからないから」も同率）。

障がい福祉サービスを利用していない理由(障害種別)

	サービスの利用を必要としていないから	家族の支援があるから	利用したいサービスが利用できなかったから	村内で利用できるサービスがないから	以前利用してみて良くなかったから	利用者負担が大きいため
身体障がい者(N=84)	58.3%	32.1%	1.2%	3.6%	2.4%	6.0%
知的障がい者(N=6)	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
精神障がい者(N=25)	36.0%	36.0%	0.0%	12.0%	4.0%	4.0%
重複障がい者(N=4)	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
持っていない(N=22)	59.1%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
村全体(N=148)	50.7%	33.8%	0.7%	4.7%	2.0%	4.1%

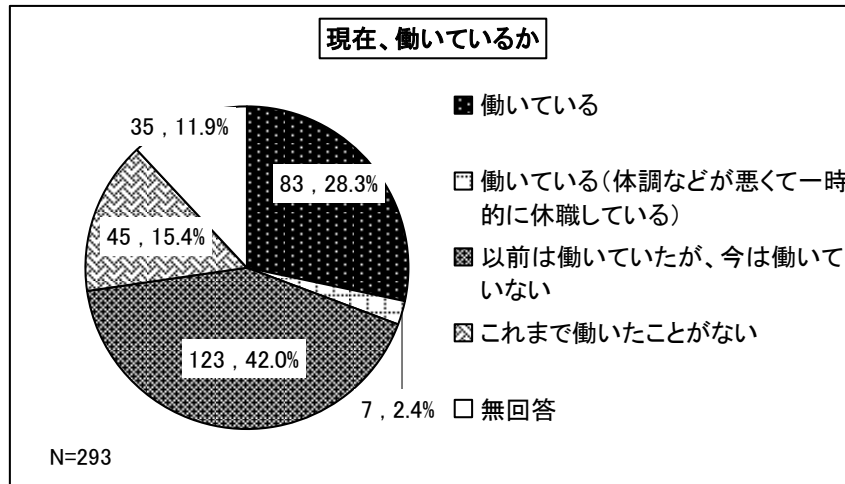
	サービスの内容がよくわからないから	利用に関する相談先がわからないから	人と接するのが嫌だから	人の世話にはなりたくないから	その他	無回答
身体障がい者(N=84)	13.1%	9.5%	9.5%	11.9%	10.7%	8.3%
知的障がい者(N=6)	50.0%	33.3%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%
精神障がい者(N=25)	16.0%	16.0%	20.0%	8.0%	24.0%	4.0%
重複障がい者(N=4)	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
持っていない(N=22)	4.5%	4.5%	13.6%	13.6%	4.5%	18.2%
村全体(N=148)	14.2%	10.8%	11.5%	10.8%	12.8%	8.1%



## 7. 就労について

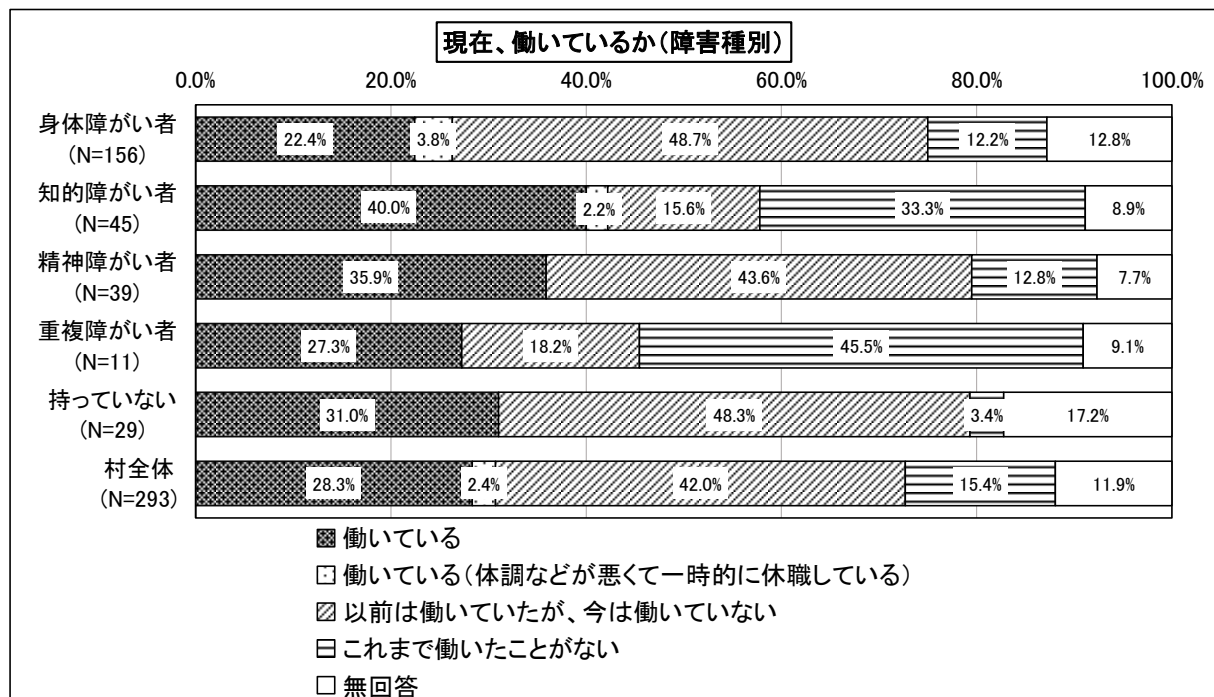
問 19 あなたは、現在働いていますか。(1つだけ○)

現在、働いているかをみると、「以前は働いていたが、今は働いていない」が42.0%で最も多く、次いで「働いている」の28.3%、「これまで働いたことがない」の15.4%、「働いている(体調などが悪くて一時的に休職している)」の2.4%となっています。



障害種別でみると、身体障がい者及び精神障がい者、持っていないでは「以前は働いていたが、今は働いていない」がそれぞれ48.7%、43.6%、48.3%で最も多くなっています。

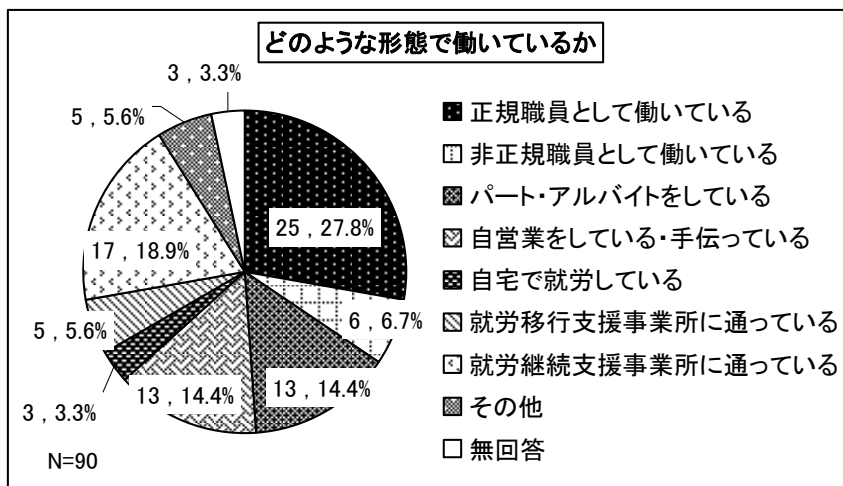
また、知的障がい者では「働いている」が40.0%、重複障がい者では「これまで働いたことがない」が45.5%で最も多くなっています。





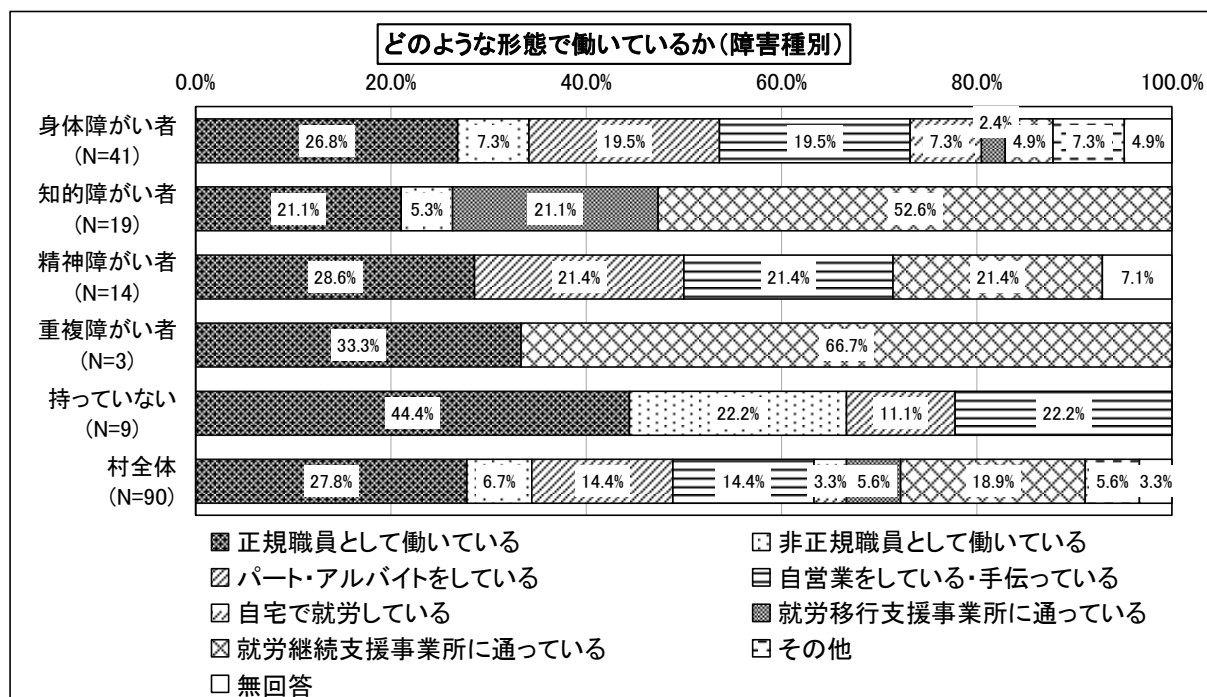
問 20 どのような形態で働いていますか。(1つだけ〇)

どのような形態で働いているかをみると、「正規職員として働いている」が27.8%で最も多く、次いで「就労継続支援事業所に通っている」の18.9%、「パート・アルバイトをしている」及び「自営業をしている・手伝っている」が同率の14.4%、「非正規職員として働いている」の6.7%等となっています。



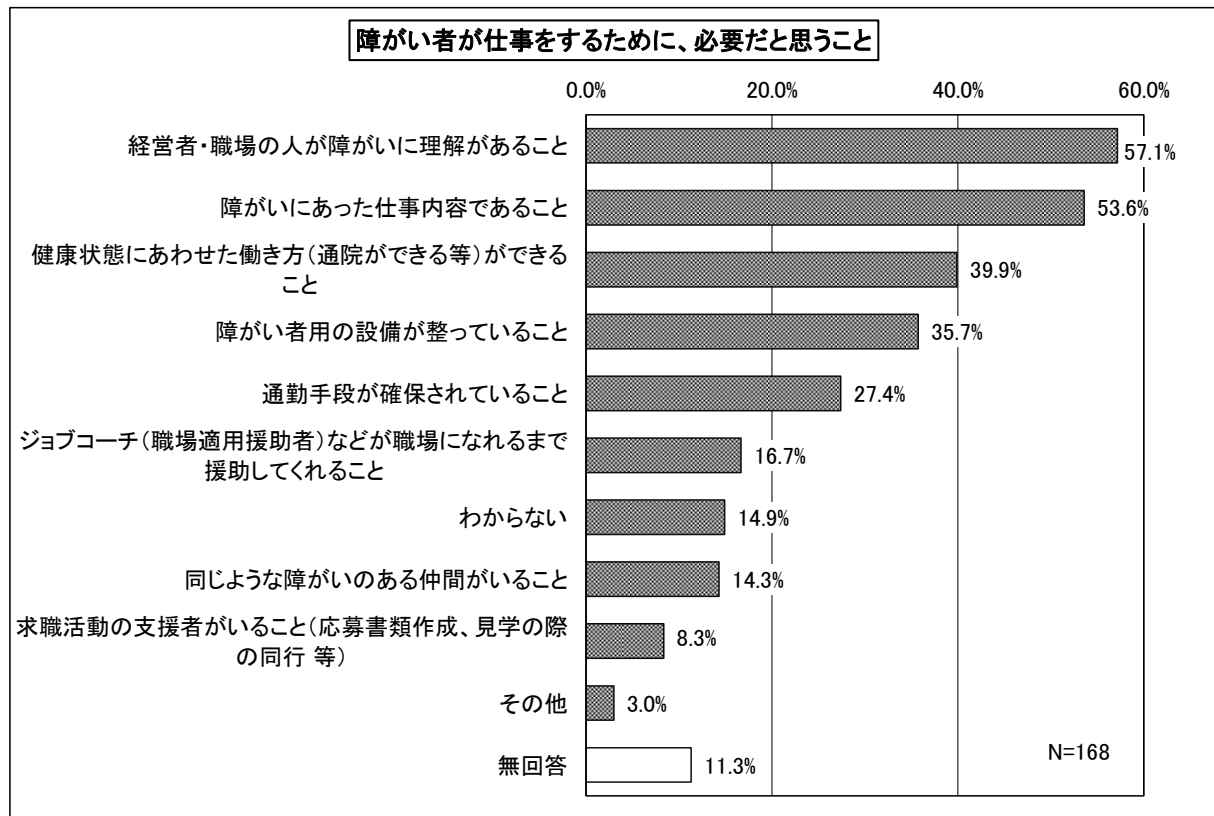
障害種別でみると、身体障がい者及び精神障がい者、持っていないでは「正規職員として働いている」がそれぞれ26.8%、28.6%、44.4%で最も多くなっています。

また、知的障がい者及び重複障がい者では「就労継続支援事業所に通っている」が最も多く、それぞれ52.6%、66.7%となっています。



問 21 障がいのある人が仕事をするために、どのようなことが必要だと思いますか。(最大 5 つまで○)

障がい者が仕事をするために、必要だと思うことの第 1 位は「経営者・職場の人が障がいに理解があること」の 57.1%、第 2 位は「障がいにあった仕事内容であること」の 53.6%、第 3 位は「健康状態にあわせた働き方(通院ができる等)ができること」の 39.9%、第 4 位は「障がい者用の設備が整っていること」の 35.7%、第 5 位は「通勤手段が確保されていること」の 27.4% 等となっています。



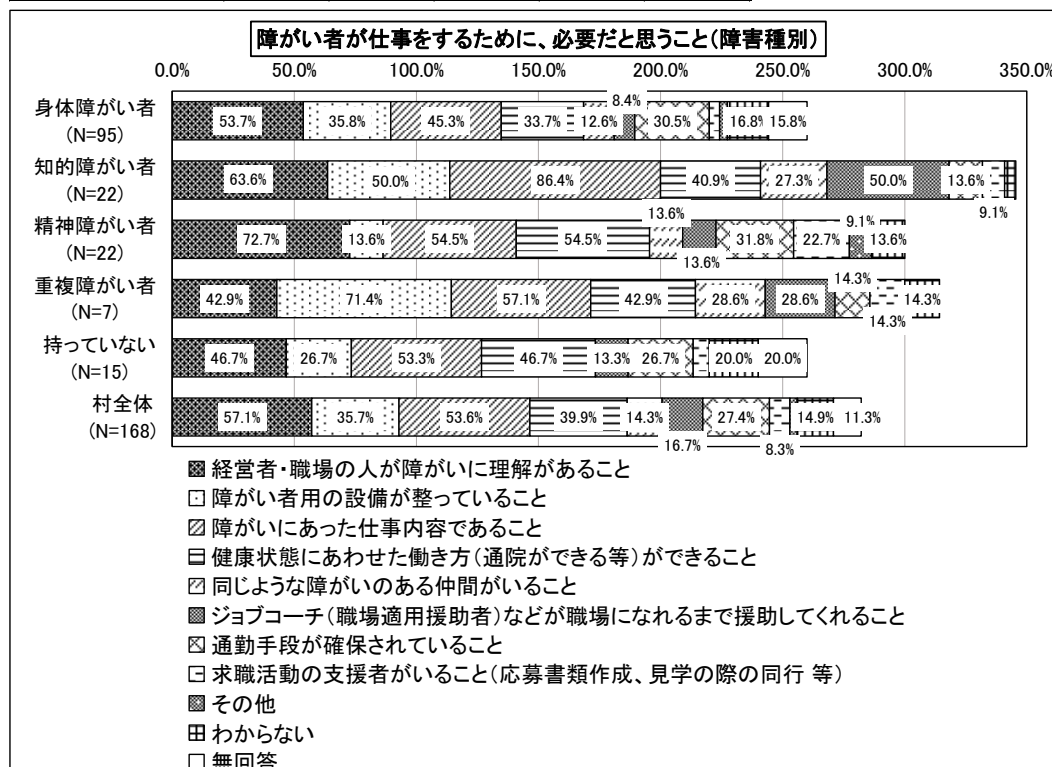
障害種別でみると、身体障がい者及び精神障がい者では「経営者・職場の人が障がいに理解があること」がそれぞれ53.7%、72.7%で最も多くなっています。

また、知的障がい者及び持っていないでは「障がいにあった仕事内容であること」がそれぞれ86.4%、53.3%、重複障がい者では「障がい者用の設備が整っていること」が71.4%で最も多くなっています。

障がい者が仕事をするために、必要だと思うこと(障害種別)

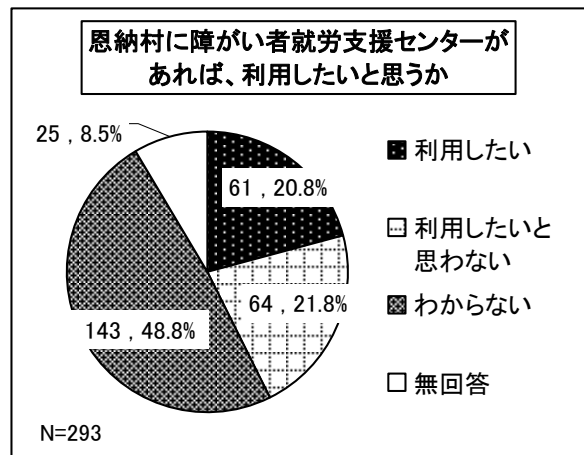
	経営者・職場の人が障がいに理解があること	障がい者用の設備が整っていること	障がいにあった仕事内容であること	健康状態にあわせた働き方(通院ができる等)ができること	同じような障がいのある仲間がいること	ジョブコーチ(職場適用援助者)などが職場になれるまで援助してくれること
身体障がい者(N=95)	53.7%	35.8%	45.3%	33.7%	12.6%	8.4%
知的障がい者(N=22)	63.6%	50.0%	86.4%	40.9%	27.3%	50.0%
精神障がい者(N=22)	72.7%	13.6%	54.5%	54.5%	13.6%	13.6%
重複障がい者(N=7)	42.9%	71.4%	57.1%	42.9%	28.6%	28.6%
持っていない(N=15)	46.7%	26.7%	53.3%	46.7%	0.0%	13.3%
村全体(N=168)	57.1%	35.7%	53.6%	39.9%	14.3%	16.7%

	通勤手段が確保されていること	求職活動の支援者がいること(応募書類作成、見学の際の同行等)	その他	わからない	無回答
身体障がい者(N=95)	30.5%	4.2%	3.2%	16.8%	15.8%
知的障がい者(N=22)	13.6%	9.1%	0.0%	4.5%	0.0%
精神障がい者(N=22)	31.8%	22.7%	9.1%	13.6%	0.0%
重複障がい者(N=7)	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%
持っていない(N=15)	26.7%	6.7%	0.0%	20.0%	20.0%
村全体(N=168)	27.4%	8.3%	3.0%	14.9%	11.3%

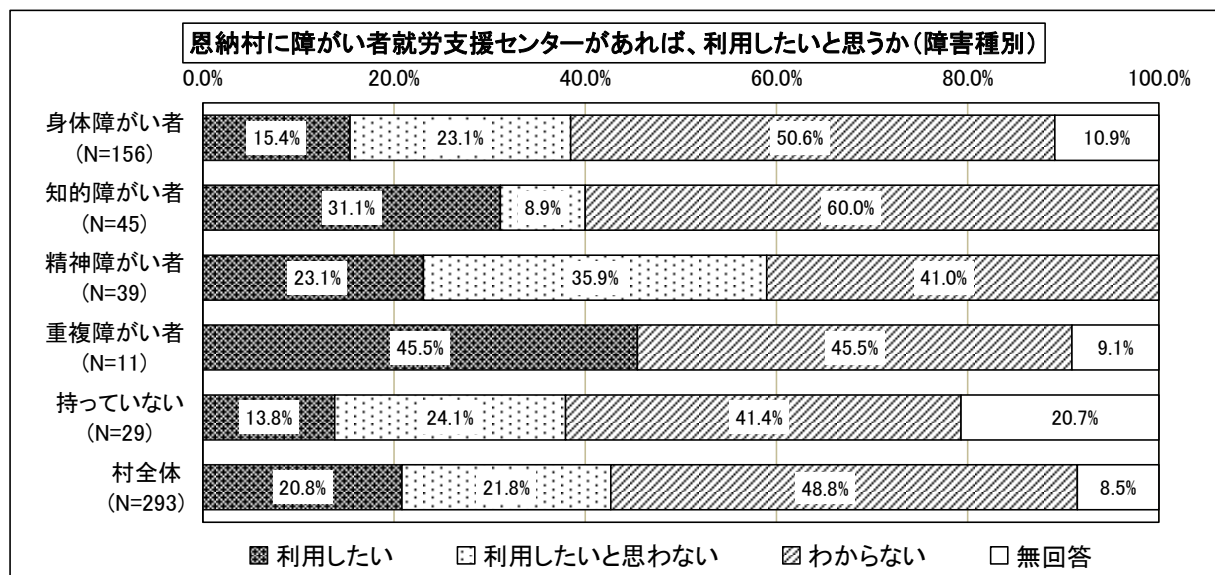


問 22 あなたは恩納村に障がい者就労支援センターがあれば、利用したいと思いますか。(1つだけ○)

恩納村に障がい者就労支援センターがあれば、利用したいと思うかをみると、「わからない」が48.8%で最も多く、次いで「利用したいと思わない」の21.8%、「利用したい」の20.8%となっています。



障害種別でみると、全ての障害種別で「わからない」との回答が最も多くなっています（重複障がい者では「利用したい」も同率）。

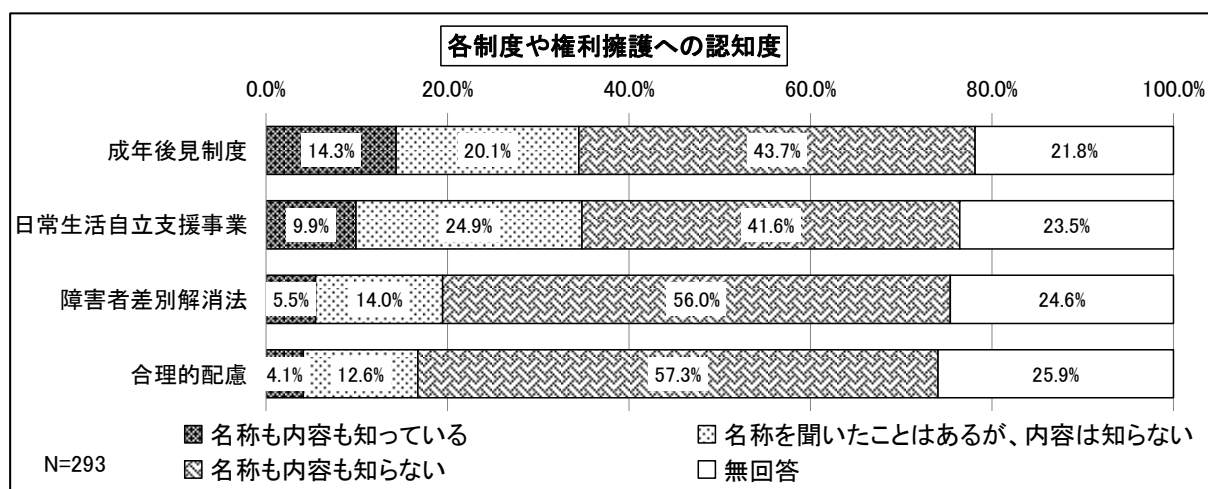


## 8. 権利擁護・虐待について

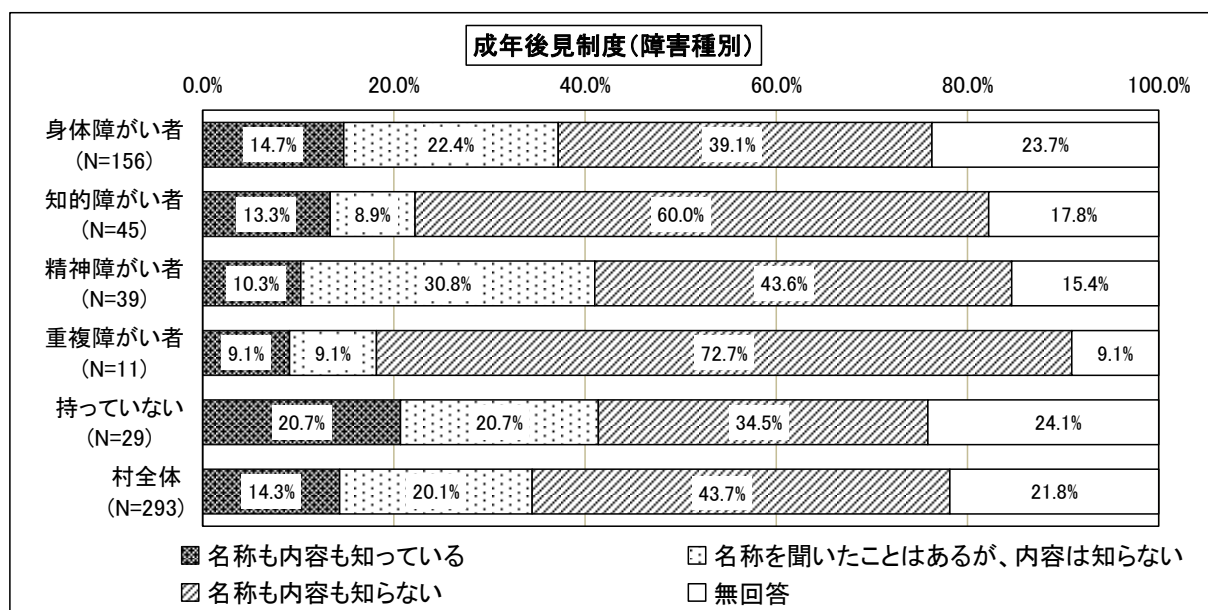
### 問 23 各制度や権利擁護への認知度

各制度や権利擁護への認知度をみると、全ての項目において「名称も内容も知らない」が最も多く、中でも「障害者差別解消法」及び「合理的配慮」はそれぞれ 56.0%、57.3%と過半数を占めています。

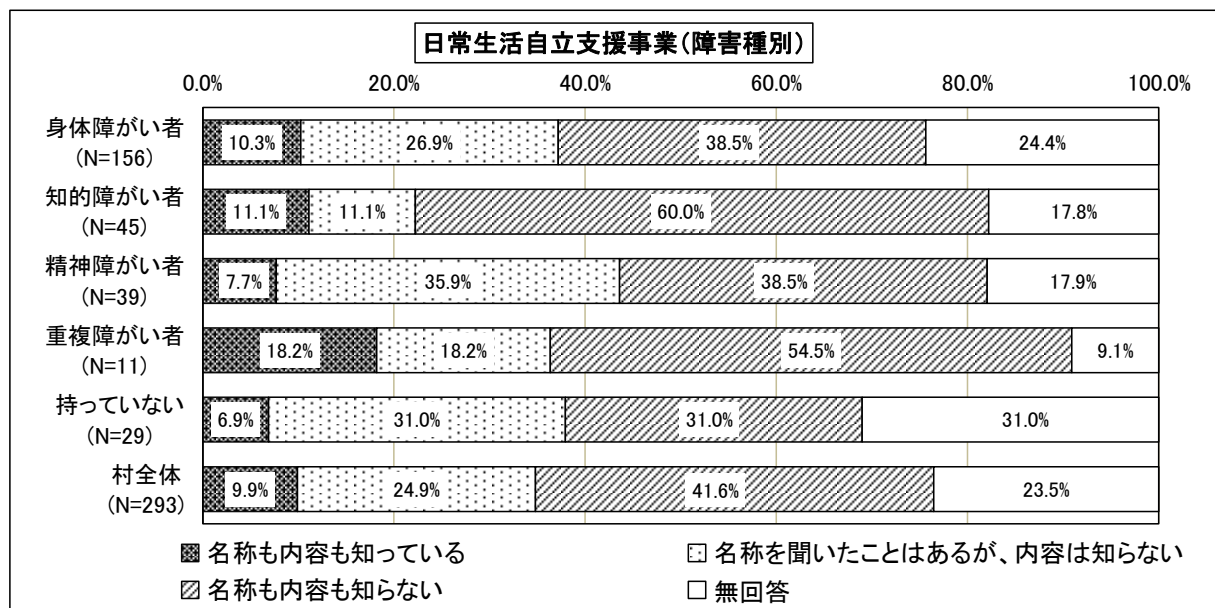
一方、「名称も内容も知っている」をみると、「成年後見制度」が 14.3%で各項目の中で最も多く、次いで「日常生活自立支援事業」の 9.9%、「障害者差別解消法」の 5.5%、「合理的配慮」の 4.1%となっています。なお、「名称も内容も知っている」及び「名称を聞いたことはあるが、内容は知らない」との合計割合では「日常生活自立支援事業」が 34.8%で項目の中で最も割合が多くなっています。



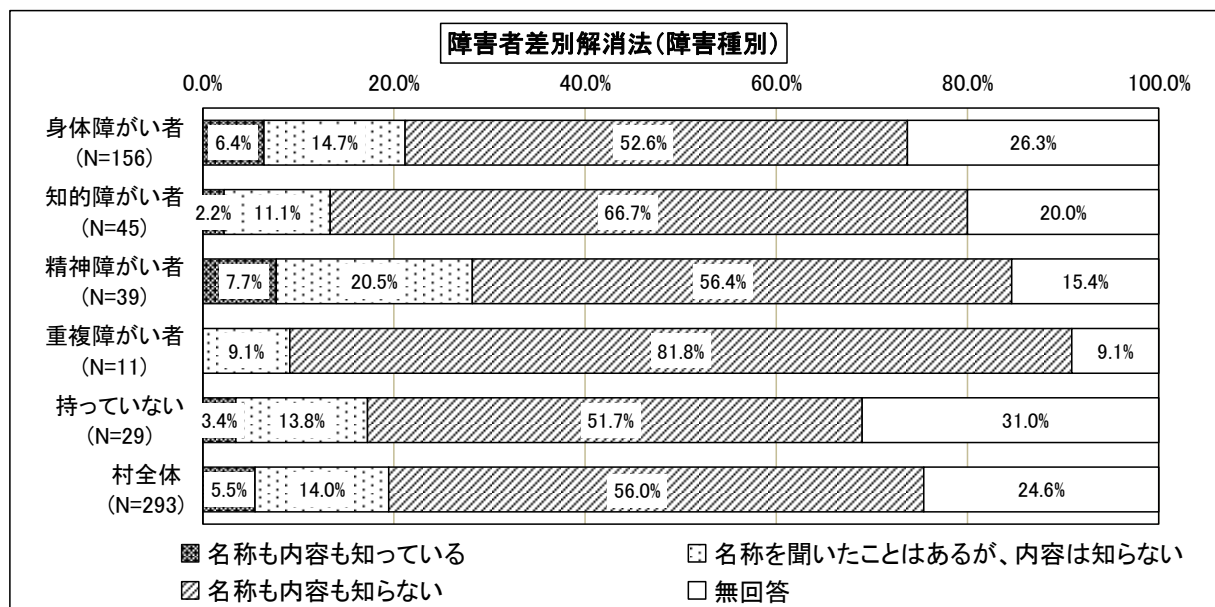
成年後見制度について、障害種別でみると、全ての障害種別で「名称も内容も知らない」との回答が最も多く、特に重複障がい者では 7 割以上の方が「名称も内容も知らない」と回答しています。



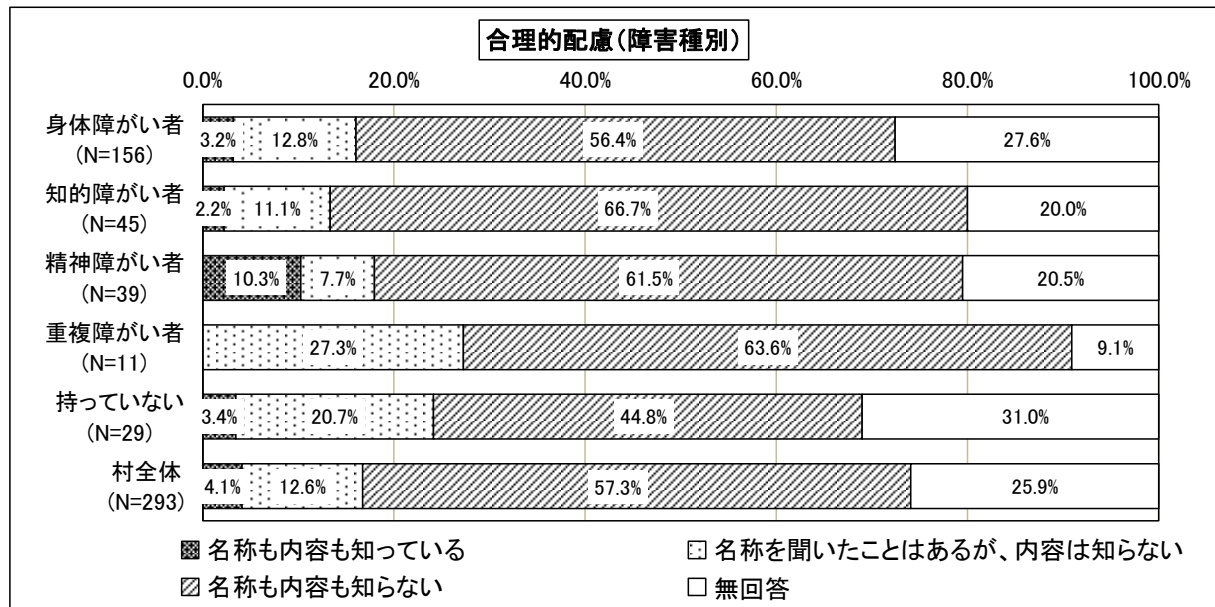
日常生活自立支援事業について、障害種別でみると、全ての障害種別で「名称も内容も知らない」との回答が最も多く、特に知的障がい者では6割の方が「名称も内容も知らない」と回答しています（持っていないでは「名称を聞いたことはあるが、内容は知らない」も同率）。



障害者差別解消法について、障害種別でみると、全ての障害種別で「名称も内容も知らない」との回答が最も多く、特に重複障がい者では8割以上の方が「名称も内容も知らない」と回答しています。

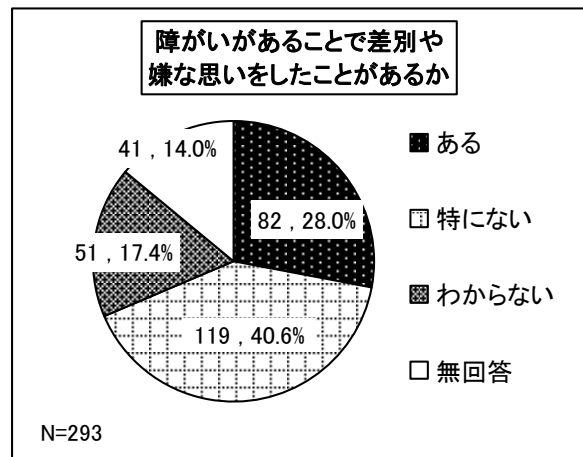


合理的配慮について、障害種別でみると、全ての障害種別で「名称も内容も知らない」との回答が最も多く、知的障がい者及び精神障がい者、重複障がい者では6割以上の方が「名称も内容も知らない」と回答しています。



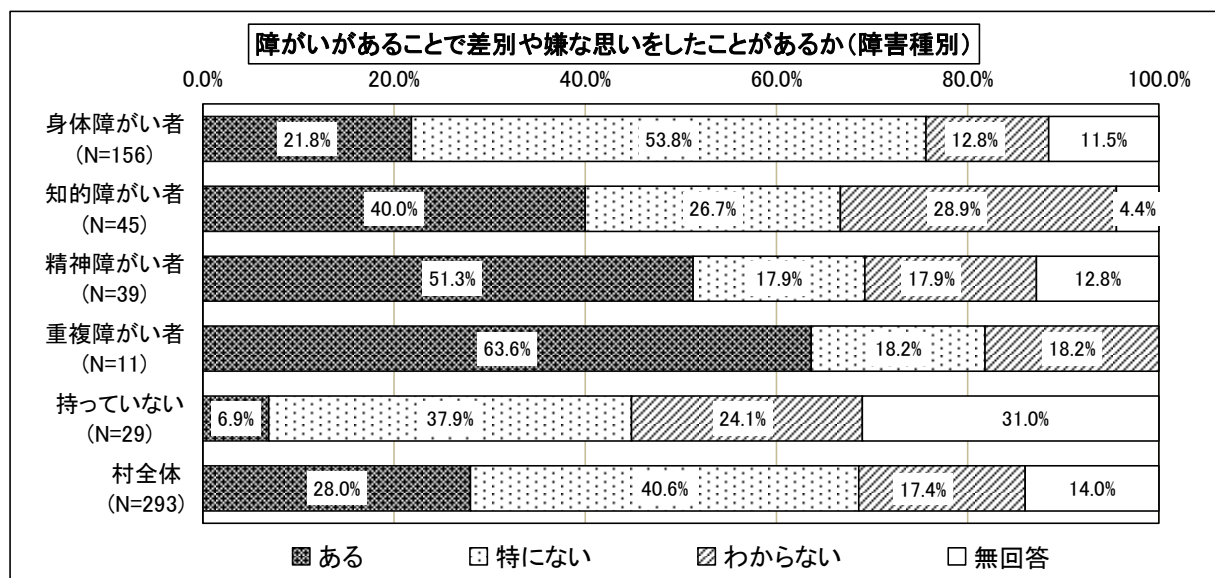
問 24 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをしたことがありますか。(1つだけ○)

障がいがあることで差別や嫌な思いをしたことがあるかをみると、「特にない」が40.6%で最も多く、次いで「ある」の28.0%、「わからない」の17.4%となっています。



障害種別でみると、身体障がい者及び持っていないでは「特にない」との回答が最も多く、それぞれ53.8%、37.9%となっています。

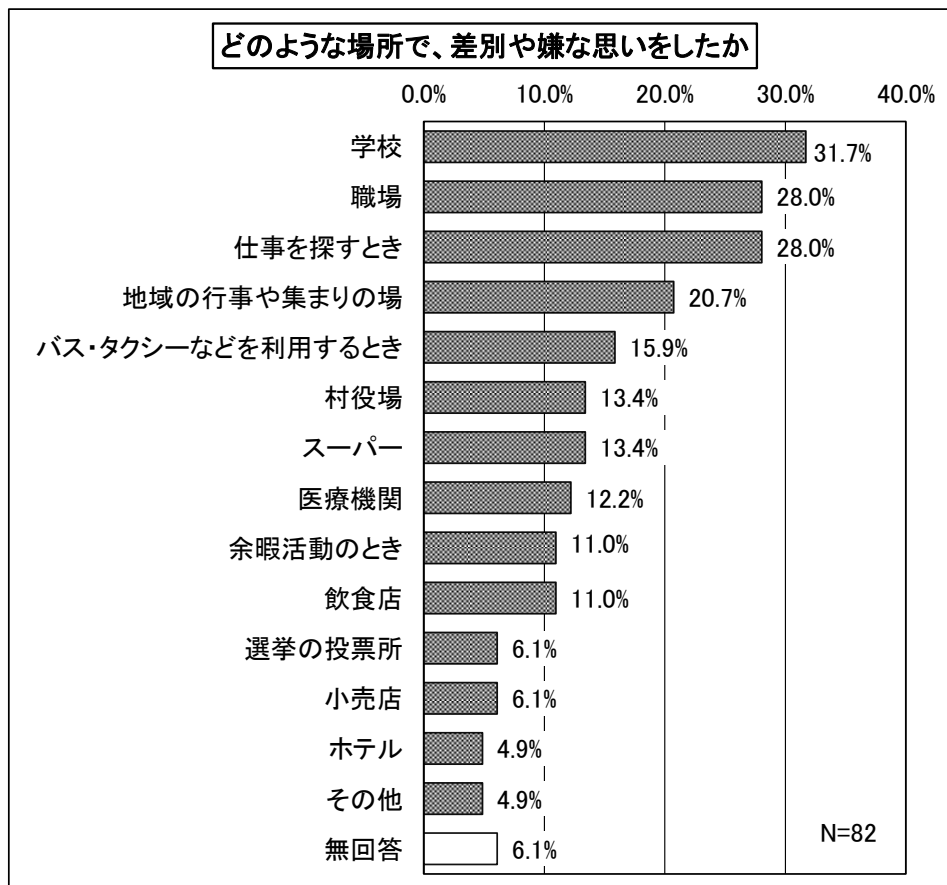
一方、知的障がい者及び精神障がい者、重複障がい者では「ある」との回答が最も多く、それぞれ40.0%、51.3%、63.6%となっています。





問 25 どのような場所で、差別や嫌な思いをしましたか。(あてはまるものすべてに○)

どのような場所で、差別や嫌な思いをしたかの第1位は「学校」の31.7%、第2位は「職場」及び「仕事を探すとき」が同率の28.0%、第4位は「地域の行事や集まりの場」の20.7%、第5位は「バス・タクシーなどを利用するとき」の15.9%等となっています。



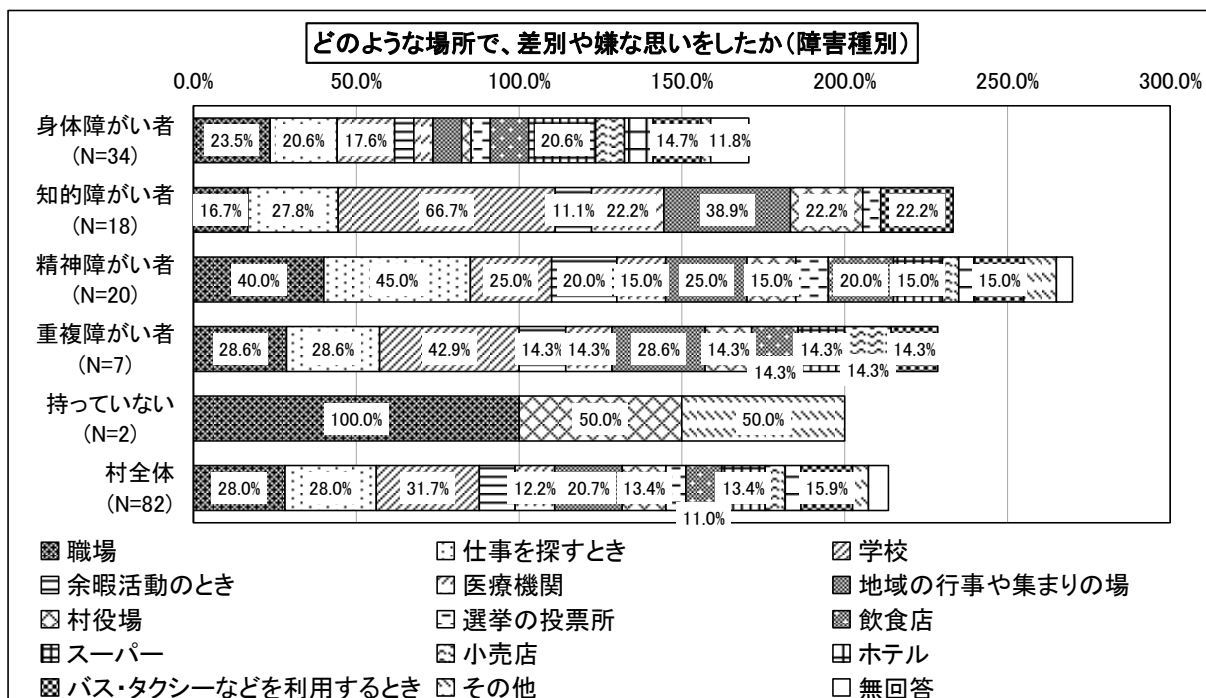
障害種別でみると、身体障がい者及び持っていないでは「職場」との回答が最も多く、特に持っていないでは100.0%と高い値を示しています。

また、知的障がい者及び重複障がい者では「学校」が、それぞれ66.7%、42.9%、精神障がい者では「仕事を探るとき」が45.0%で最も多くなっています。

どのような場所で、差別や嫌な思いをしたか(障害種別)

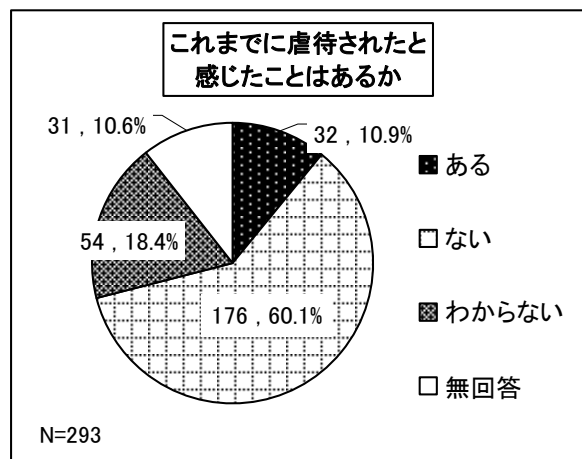
	職場	仕事を探るとき	学校	余暇活動のとき	医療機関	地域の行事や集まりの場	村役場	選挙の投票所
身体障がい者(N=34)	23.5%	20.6%	17.6%	5.9%	5.9%	8.8%	2.9%	5.9%
知的障がい者(N=18)	16.7%	27.8%	66.7%	11.1%	22.2%	38.9%	22.2%	5.6%
精神障がい者(N=20)	40.0%	45.0%	25.0%	20.0%	15.0%	25.0%	15.0%	10.0%
重複障がい者(N=7)	28.6%	28.6%	42.9%	14.3%	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%
持っていない(N=2)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
村全体(N=82)	28.0%	28.0%	31.7%	11.0%	12.2%	20.7%	13.4%	6.1%

	飲食店	スーパー	小売店	ホテル	バス・タクシーなどを利用するとき	その他	無回答
身体障がい者(N=34)	11.8%	20.6%	8.8%	8.8%	14.7%	2.9%	11.8%
知的障がい者(N=18)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%
精神障がい者(N=20)	20.0%	15.0%	5.0%	5.0%	15.0%	10.0%	5.0%
重複障がい者(N=7)	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
持っていない(N=2)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
村全体(N=82)	11.0%	13.4%	6.1%	4.9%	15.9%	4.9%	6.1%



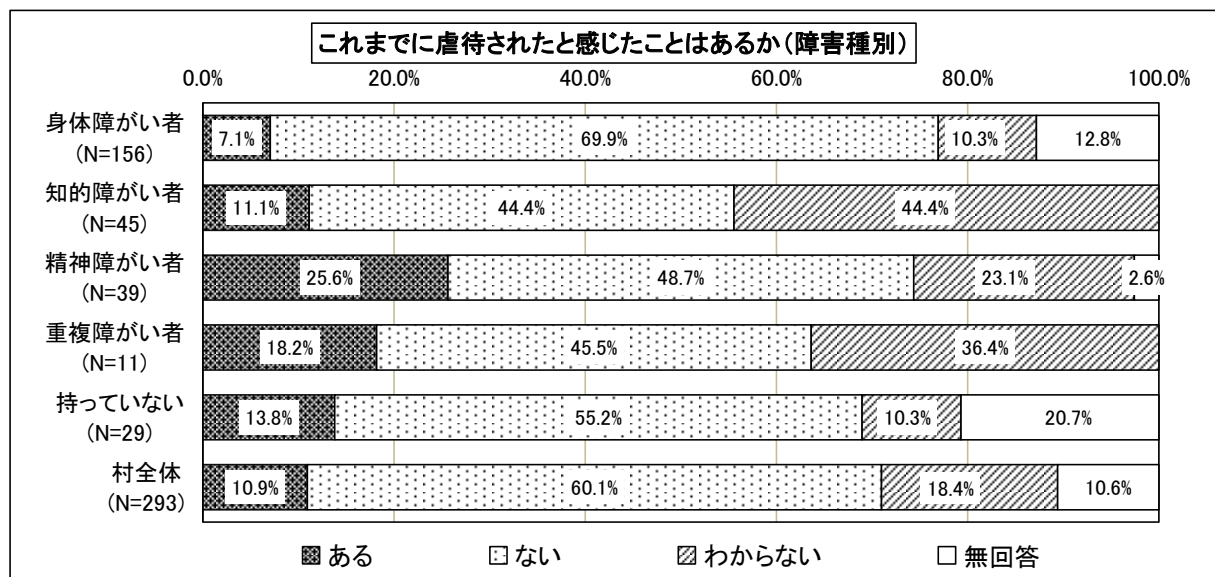
問 26 あなたは、これまでに虐待されたと感じたことはありますか。(1 つだけ○)

これまでに虐待されたと感じたことはあるかをみると、「ない」が 60.1%で最も多く、次いで「わからない」の 18.4%、「ある」の 10.9%となっています。



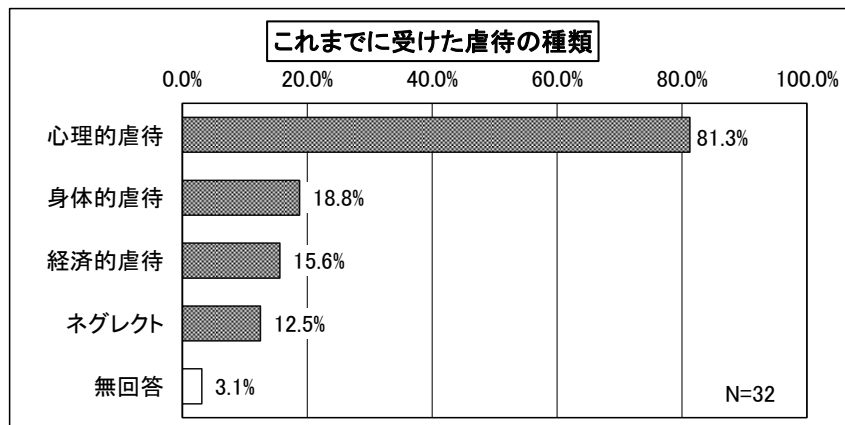
障害種別でみると、全ての障害種別で「ない」との回答が最も多く、特に身体障がい者での回答割合は約 7 割と他の障害種別に比べ高くなっています（知的障がい者では「わからない」も同率）。

一方、「ある」との回答で最も多いのは、精神障がい者の 25.6%となっており、次いで重複障がい者の 18.2%、持っていないの 13.8%となっています。



問 27 それは、どのようなものでしたか。(あてはまるものすべてに○)

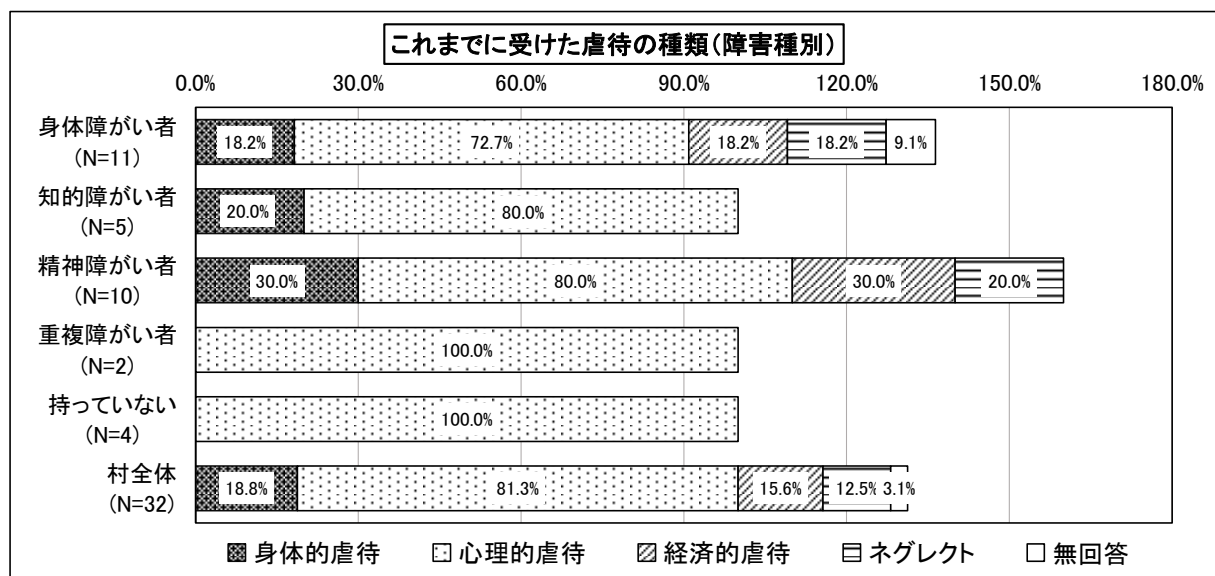
これまでに受けた虐待の種類第1位は「心理的虐待」の81.3%、第2位は「身体的虐待」の18.8%、第3位は「経済的虐待」の15.6%、第4位は「ネグレクト」の12.5%となっています。



障害種別でみると、全ての障害種別で「心理的虐待」との回答が最も多く、それぞれ7割を超えています。

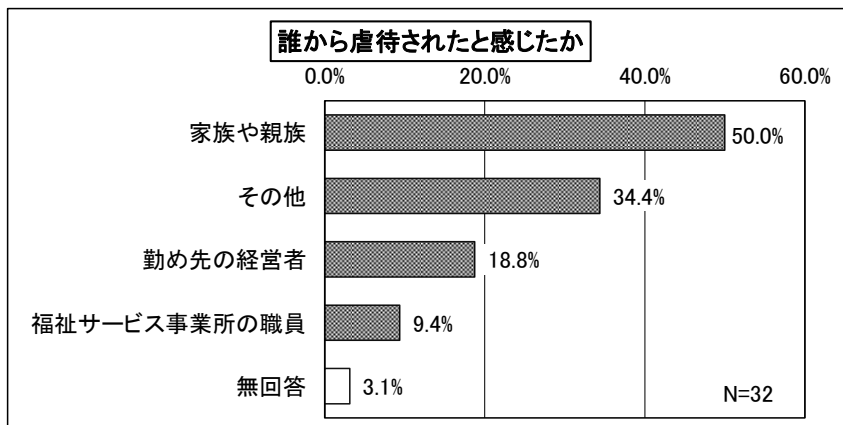
これまでに受けた虐待の種類(障害種別)

	身体的虐待	心理的虐待	経済的虐待	ネグレクト	無回答
身体障がい者(N=11)	18.2%	72.7%	18.2%	18.2%	9.1%
知的障がい者(N=5)	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%
精神障がい者(N=10)	30.0%	80.0%	30.0%	20.0%	0.0%
重複障がい者(N=2)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
持っていない(N=4)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
村全体(N=32)	18.8%	81.3%	15.6%	12.5%	3.1%



問 28 誰から虐待されたと感じましたか。(あてはまるものすべてに○)

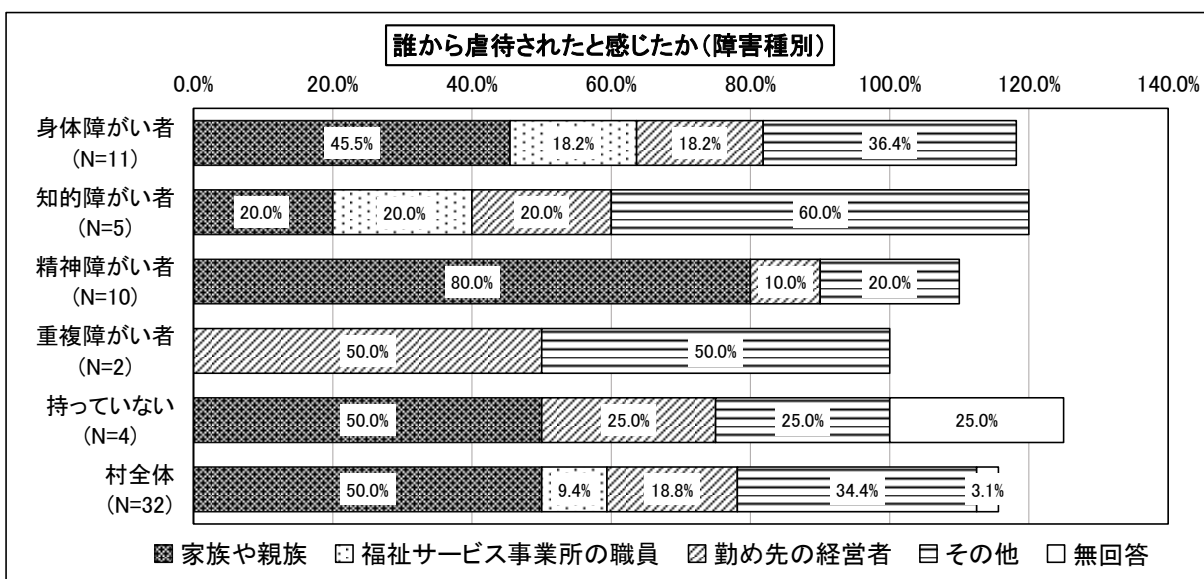
誰から虐待されたと感じたかの第 1 位は「家族や親族」の 50.0%、第 2 位は「その他」の 34.4%、第 3 位は「勤め先の経営者」の 18.8%、第 4 位は「福祉サービス事業所の職員」の 9.4%となっています。



障害種別でみると、身体障がい者及び精神障がい者、持っていないでは「家族や親族」がそれぞれ 45.5%、80.0%、50.0%で最も多く、知的障がい者及び重複障がい者では「その他」がそれぞれ 60.0%、50.0%で最も多くなっています(重複障がい者では「勤め先の経営者」も同率)。

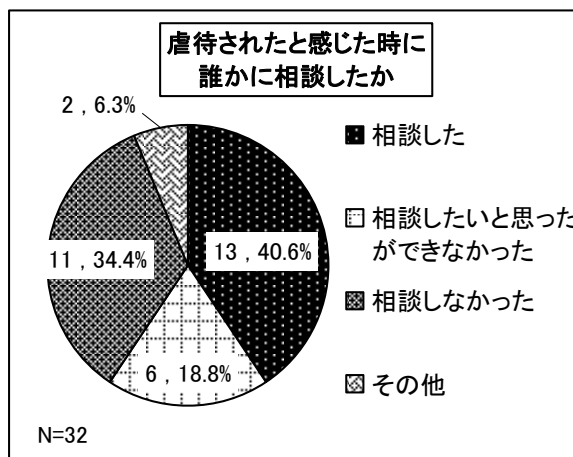
誰から虐待されたと感じたか(障害種別)

	家族や親族	福祉サービス事業所の職員	勤め先の経営者	その他	無回答
身体障がい者(N=11)	45.5%	18.2%	18.2%	36.4%	0.0%
知的障がい者(N=5)	20.0%	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%
精神障がい者(N=10)	80.0%	0.0%	10.0%	20.0%	0.0%
重複障がい者(N=2)	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
持っていない(N=4)	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%
村全体(N=32)	50.0%	9.4%	18.8%	34.4%	3.1%

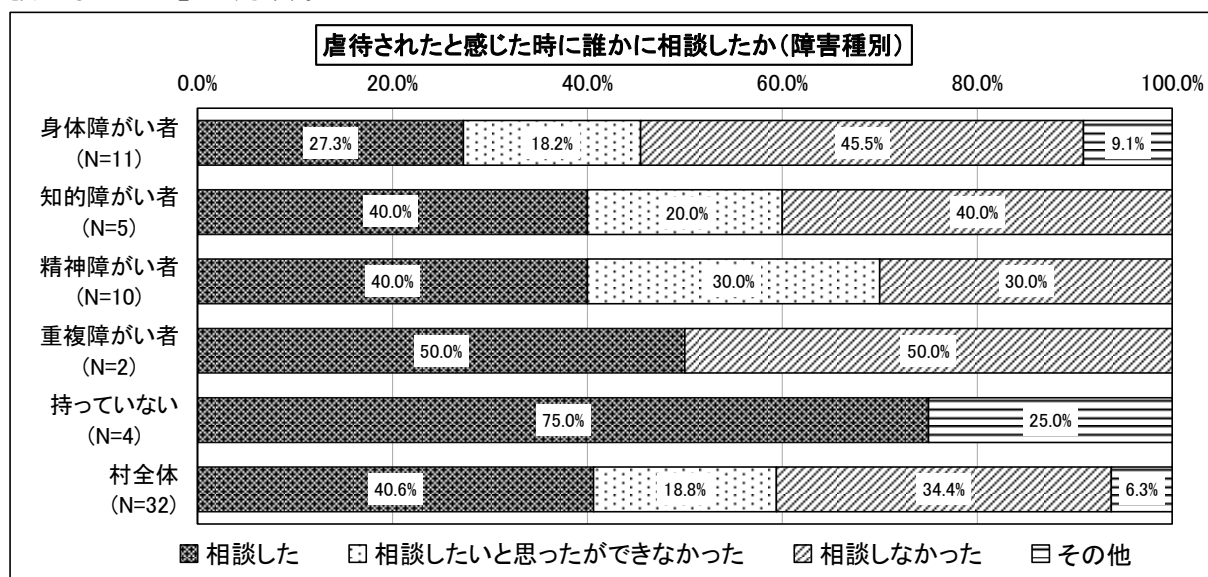


問 29 虐待されたと感じた時に誰かに相談しましたか。(1つだけ〇)

虐待されたと感じた時に誰かに相談したかをみると、「相談した」が40.6%で最も多く、次いで「相談しなかった」の34.4%、「相談したいと思ったができなかった」の18.8%、「その他」の6.3%となっています。



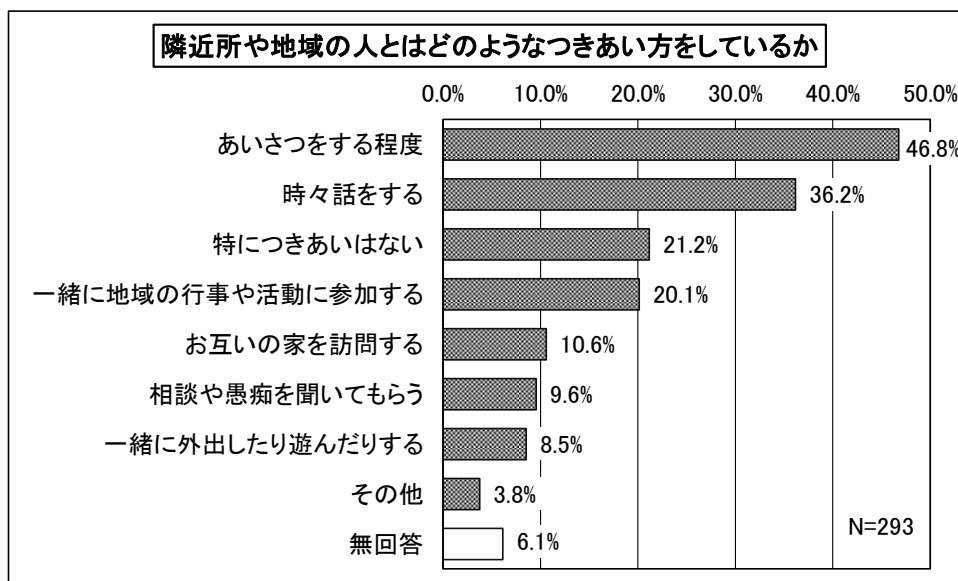
障害種別でみると、身体障がい者では「相談しなかった」との回答が45.5%で最も多く、それ以外では「相談した」との回答が最も多くなっています（知的障がい者及び重複障がい者では「相談しなかった」も同率）。



### 9. 地域のこと・暮らしについて

問 30 あなたは、隣近所や地域の人とはどのようなつきあい方をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

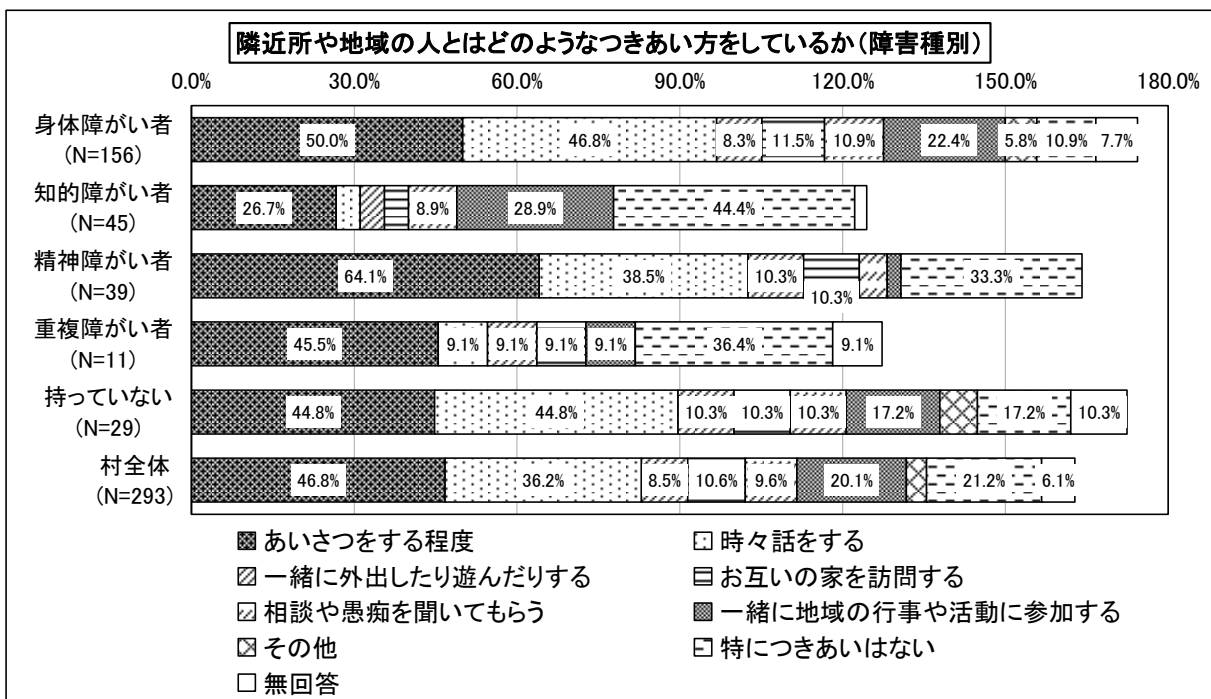
隣近所や地域の人とはどのようなつきあい方をしているかの第1位は「あいさつをする程度」の46.8%、第2位は「時々話をする」の36.2%、第3位は「特につきあいはない」の21.2%、第4位は「一緒に地域の行事や活動に参加する」の20.1%、第5位は「お互いの家を訪問する」の10.6%等となっています。



障害種別でみると、知的障がい者では「特につきあいはない」との回答が44.4%で最も多く、それ以外では「あいさつをする程度」との回答が最も多くなっています（持っていないでは「時々話をする」も同率）。

隣近所や地域の人とはどのようなつきあい方をしているか(障害種別)

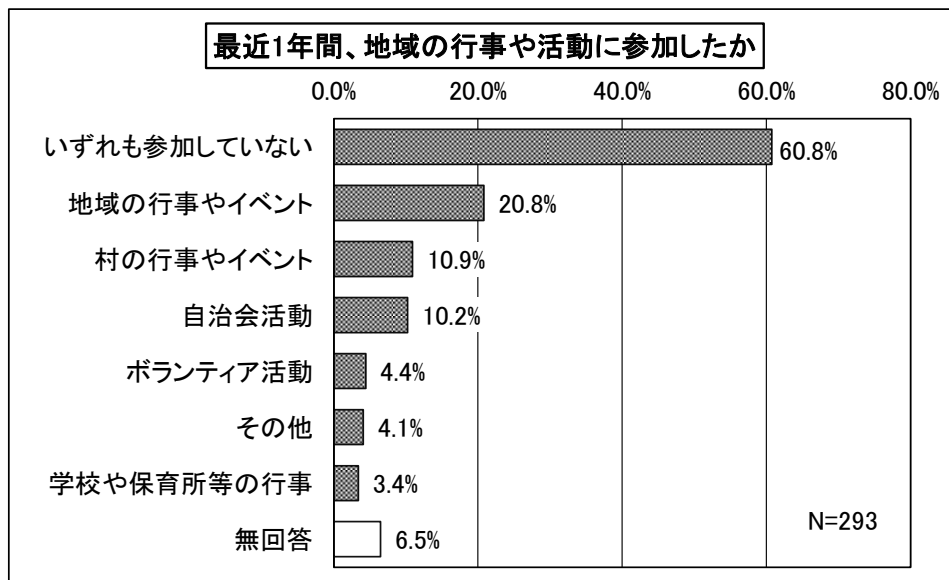
	あいさつをする程度	時々話を する	一緒に外出したり遊んだりする	お互いの家を訪問する	相談や愚痴を聞いてもらう	一緒に地域の行事や活動に参加する	その他	特につきあいはない	無回答
身体障がい者(N=156)	50.0%	46.8%	8.3%	11.5%	10.9%	22.4%	5.8%	10.9%	7.7%
知的障がい者(N=45)	26.7%	4.4%	4.4%	4.4%	8.9%	28.9%	0.0%	44.4%	2.2%
精神障がい者(N=39)	64.1%	38.5%	10.3%	10.3%	5.1%	2.6%	0.0%	33.3%	0.0%
重複障がい者(N=11)	45.5%	9.1%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	36.4%	9.1%
持っていない(N=29)	44.8%	44.8%	10.3%	10.3%	10.3%	17.2%	6.9%	17.2%	10.3%
村全体(N=293)	46.8%	36.2%	8.5%	10.6%	9.6%	20.1%	3.8%	21.2%	6.1%





問 31 最近 1 年間、あなたは、地域の行事や活動に参加しましたか。(あてはまるものすべてに○)

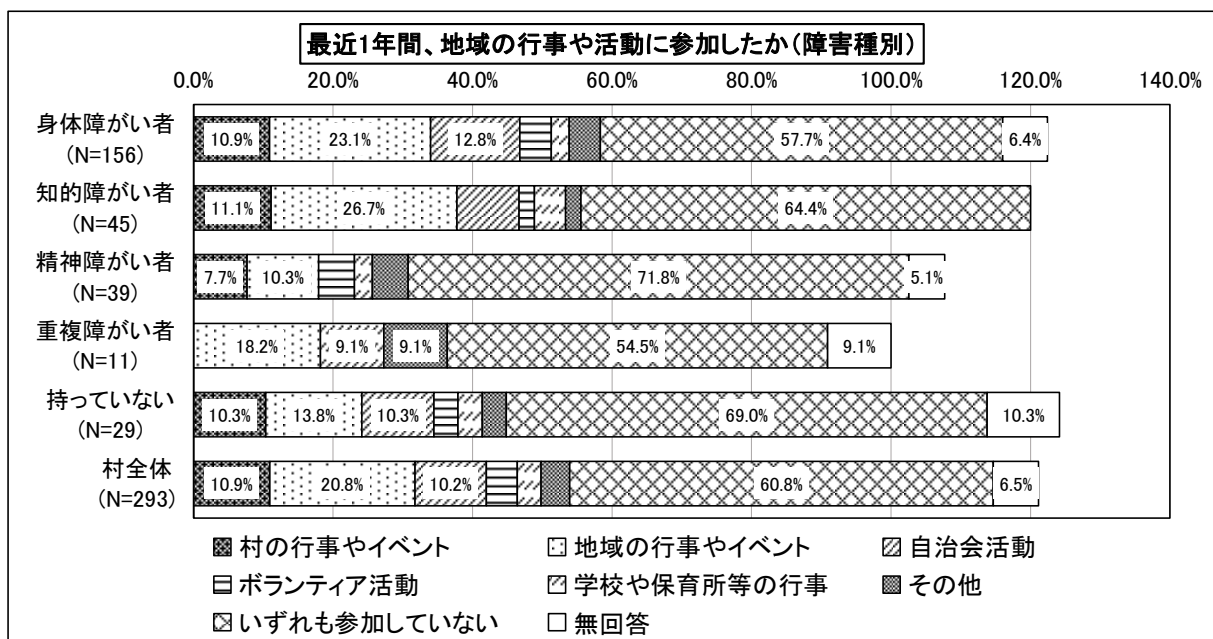
最近 1 年間、地域の行事や活動に参加したかの第 1 位は「いずれも参加していない」の 60.8%、第 2 位は「地域の行事やイベント」の 20.8%、第 3 位は「村の行事やイベント」の 10.9%、第 4 位は「自治会活動」の 10.2%、第 5 位は「ボランティア活動」の 4.4%等となっています。



障害種別でみると、全ての障害種別で「いずれも参加していない」との回答が最も多く、特に精神障がい者では7割以上の方が「いずれも参加していない」と回答しています。

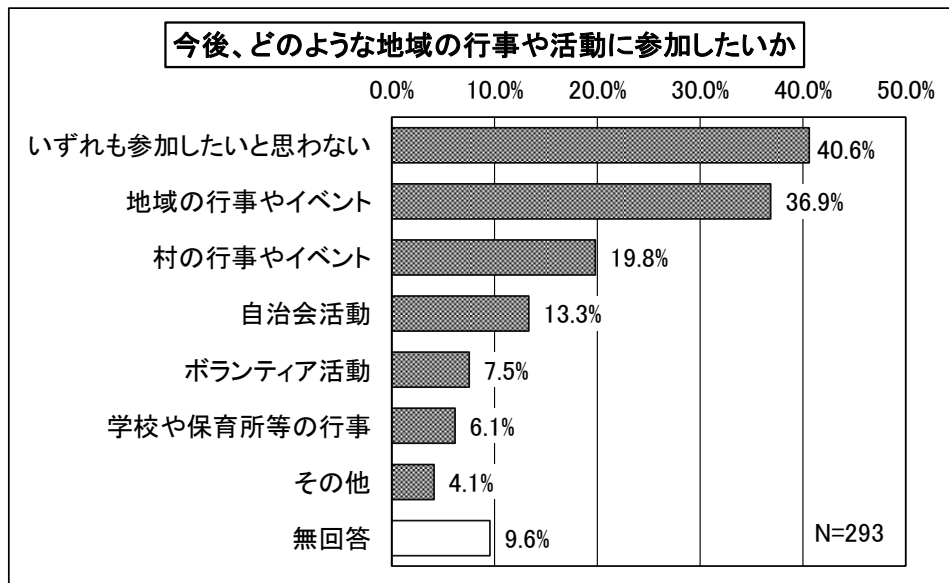
最近1年間、地域の行事や活動に参加したか(障害種別)

	村の行事やイベント	地域の行事やイベント	自治会活動	ボランティア活動	学校や保育所等の行事	その他	いずれも参加していない	無回答
身体障がい者(N=156)	10.9%	23.1%	12.8%	4.5%	2.6%	4.5%	57.7%	6.4%
知的障がい者(N=45)	11.1%	26.7%	8.9%	2.2%	4.4%	2.2%	64.4%	0.0%
精神障がい者(N=39)	7.7%	10.3%	0.0%	5.1%	2.6%	5.1%	71.8%	5.1%
重複障がい者(N=11)	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%	9.1%	9.1%	54.5%	9.1%
持っていない(N=29)	10.3%	13.8%	10.3%	3.4%	3.4%	3.4%	69.0%	10.3%
村全体(N=293)	10.9%	20.8%	10.2%	4.4%	3.4%	4.1%	60.8%	6.5%



問 32 今後、あなたは、どのような行事や活動に参加したいですか。(あてはまるものすべてに○)

今後、どのような地域の行事や活動に参加したいかの第1位は「いずれも参加したいと思わない」の40.6%、第2位は「地域の行事やイベント」の36.9%、第3位は「村の行事やイベント」の19.8%、第4位は「自治会活動」の13.3%、第5位は「ボランティア活動」の7.5%等となっています。

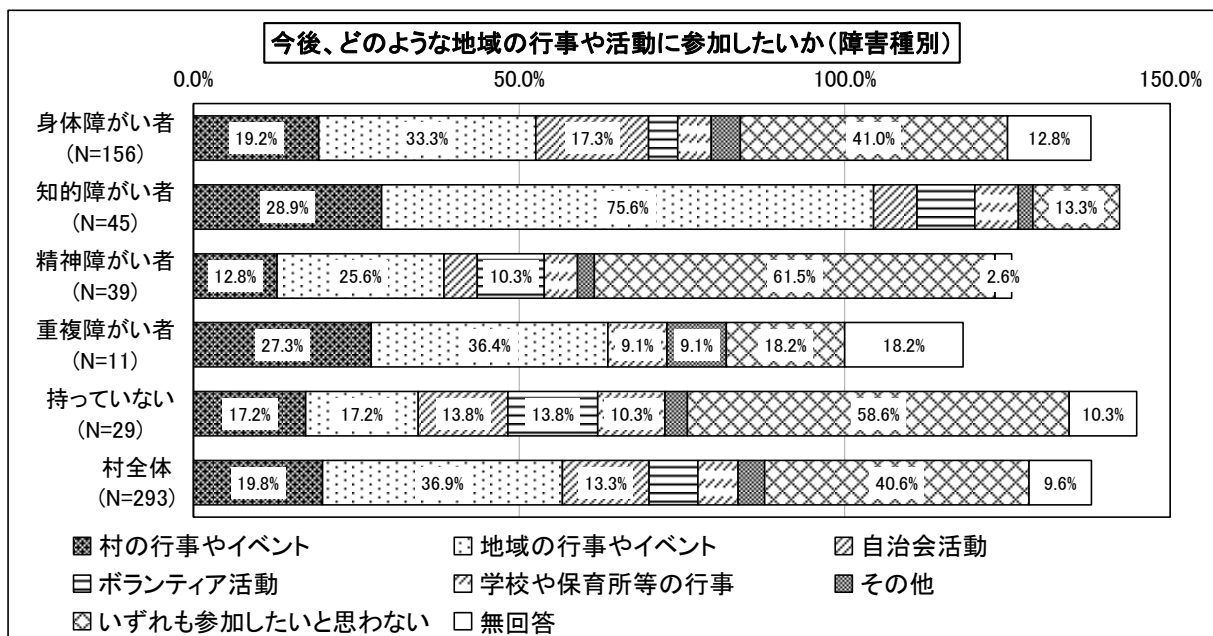


障害種別でみると、身体障がい者及び精神障がい者、持っていないでは「いずれも参加したいと思わない」がそれぞれ41.0%、61.5%、58.6%で最も多くなっています。

また、知的障がい者及び重複障がい者では「地域の行事やイベント」との回答が最も多く、それぞれ75.6%、36.4%となっています。

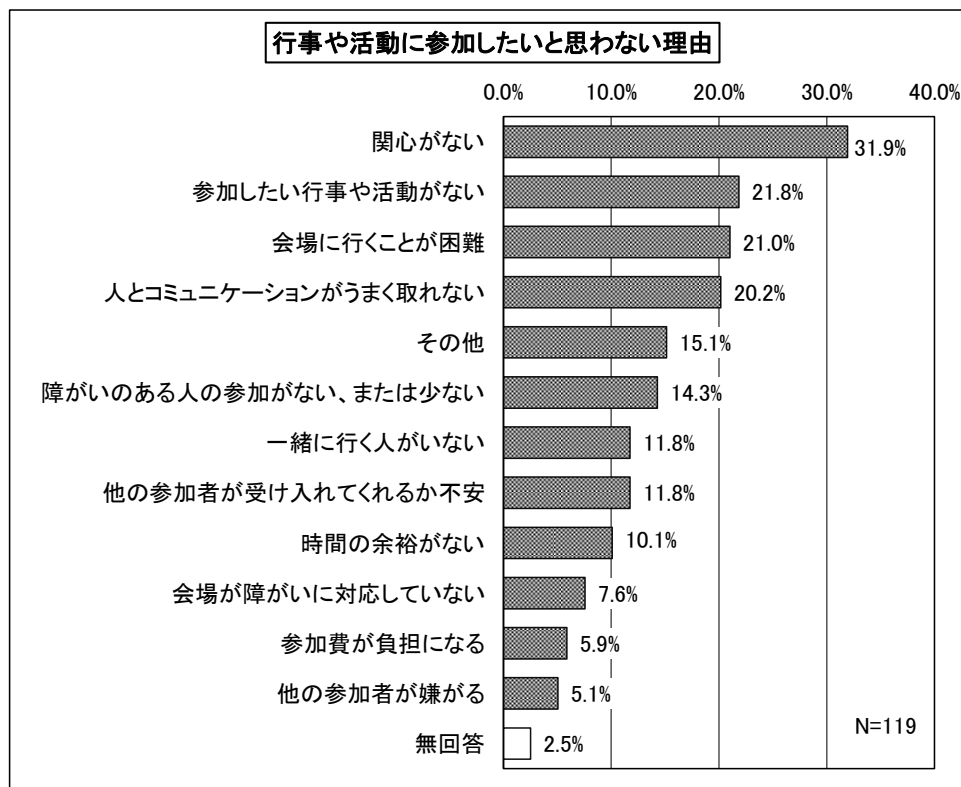
今後、どのような地域の行事や活動に参加したいか(障害種別)

	村の行事やイベント	地域の行事やイベント	自治会活動	ボランティア活動	学校や保育所等の行事	その他	いずれも参加したいと思わない	無回答
身体障がい者(N=156)	19.2%	33.3%	17.3%	4.5%	5.1%	4.5%	41.0%	12.8%
知的障がい者(N=45)	28.9%	75.6%	6.7%	8.9%	6.7%	2.2%	13.3%	0.0%
精神障がい者(N=39)	12.8%	25.6%	5.1%	10.3%	5.1%	2.6%	61.5%	2.6%
重複障がい者(N=11)	27.3%	36.4%	0.0%	0.0%	9.1%	9.1%	18.2%	18.2%
持っていない(N=29)	17.2%	17.2%	13.8%	13.8%	10.3%	3.4%	58.6%	10.3%
村全体(N=293)	19.8%	36.9%	13.3%	7.5%	6.1%	4.1%	40.6%	9.6%



問 33 いずれも参加したいと思わないのは、なぜですか。(あてはまるものすべてに○)

行事や活動に参加したいと思わない理由の第1位は「関心がない」の31.9%、第2位は「参加したい行事や活動がない」の21.8%、第3位は「会場に行くことが困難」の21.0%、第4位は「人とコミュニケーションがうまく取れない」の20.2%、第5位は「その他」の15.1%等となっています。



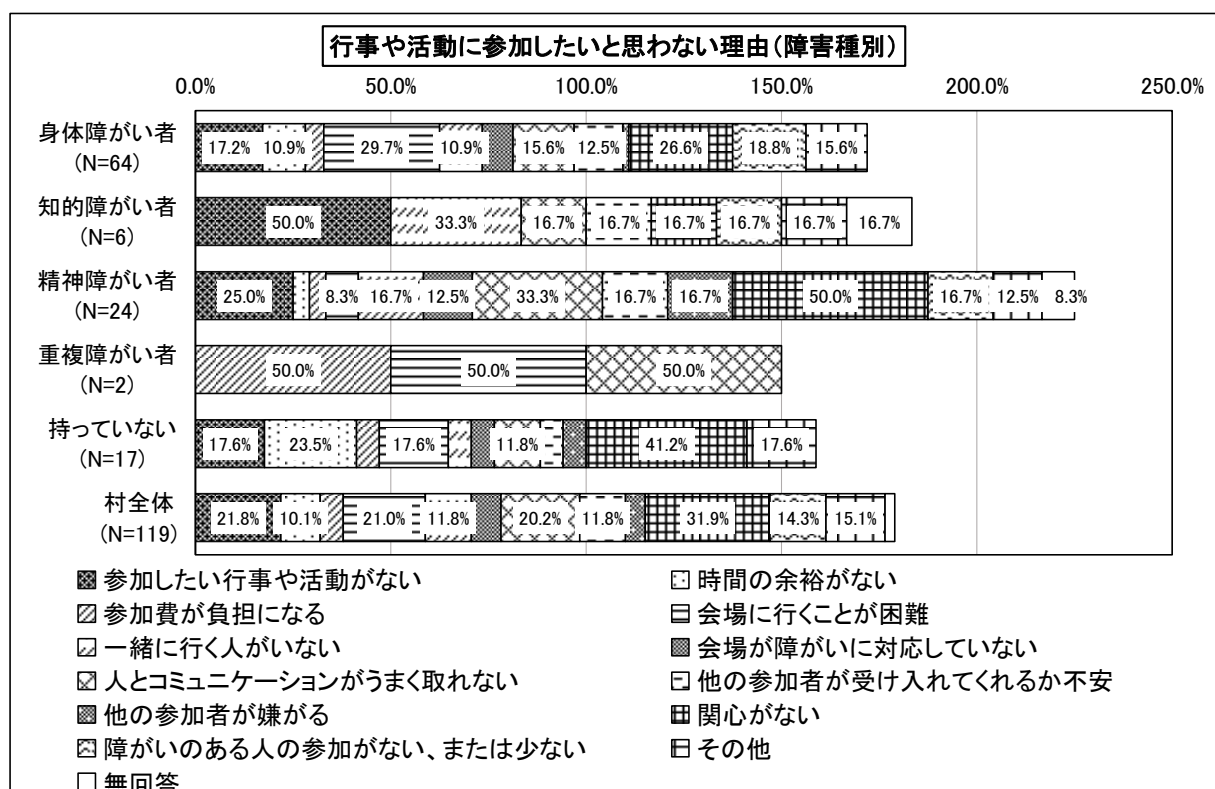
障害種別でみると、身体障がい者及び重複障がい者では「会場に行くことが困難」がそれぞれ29.7%、50.0%で最も多くなっています（重複障がい者では「参加費が負担になる」及び「人とコミュニケーションがうまく取れない」も同率）。

また、知的障がい者では「参加したい行事や活動がない」が50.0%、精神障がい者及び持っていないでは「関心がない」がそれぞれ50.0%、41.2%で最も多くなっています。

行事や活動に参加したいと思わない理由(障害種別)

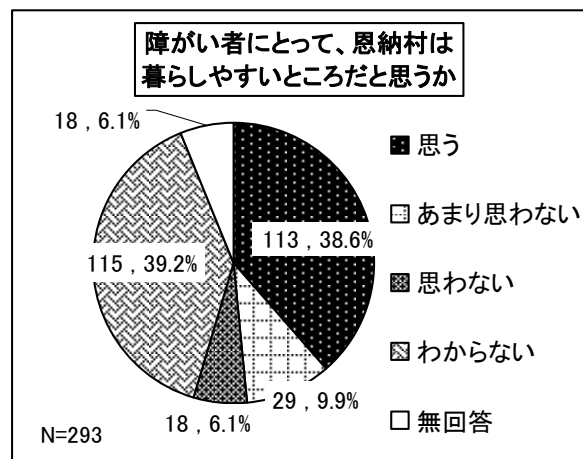
	参加したい行事や活動がない	時間の余裕がない	参加費が負担になる	会場に行くことが困難	一緒に行く人がいない	会場が障がいに対応していない	人とコミュニケーションがうまく取れない
身体障がい者(N=64)	17.2%	10.9%	4.7%	29.7%	10.9%	7.8%	15.6%
知的障がい者(N=6)	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	16.7%
精神障がい者(N=24)	25.0%	4.2%	4.2%	8.3%	16.7%	12.5%	33.3%
重複障がい者(N=2)	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
持っていない(N=17)	17.6%	23.5%	5.9%	17.6%	5.9%	5.9%	11.8%
村全体(N=119)	21.8%	10.1%	5.9%	21.0%	11.8%	7.6%	20.2%

	他の参加者が受け入れてくれるか不安	他の参加者が嫌がる	関心がない	障がいのある人の参加がない、または少ない	その他	無回答
身体障がい者(N=64)	12.5%	1.6%	26.6%	18.8%	15.6%	0.0%
知的障がい者(N=6)	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%
精神障がい者(N=24)	16.7%	16.7%	50.0%	16.7%	12.5%	8.3%
重複障がい者(N=2)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
持っていない(N=17)	5.9%	5.9%	41.2%	0.0%	17.6%	0.0%
村全体(N=119)	11.8%	5.0%	31.9%	14.3%	15.1%	2.5%



問 34 あなたは、障がい者にとって、恩納村は暮らしやすいところだと思いますか。(1 つだけ○)

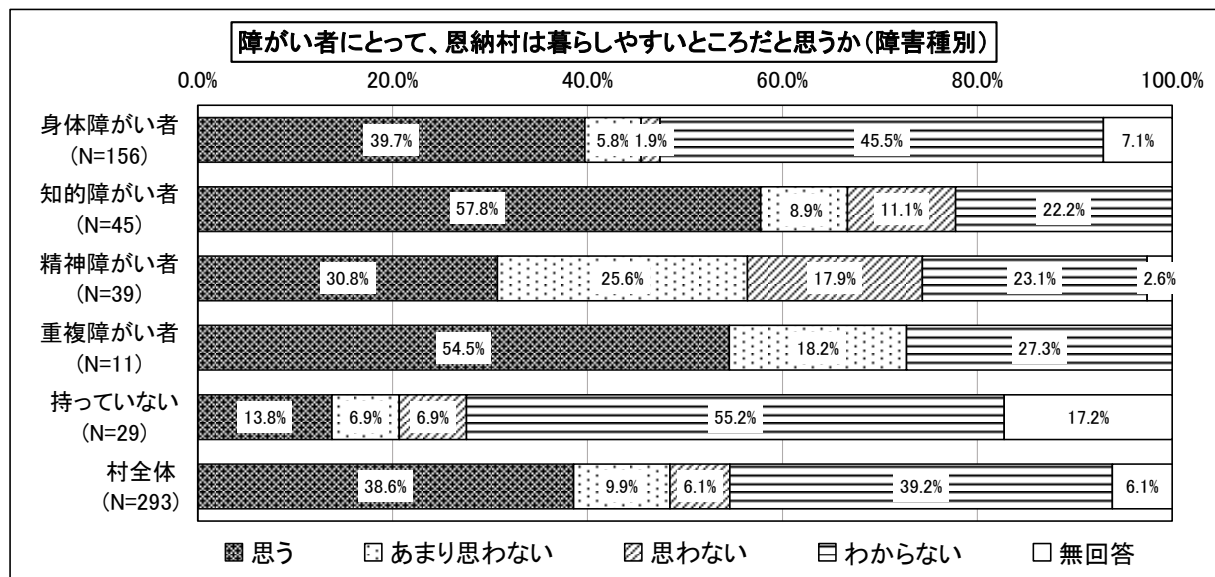
障がい者にとって、恩納村は暮らしやすいところだと思うかをみると、「わからない」が39.2%で最も多く、次いで「思う」の38.6%、「あまり思わない」の9.9%、「思わない」の6.1%となっています。



障害種別でみると、知的障がい者及び精神障がい者、重複障がい者では「思う」との回答が最も多く、それぞれ57.8%、30.8%、54.5%となっています。

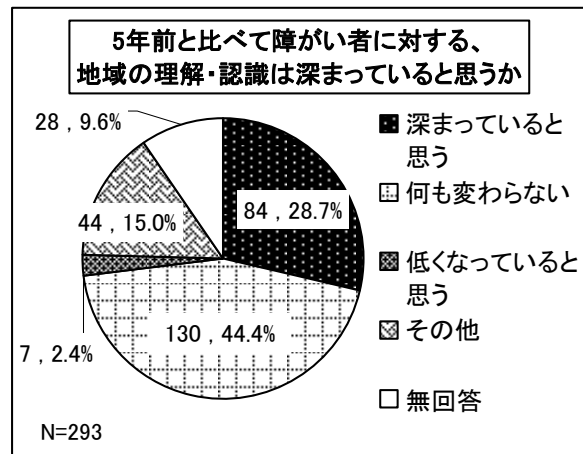
また、身体障がい者及び持っていないでは「わからない」との回答がそれぞれ45.5%、55.2%で最も多くなっています。

一方、思わない（「あまり思わない」＋「思わない」）との回答は、精神障がい者の43.6%が最も多く、次いで知的障がい者の20.0%、重複障がい者の18.2%となっています。

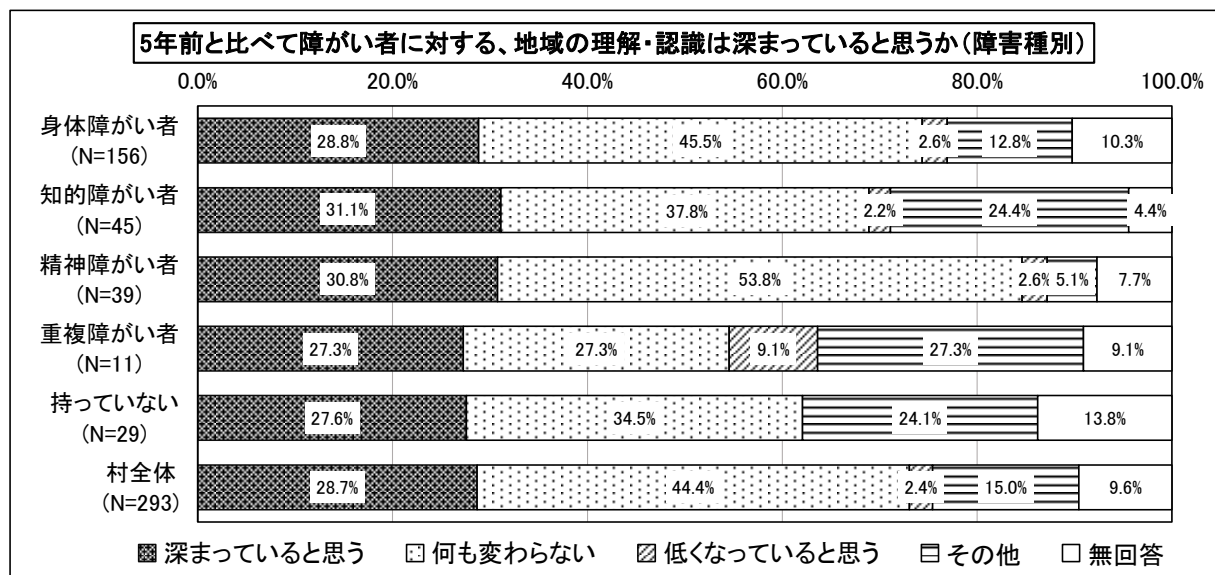


問 35 あなたは、5年前と比べて障がいのある人に対する、地域の理解・認識は深まっていると思いますか。(1つだけ〇)

5年前と比べて障がい者に対する、地域の理解・認識は深まっていると思うかをみると、「何も変わらない」が44.4%で最も多く、次いで「深まっていると思う」の28.7%、「その他」の15.0%、「低くなっていると思う」の2.4%となっています。



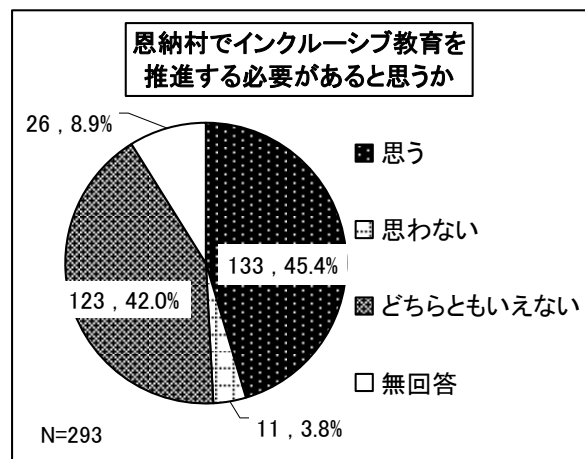
障害種別でみると、全ての障害種別で「何も変わらない」との回答が最も多くなっています（重複障がい者では「深まっていると思う」及び「その他」も同率）。



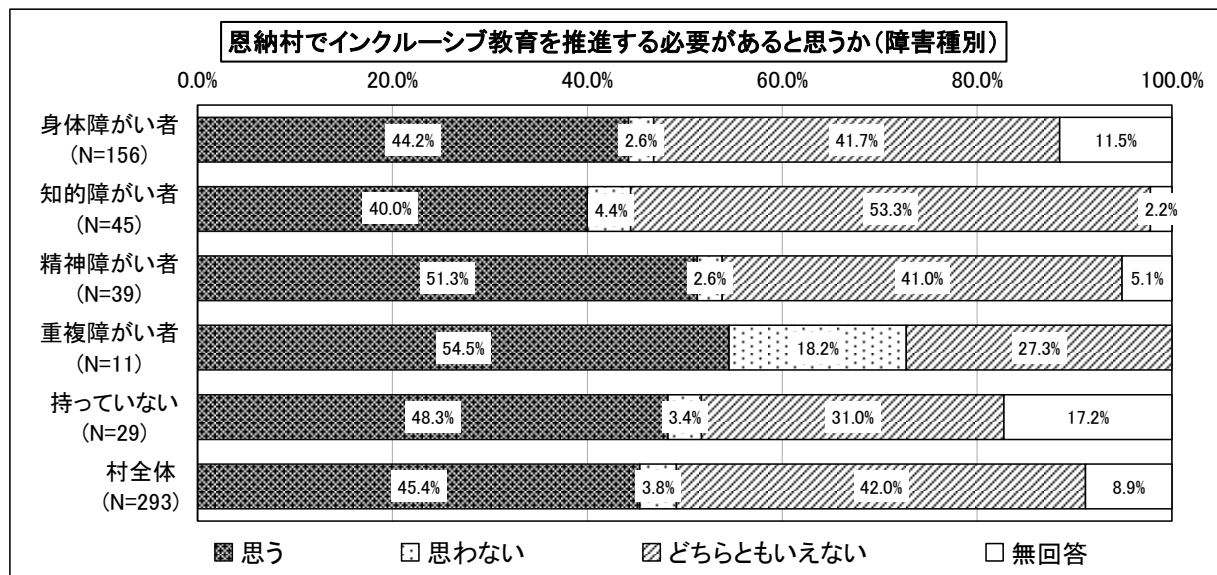


問 36 あなたは、恩納村でインクルーシブ教育を推進する必要があると思いますか。(1つだけ○)

恩納村でインクルーシブ教育を推進する必要があると思うかをみると、「思う」が45.4%で最も多く、次いで「どちらともいえない」の42.0%、「思わない」の3.8%となっています。

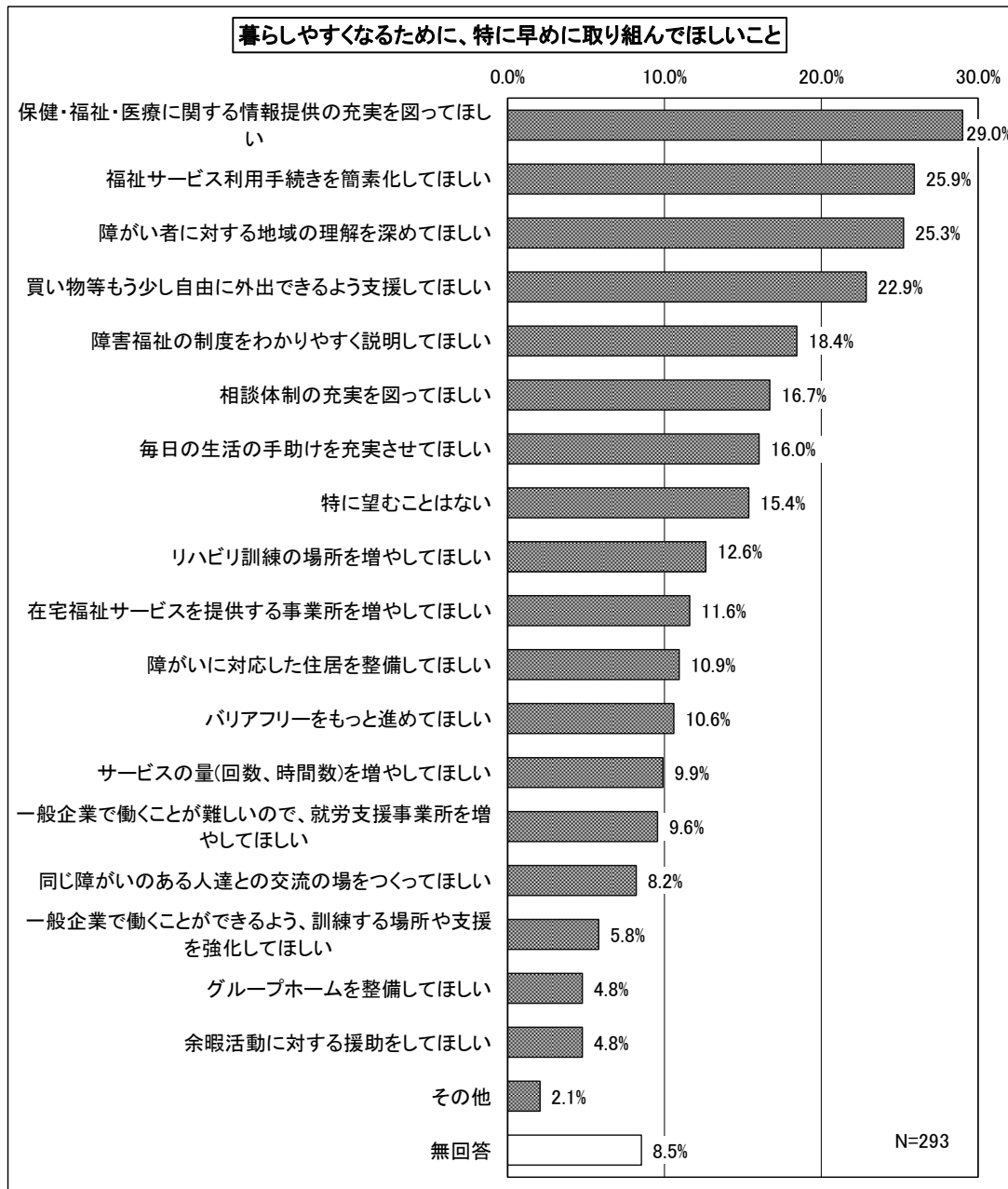


障害種別でみると、知的障がい者では「どちらともいえない」との回答が53.3%で最も多く、それ以外では「思う」との回答が最も多くなっています。



問 37 あなたが、暮らしやすくなるために、特に早めに取り組んでほしいことはどのようなことですか。(最大5つまで〇)

暮らしやすくなるために、特に早めに取り組んでほしいことの第1位は「保健・福祉・医療に関する情報提供の充実を図ってほしい」の29.0%、第2位は「福祉サービス利用手続きを簡素化してほしい」の25.9%、第3位は「障がい者に対する地域の理解を深めてほしい」の25.3%、第4位は「買い物等もう少し自由に外出できるよう支援してほしい」の22.9%、第5位は「障害福祉の制度をわかりやすく説明してほしい」の18.4%等となっています。



障害種別でみると、身体障がい者及び重複障がい者、持っていないでは「保健・福祉・医療に関する情報提供の充実を図ってほしい」との回答が最も多く、それぞれ34.0%、54.5%、27.6%となっています（持っていないでは「福祉サービス利用手続きを簡素化してほしい」及び「特に望むことはない」も同率）。

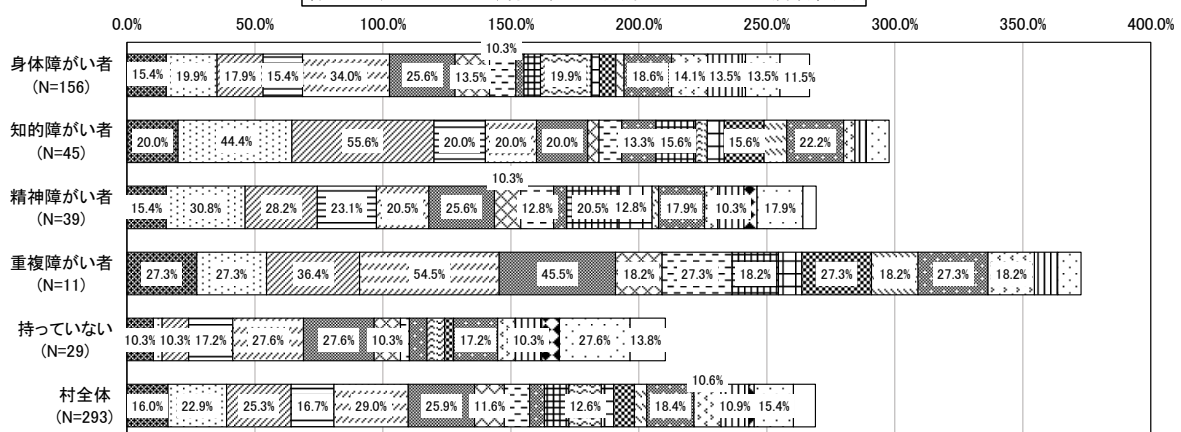
また、知的障がい者では「障がい者に対する地域の理解を深めてほしい」が55.6%、精神障がい者では「買い物等もう少し自由に外出できるように支援してほしい」が30.8%で最も多くなっています。

暮らしやすくなるために、特に早めに取り組んでほしいこと(障害種別)

	毎日の生活の手助けを充実させてほしい	買い物等もう少し自由に外出できるように支援してほしい	障がい者に対する地域の理解を深めてほしい	相談体制の充実を図ってほしい	保健・福祉・医療に関する情報提供の充実を図ってほしい	福祉サービス利用手続きを簡素化してほしい	在宅福祉サービスを提供する事業所を増やしてほしい	サービスの量(回数、時間数)を増やしてほしい	一般企業で働くことができるよう、訓練する場所や支援を強化してほしい	一般企業で働くことが難しいので、就労支援事業所を増やしてほしい
身体障がい者(N=156)	15.4%	19.9%	17.9%	15.4%	34.0%	25.6%	13.5%	10.3%	3.2%	6.4%
知的障がい者(N=45)	20.0%	44.4%	55.6%	20.0%	20.0%	20.0%	4.4%	8.9%	13.3%	15.6%
精神障がい者(N=39)	15.4%	30.8%	28.2%	23.1%	20.5%	25.6%	10.3%	12.8%	5.1%	20.5%
重複障がい者(N=11)	27.3%	27.3%	36.4%	0.0%	54.5%	45.5%	18.2%	27.3%	0.0%	18.2%
持っていない(N=29)	10.3%	3.4%	10.3%	17.2%	27.6%	27.6%	10.3%	3.4%	6.9%	0.0%
村全体(N=293)	16.0%	22.9%	25.3%	16.7%	29.0%	25.9%	11.6%	9.9%	5.8%	9.6%

	リハビリ訓練の場所を増やしてほしい	グループホームを整備してほしい	同じ障がいのある人達との交流の場をつくってほしい	余暇活動に対する援助をしてほしい	障害福祉の制度をわかりやすく説明してほしい	バリアフリーをもっと進めてほしい	障がいに対応した住居を整備してほしい	その他	特に望むことはない	無回答
身体障がい者(N=156)	19.9%	3.2%	6.4%	3.2%	18.6%	14.1%	13.5%	1.3%	13.5%	11.5%
知的障がい者(N=45)	4.4%	6.7%	15.6%	8.9%	22.2%	4.4%	4.4%	0.0%	8.9%	0.0%
精神障がい者(N=39)	0.0%	12.8%	0.0%	2.6%	17.9%	5.1%	10.3%	5.1%	17.9%	5.1%
重複障がい者(N=11)	0.0%	9.1%	27.3%	18.2%	27.3%	18.2%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%
持っていない(N=29)	6.9%	0.0%	3.4%	0.0%	17.2%	6.9%	10.3%	6.9%	27.6%	13.8%
村全体(N=293)	12.6%	4.8%	8.2%	4.8%	18.4%	10.6%	10.9%	2.0%	15.4%	8.5%

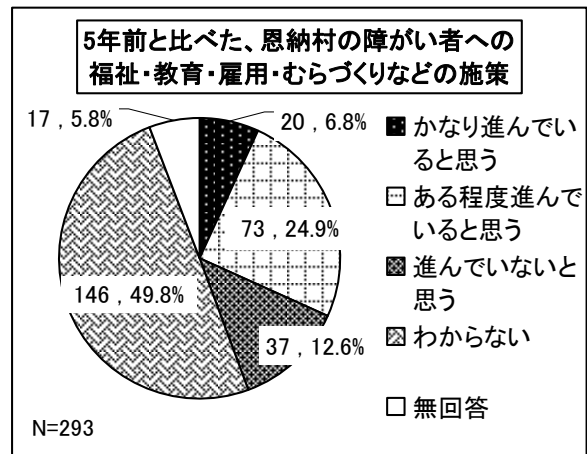
暮らしやすくなるために、特に早めに取り組んでほしいこと(障害種別)



- 毎日の生活の手助けを充実させてほしい
- ▣ 障がい者に対する地域の理解を深めてほしい
- ▣ 保健・福祉・医療に関する情報提供の充実を図ってほしい
- ▣ 在宅福祉サービスを提供する事業所を増やしてほしい
- 一般企業で働くことができるよう、訓練する場所や支援を強化してほしい
- ▣ リハビリ訓練の場所を増やしてほしい
- 同じ障がいのある人達との交流の場をつくってほしい
- 障害福祉の制度をわかりやすく説明してほしい
- ▣ 障がいに対応した住居を整備してほしい
- 特に望むことはない
- ▣ 買い物等もう少し自由に外出できるように支援してほしい
- ▣ 相談体制の充実を図ってほしい
- 福祉サービス利用手続きを簡素化してほしい
- ▣ サービスの量(回数、時間数)を増やしてほしい
- 一般企業で働くことが難しいので、就労支援事業所を増やしてほしい
- ▣ グループホームを整備してほしい
- ▣ 余暇活動に対する援助をしてほしい
- ▣ バリアフリーをもっと進めてほしい
- その他
- 無回答

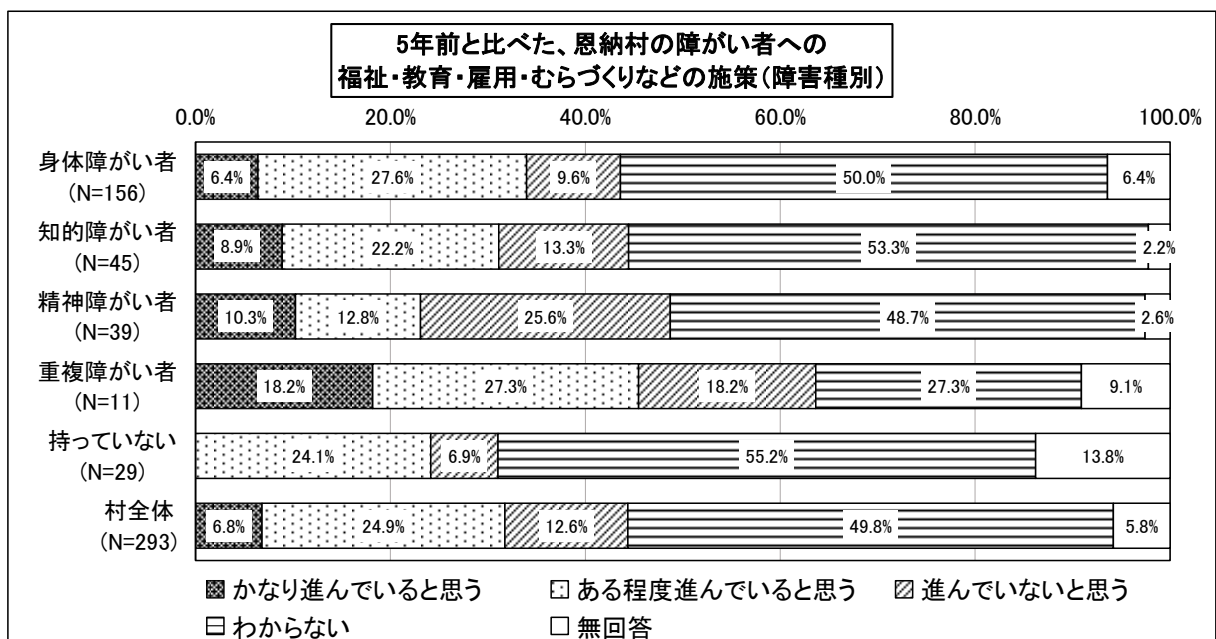
問 38 あなたは、5年前と比べて、恩納村の障がいのある人に対する福祉・教育・雇用・むらづくりなどの施策は進んでいると思いますか。(1つだけ○)

5年前と比べて、恩納村の障がい者に対する福祉・教育・雇用・むらづくりなどの施策は進んでいるかをみると、「わからない」が49.8%で最も多く、次いで「ある程度進んでいると思う」の24.9%、「進んでいないと思う」の12.6%、「かなり進んでいると思う」の6.8%となっています。



障害種別でみると、全ての障害種別で「わからない」との回答が最も多くなっています（重複障がい者では「ある程度進んでいると思う」も同率）。

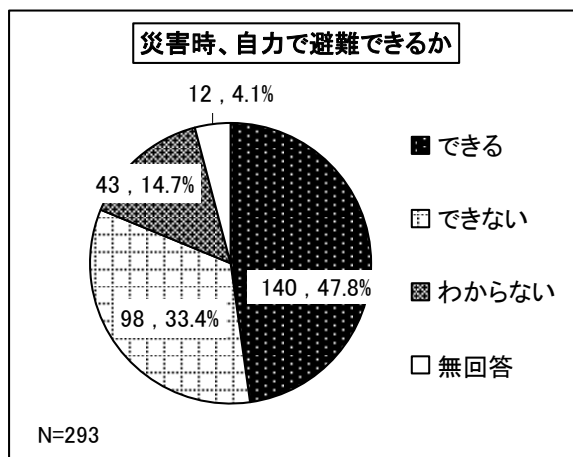
また、進んでいると思う（「かなり進んでいると思う」＋「ある程度進んでいると思う」）との回答は、重複障がい者の45.5%が最も多く、次いで身体障がい者の34.0%、知的障がい者の31.1%となっています。



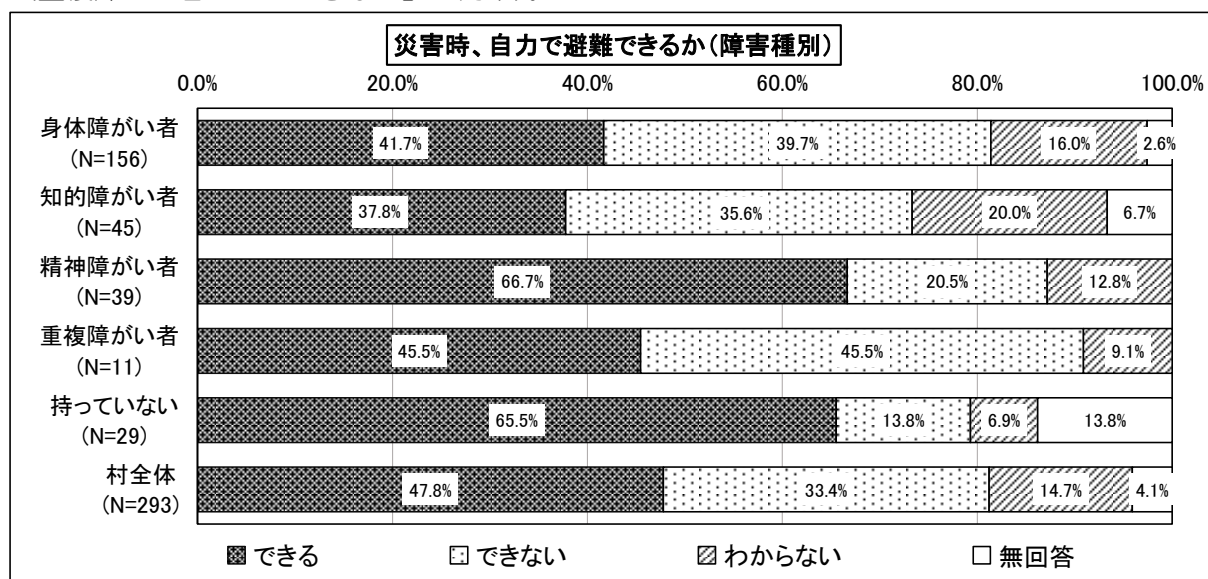
## 10. 災害時の避難等について

問 39 あなたは、台風や地震等の災害が起こった場合、自分で避難することができますか。(1つだけ○)

災害時、自力で避難できるかをみると、「できる」が 47.8%で最も多く、次いで「できない」の 33.4%、「わからない」の 14.7%となっています。

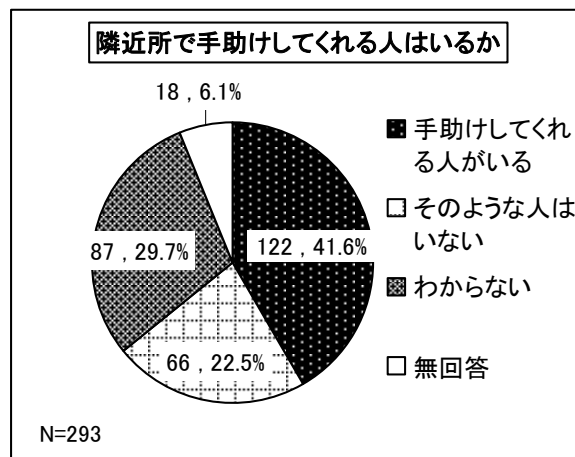


障害種別でみると、全ての障害種別で「できる」との回答が最も多く、特に精神障がい者では 66.7%、持っていないでは 65.5%と、他の障害種別に比べ 20 ポイント以上高くなっています（重複障がい者では「できない」も同率）。



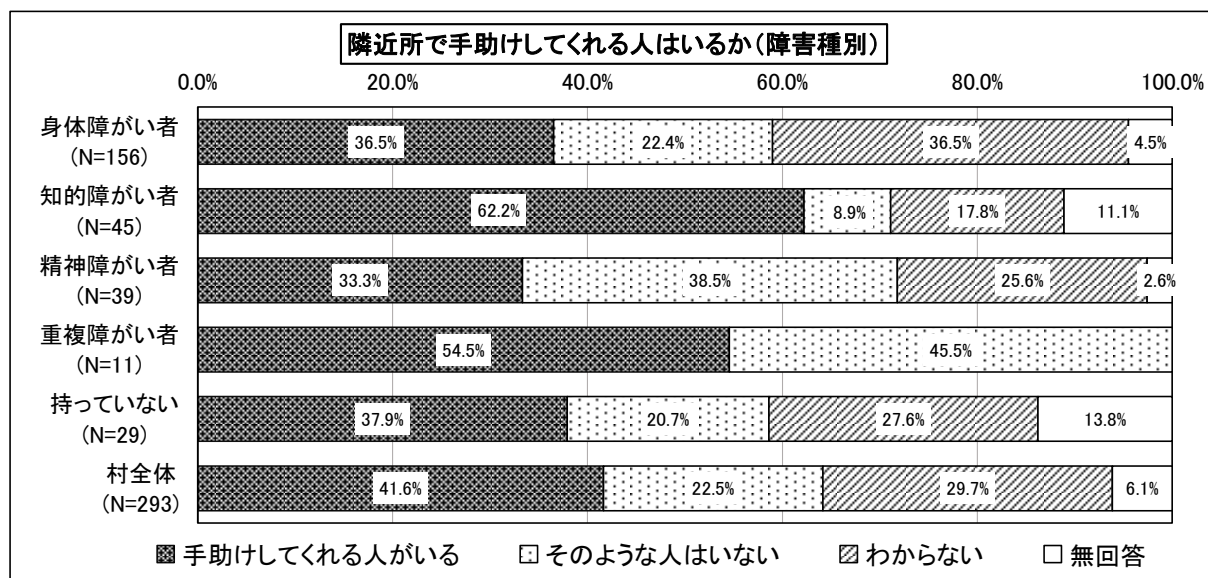
問 40 家族以外で隣近所にあなを、手助けしてくれる人はいますか。(1つだけ〇)

隣近所で手助けしてくれる人はいるかをみると、「手助けしてくれる人がいる」が41.6%で最も多く、次いで「わからない」の29.7%、「そのような人はいない」の22.5%となっています。



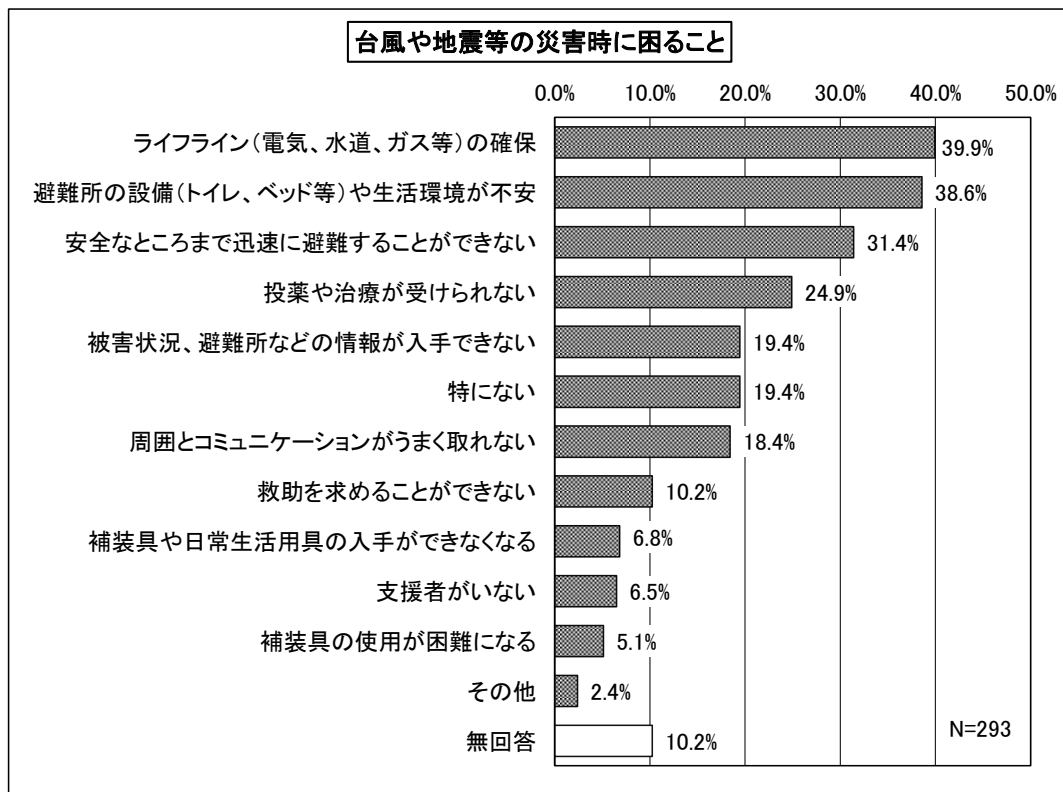
障害種別でみると、身体障がい者では「手助けしてくれる人がいる」及び「わからない」が36.5%、精神障がい者では「そのような人はいない」が38.5%で最も多くなっています。

また、知的障がい者及び重複障がい者、持っていないでは「手助けしてくれる人がいる」との回答が最も多く、特に知的障がい者で62.2%と高くなっています。



問 41 台風や地震等の災害時に困ることはなんですか。(あてはまるものすべてに○)

台風や地震等の災害時に困ることの第 1 位は「ライフライン（電気、水道、ガス等）の確保」の 39.9%、第 2 位は「避難所の設備（トイレ、ベッド等）や生活環境が不安」の 38.6%、第 3 位は「安全なところまで迅速に避難することができない」の 31.4%、第 4 位は「投薬や治療が受けられない」の 24.9%、第 5 位は「被害状況、避難所などの情報が入手できない」及び「特にない」が同率の 19.4%等となっています。



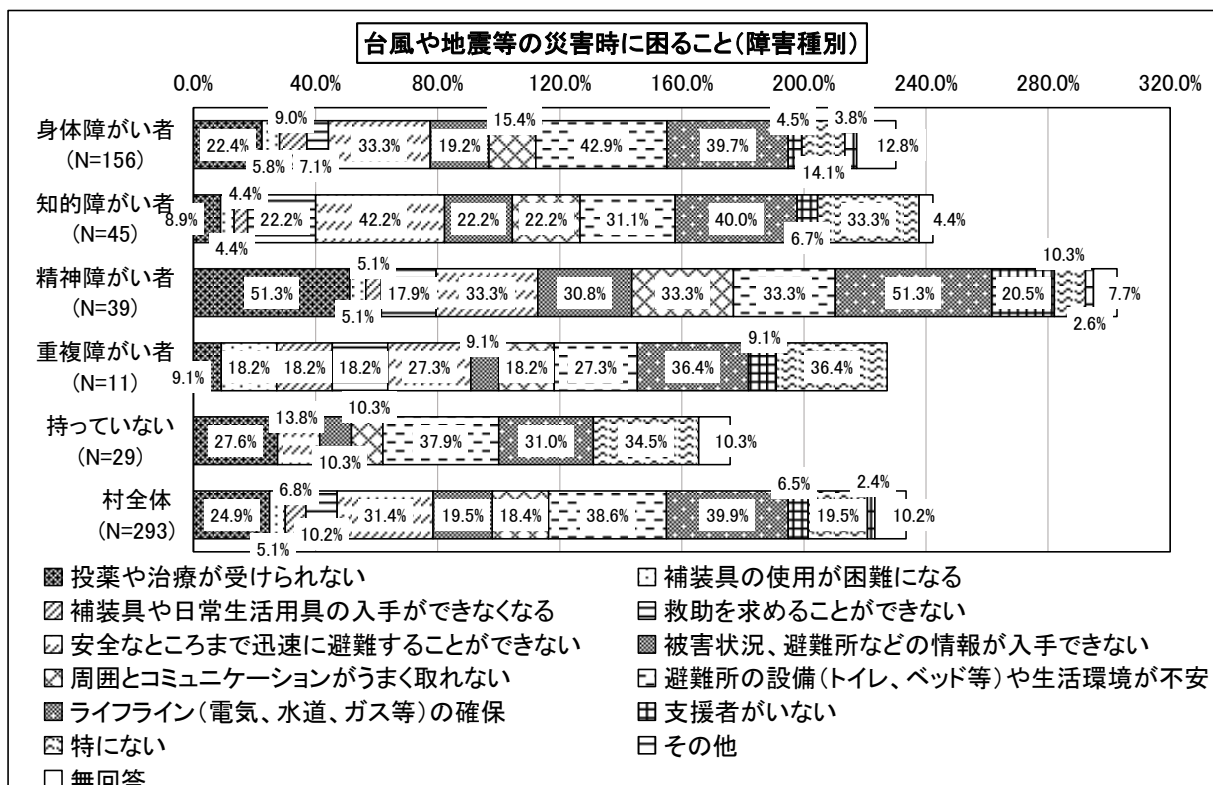


障害種別でみると、身体障がい者及び持っていないでは「避難所の設備（トイレ、ベッド等）や生活環境が不安」がそれぞれ 42.9%、37.9%、知的障がい者では「安全なところまで迅速に避難することができない」が 42.2%、精神障がい者及び重複障がい者では「ライフライン（電気、水道、ガス等）の確保」がそれぞれ 51.3%、36.4%で最も多くなっています（精神障がい者では「投薬や治療が受けられない」、重複障がい者では「特にない」も同率）。

台風や地震等の災害時に困ること(障害種別)

	投薬や治療が受けられない	補装具の使用が困難になる	補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	救助を求めることができない	安全なところまで迅速に避難することができない	被害状況、避難所などの情報が入手できない	周囲とコミュニケーションがうまく取れない
身体障がい者(N=156)	22.4%	5.8%	9.0%	7.1%	33.3%	19.2%	15.4%
知的障がい者(N=45)	8.9%	4.4%	4.4%	22.2%	42.2%	22.2%	22.2%
精神障がい者(N=39)	51.3%	5.1%	5.1%	17.9%	33.3%	30.8%	33.3%
重複障がい者(N=11)	9.1%	18.2%	18.2%	18.2%	27.3%	9.1%	18.2%
持っていない(N=29)	27.6%	0.0%	0.0%	0.0%	13.8%	10.3%	10.3%
村全体(N=293)	24.9%	5.1%	6.8%	10.2%	31.4%	19.5%	18.4%

	避難所の設備（トイレ、ベッド等）や生活環境が不安	ライフライン（電気、水道、ガス等）の確保	支援者がいない	特にない	その他	無回答
身体障がい者(N=156)	42.9%	39.7%	4.5%	14.1%	3.8%	12.8%
知的障がい者(N=45)	31.1%	40.0%	6.7%	33.3%	0.0%	4.4%
精神障がい者(N=39)	33.3%	51.3%	20.5%	10.3%	2.6%	7.7%
重複障がい者(N=11)	27.3%	36.4%	9.1%	36.4%	0.0%	0.0%
持っていない(N=29)	37.9%	31.0%	0.0%	34.5%	0.0%	10.3%
村全体(N=293)	38.6%	39.9%	6.5%	19.5%	2.4%	10.2%





## 11. 自由意見

問 42 障がい者施策全般について、ご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。(自由記述)

自由意見一覧	
1	てんかんを患っているため、車の運転ができず、困っています。バスやタクシーの料金の一部負担等を村が行っていただくと大変助かります。(←もちろん通勤のみで構いません)
2	道路脇の除草をする為に NGO (NPO?) 団体を作ってほしい(放置された缶やボトルの除去も含む)。
3	嘉手納の名嘉病院に長期入院中であり、又本人の意識は全く無いので調査内容は推測です。
4	役場でいつも嫌な思いをしている。直してほしい。
5	コンビニが遠過ぎて困ります。スーパーを作ってください。
6	障害者が受けられるサービス等情報が知られていない事が多いと思います。たまたまネットなどで知る事もあり、認知度が低いと思います。もっと知る必要があると思います。
7	主人が疲れているのにベッドから出られない自分がいる。こうすればと解っていても、できない自分に、死にたくなる。
8	第一番目に、経済的支援の充実を希望致します。
9	ごめんなさい。問と違うかもしれませんが今思っている事を書きました。今年から介護保険料納めていますが、保険料が高い事に、まずびっくり！ 間違いだと思い、電話して確認してしまいました。恩納村は介護受けている方が多いそうですね。一人ひとりが健康で介護受けないで生活できるようにしましょう(無理したらいいけませんけどね)。
10	自治体での色んな、放送及び災害等の放送は聞き取りにくい。
11	障害を起こした時に食事が取れず精神的にも身体的にも大変苦しい思いをした。そんな時に一時的でいいので救助してくれる救援者が設備(例えば食事やお風呂等の介助を手助けできるような所を紹介してくれる)、あるいは寝たきりにならないよう相談できる環境設備があればとても助けになると願います。
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者にとってバリアフリーの計画がまだまだ充実していない事を感じる。</li> <li>・村内には大型スーパーなど皆無であり、独居老人をはじめ交通機関の乏しい人達にとって不自由さは否めない。村内を巡回する移動バス等あれば購買意欲も高まり村の活性化にも繋がると思う。</li> </ul>
13	恩納村だけの利用できるバスみたいなものがあると良いかな。仕事するのも、買い物するのも不便です。路線バスの時間とか少なくて仕事に行くのも大変です。場所によってバス停も明かりが無い所が多くて困っています。
14	恩納村に住んでまだ3年余りですけど、福祉関係は、とてもしっかりしていると思います。
15	ありがとうございました。私は障害を持っていますが、何でも自由にできるし、普通の人同様何も困った事はありません。
16	今回のこのアンケートは年齢的に対象外だと思う。
17	定期的に草刈りをお願いします。
18	定期的に草刈りをお願いします。
19	早めに成年後見制度の説明を役場又社協の方から聞きたいです。

20	障害者就労支援センターを早く作ってほしいです。精神障害者の相談をする場所と聞いてくれる知識人を揃えてほしいです。施設からの切なる願いです。お願いします。
21	資源を増やせないのであれば、有る資源の質を少しでも上げていただいて、自分が障害者になった時に、まず取り組みやすい事から整備していく意識で施策に取り組んでもらえたら気持ちは救われると思うので、どうか頑張ってください。いつもご苦労様です。
22	仕事もできないので障害者年金を貰いたい。親に迷惑をかけたくない。兄弟にも迷惑したくない。
23	もっと仕事を貰えるように配慮してほしい。障害者に対して補助などしてほしい。又は村からの生活補助が欲しい。
24	自分はおよそ10年前から、他の市町村の施設に入居しているため、このアンケートに答える事ができない問があります。
25	今の所、障害者施策全般はマニュアル的指導方法で障害を克服する方法を重要視していない。大事な事は一人で何でもできるように日頃から食事ボディーケアの指導を徹底する事が重要だと思います。そういう人の育成が無いように見受けられます。身体は食事と日々の生活環境（ボディーケア）が大事だから、お家でできるよう指導のできるアドバイザーを育てる事をしてください。
26	視覚障害に対してのバリアフリーと食事の援助が欲しい。（老人の弁当割引き適応してほしい。）
27	村内での活動というより村外での活動に参加する事が多い。サービスの内容等や活動（地域）とかでも情報入手が厳しい。
28	障害者支援の給付金などがあればとても助かります。
29	交通費や病院のバスを出してほしい（精神科とか）。
30	いつもお仕事お勤めお疲れ様です。
31	私は、聾啞者で、脳梗塞で（身体障害のため）老人でもあり、アンケート調査に答えるのが難しいと思った。今後は若い人達の為にも暮らしやすい、恩納村であってほしいです。希望致します。
32	障害年金の手続きが難しいので、もう少し受けやすいように考えてほしいです。困っています。
33	自分は新しいグループホームが、もし恩納や山田、仲泊に出来たら、移転したいから、中々遠くって通うには、難しいけど、できれば、近い所が、店が早く行きたいけど、とても不便な所が、いいなと思っています。新しいホームが出来たら通勤するのが、難しいけど、でも近い方がいいかな、と自分は思っています。又は、読谷村の新しいグループホームが、もし大湾に出来たら、どちらか便利な近い、お店やコンビニなど、とてもいいかな、歩いて行ける。距離が、あるから、新しい大湾にグループホームが、もし完成して、出来たら早く移転したからです。
34	齢を取って病気が悪くなった時将来どうなっていくか不安。
35	福祉課の訪問をする方がいいと思う。
36	親族からの暴言、請求がある。村や県に相談したが一向に解消できず、それが私自身への威圧、恐怖となり病気を進行させている。
37	リゾートホテルだけが建っているので、福祉関係をもっと充実させてほしい。

38	充実しない調査をもっと丁寧に分かりやすく。
39	私は知的障害があって、現在恩納村に住んでいます。生まれつきの知的障害ではなくて、生活苦から親が真夏の暑い時でも背中におんぶして、空き瓶買って売って生計を立てていた事から熱射病でそういう風になったと聞いています。昭和 28 年頃の話で今みたいに医学も進んでいなくて、可愛く生まれた弟の事は今でも私には忘れる事ができません。不運過ぎる弟の人生をこれからは明るく、逞しく乗り越えていく決意です。体の不調で弟が仕事ができなくなって、困っている時に民生委員さんに相談して社会福祉協議会「かがやき」を紹介してもらいました。弟は喜んで毎日通っています。民生委員さんとの出会いで私は救われました。人の繋がり、人の温かさ、私は泣きました。ありがたかったです。だから一言書きました。
40	私の場合、現在は積極的に活動は何もしていませんが、在学中は、学校からの勧めで、スポーツ、その他の活動等、そして村（福祉課）からも、障害者スポーツ大会参加などへの後押しもあって、当時はたくさんの方々の協力の下、色々自分なりに良い経験をさせてもらったと今でも感謝しています。ですから、障害者施策全般については良い取り組みだと思えます。それらの事が必要な障害者にとっては、願ってもない、充実した福祉になるのではないのでしょうか。
41	合同説明会を早く受けたい。事業所で作業している、頑張りに見合った報酬を検討してほしい。
42	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風等で停電時、電動ベッドが稼働できず介護に大変困った。</li> <li>・避難時施設に入れる場合はいいが、公民館等の一般の場所だと、ベッドが無かったり、水が飲めず（トロミが必要）薬も飲めないのが困った。</li> </ul>
43	最低賃金を上げてほしい。
44	私は、30代から障害年金を貰っているのですが、自分が生きている内に、自分の稼いだお金で貰っていた金額のお金を、何かの形で返そうと考えています。50代になっていて、もう、自分の夢を叶える事もできそうにありません。この年になって自分の夢を諦められずに仕事を休んでいます。（家では毎日働けと言われていています）私達障害者が働いて税金を納める事も大切です。……でも自分が納得してもっと充実した人生を送る事はもっと大切ではないのでしょうか？
45	アンケート調査票の通り、共に暮らしやすい村づくりを作成してほしい。
46	病気による肢体不自由の障害者にとっては健康回復・維持には運動が良く、中でも水泳及び水中散歩が効果があるとの事です。恩納村にもそれができる施設があれば、身障者のみならず村民の健康促進に役立つと思います。
47	大変ありがたく思っております。
48	年をとり、車の運転ができなくなった時の、通院や買物の補助体制が必要。
49	施設入所支援を受けたい人が受けられず、待機状態の人が多いのではないのでしょうか。
50	5人いる家族は皆が病気持ちなので、相談できる人が欲しい。本人はうつ病で、長男(精神障害)、四男(脳梗塞)、五男(入院している)、次男は水難事故、三男は食中毒なのに風邪で診断して翌年亡くなった。亡くなった父はギャンブル依存症で銀行から借りた借金が原因で貧乏だった。ケンカが絶えず父はギャンブルできない事を理由に長男にDVを働き、小学5、6年で精神障害になってしまった。

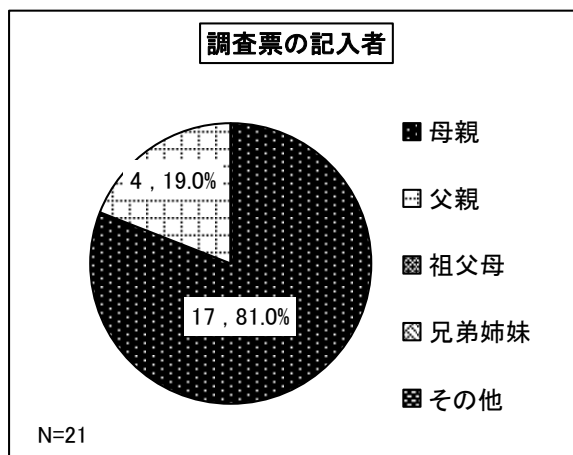


## Ⅱ. 障がい児アンケート調査結果

◎この調査票にご記入いただくのはどなたですか。（1つだけ○）

調査票の記入者を見ると、「母親」が81.0%で最も多く、次いで「父親」の19.0%となっています。

なお、「祖父母」及び「兄弟姉妹」、「その他」との回答はありません。

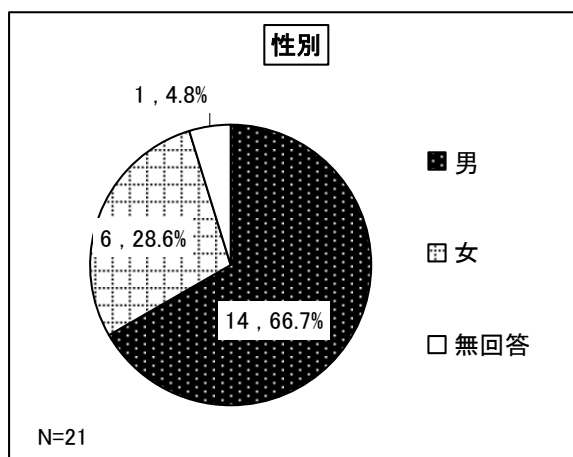


### 1. お子さんについて

問1 お子さんの性別、年齢（令和2年4月1日現在の満年齢）を教えてください。

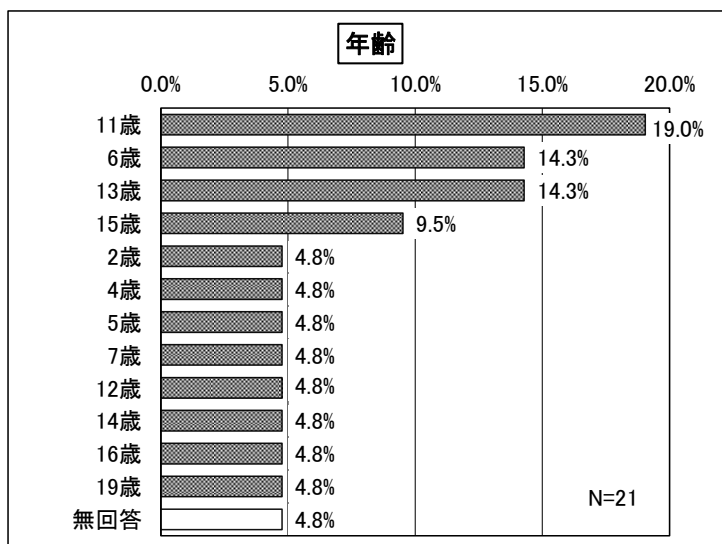
#### ①性別

性別をみると、「男」が66.7%で最も多く、次いで「女」の28.6%となっています。



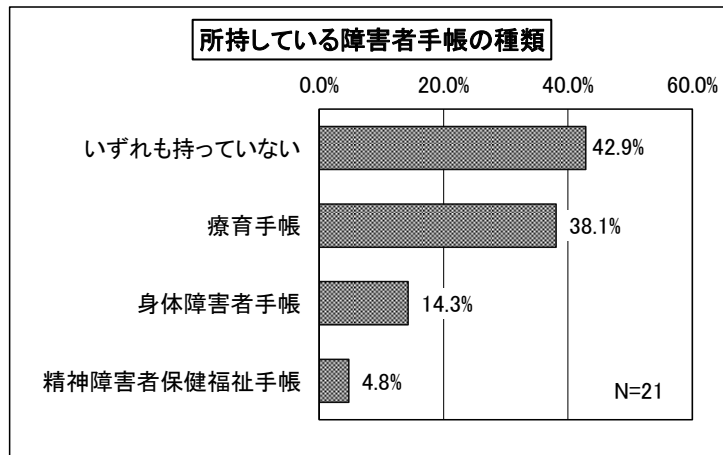
#### ②年齢

年齢をみると、「11歳」が19.0%で最も多く、次いで「6歳」及び「13歳」が同率の14.3%、「15歳」の9.5%、「2歳」及び「4歳」、「5歳」、「7歳」、「12歳」、「14歳」、「16歳」、「19歳」が同率の4.8%となっています。



問2 お子さんの持っている障害者手帳の種類は何ですか。(あてはまるものすべてに○) また、手帳に記載されている障がいの等級(程度)について、あてはまるものを○で囲んでください。

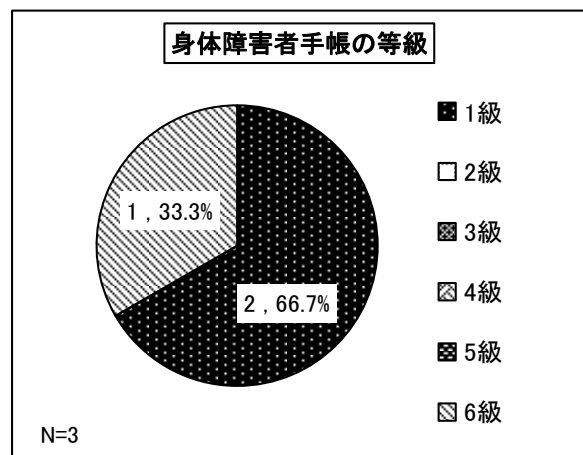
所持している障害者手帳の種類をみると、「いずれも持っていない」が42.9%で最も多く、次いで「療育手帳」の38.1%、「身体障害者手帳」の14.3%、「精神障害者保健福祉手帳」の4.8%となっています。



### ①身体障害者手帳の等級

身体障害者手帳の等級をみると、「1級」が66.7%で最も多く、次いで「6級」の33.3%となっています。

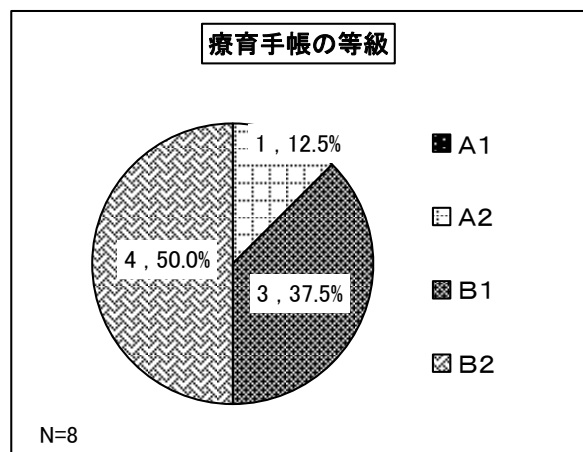
なお、「2級」及び「3級」、「4級」、「5級」との回答はありません。



### ②療育手帳の等級

療育手帳の等級をみると、「B2」が50.0%で最も多く、次いで「B1」の37.5%、「A2」の12.5%となっています。

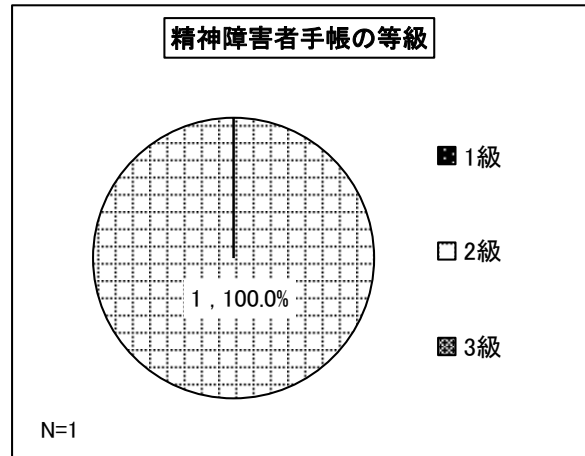
なお、「A1」との回答はありません。



③精神障害者手帳の等級

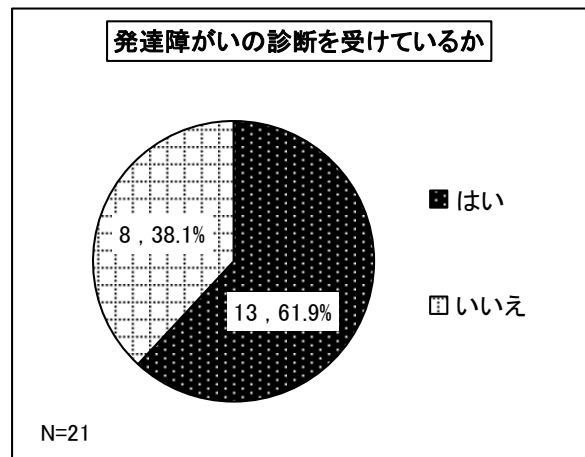
精神障害者手帳の等級をみると、「2級」が100.0%となっています。

なお、「1級」及び「3級」との回答はありません。



問3 お子さんは、発達障がいの診断を受けていますか。(1つだけ○)

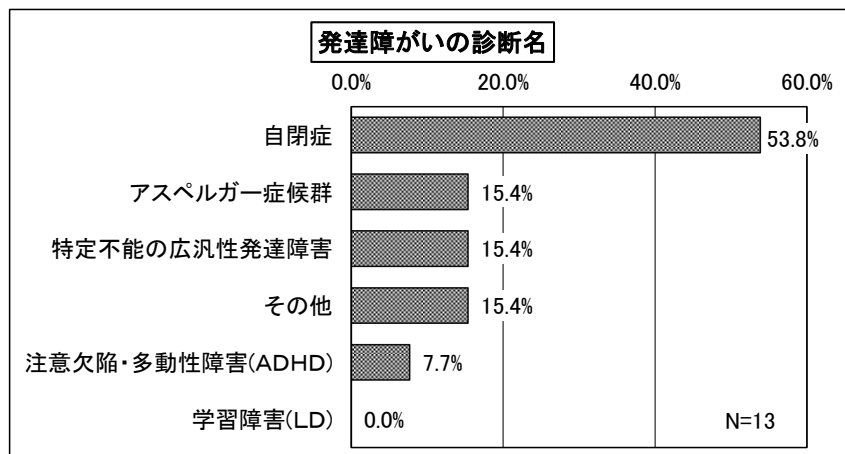
発達障がいの診断を受けているかをみると、「はい」が61.9%で最も多く、次いで「いいえ」の38.1%となっています。



問4 診断名を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

発達障がいの診断名の第1位は「自閉症」の53.8%、第2位は「アスペルガー症候群」及び「特定不能の広汎性発達障害」、「その他」が同率の15.4%、第5位は「注意欠陥・多動性障害(ADHD)」の7.7%となっています。

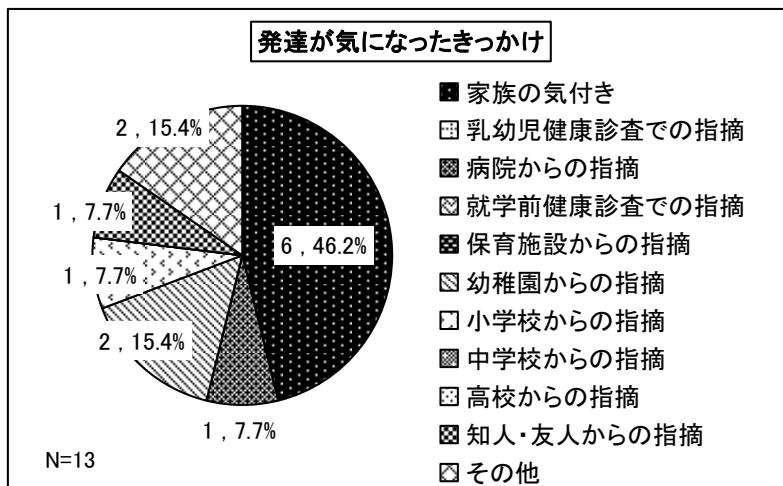
なお、「学習障害(LD)」との回答はありません。



問5 お子さんの発達が気になったきっかけは何ですか。（1つだけ○）

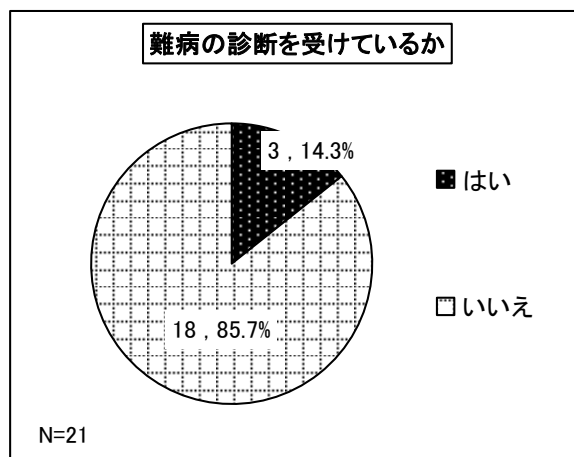
発達が気になったきっかけをみると、「家族の気付き」が46.2%で最も多く、次いで「幼稚園からの指摘」及び「その他」が同率の15.4%、「病院からの指摘」及び「小学校からの指摘」、「知人・友人からの指摘」が同率の7.7%となっています。

なお、「乳幼児健康診査での指摘」及び「就学前健康診査での指摘」、「保育施設からの指摘」、「中学校からの指摘」、「高校からの指摘」との回答はありません。



問6 お子さんは、難病の診断を受けていますか。（1つだけ○）

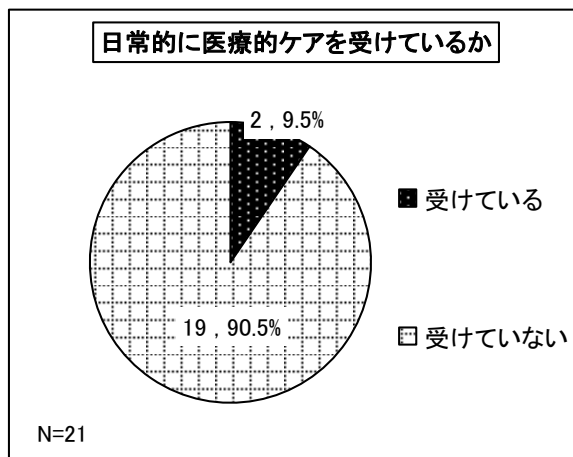
難病の診断を受けているかをみると、「いいえ」が85.7%で最も多く、次いで「はい」の14.3%となっています。





問7 お子さんは、日常的に医療的ケアを受けていますか。（1つだけ○）

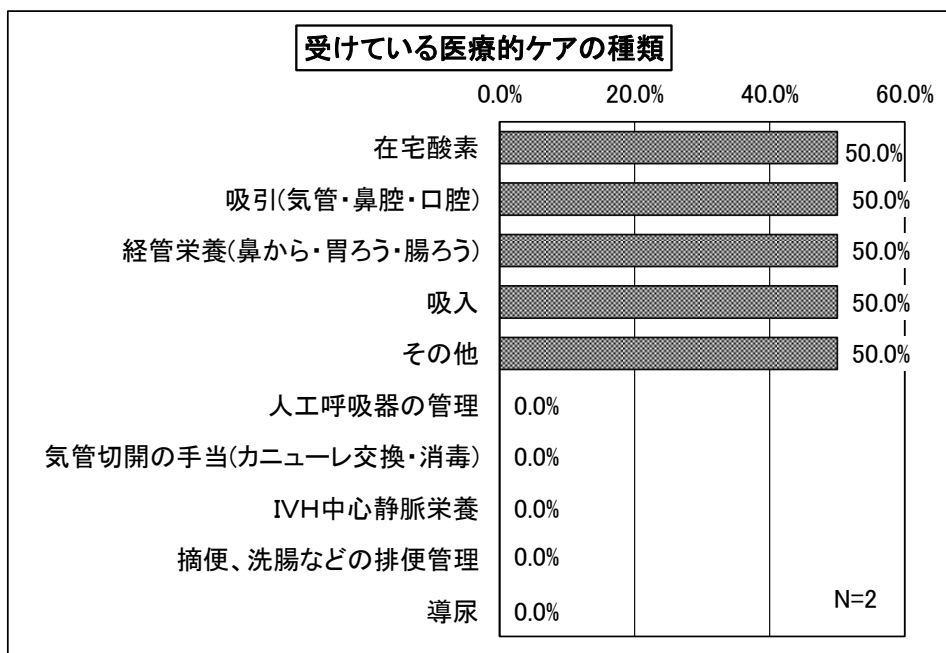
日常的に医療的ケアを受けているかをみると、「受けていない」が90.5%で最も多く、次いで「受けている」の9.5%となっています。



問8 どのような医療的ケアを受けていますか。（あてはまるものすべてに○）

受けている医療的ケアの種類をみると、「在宅酸素」及び「吸引(気管・鼻腔・口腔)」、「経管栄養(鼻から・胃ろう・腸ろう)」、「吸入」、「その他」が同率の50.0%となっています。

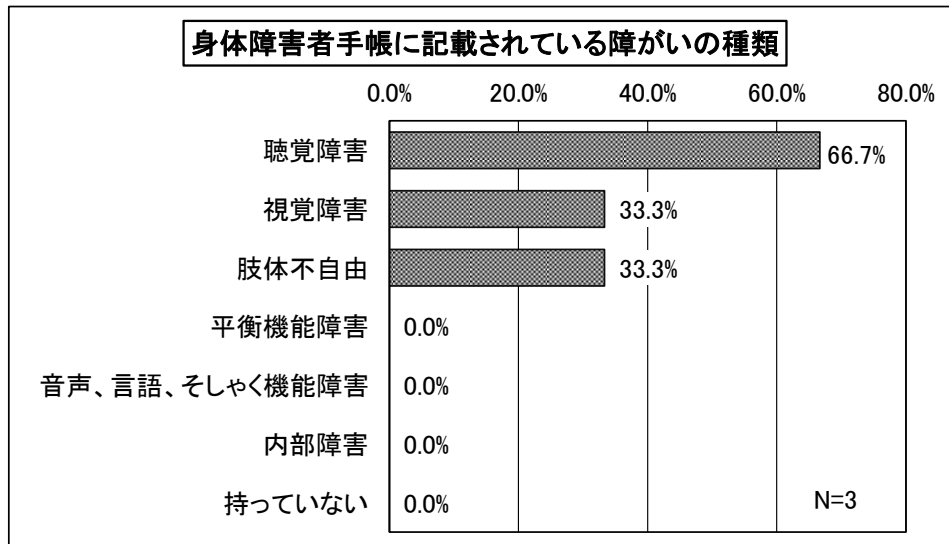
なお、「人工呼吸器の管理」及び「気管切開の手当(カニューレ交換・消毒)」、「IVH中心静脈栄養」、「摘便、洗腸などの排便管理」、「導尿」との回答はありません。



問9 身体障害者手帳に記載されている障がいの種類は次のどれですか。（あてはまるものすべてに○）

身体障害者手帳に記載されている障がいの種類の第1位は「聴覚障害」の66.7%、第2位は「視覚障害」及び「肢体不自由」が同率の33.3%となっています。

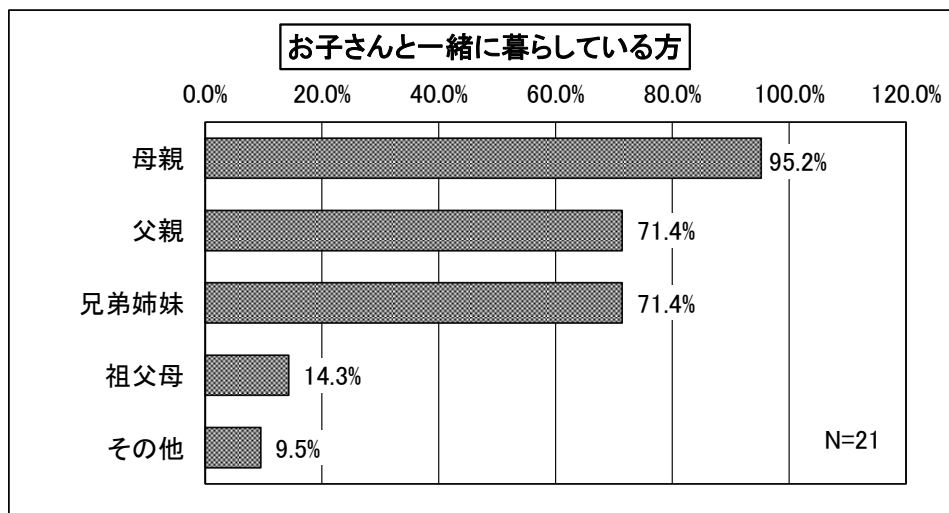
なお、「平衡機能障害」及び「音声、言語、そしゃく機能障害」、「内部障害」、「持っていない」との回答はありません。



2. ご家族や介助者について

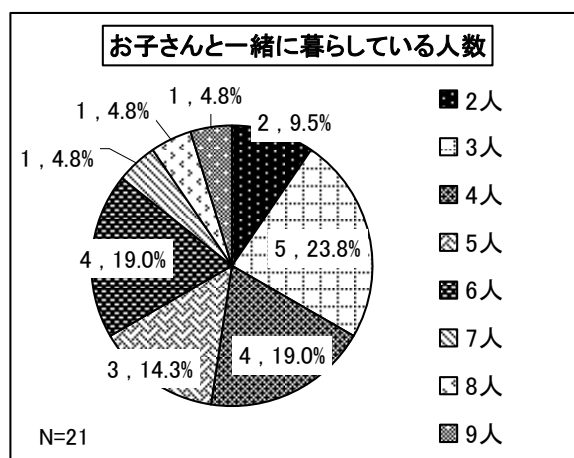
問 10 お子さんと一緒に暮らしているのはどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

お子さんと一緒に暮らしている方の第 1 位は「母親」の 95.2%、第 2 位は「父親」及び「兄弟姉妹」が同率の 71.4%、第 4 位は「祖父母」の 14.3%、第 5 位は「その他」の 9.5%となっています。



問 11 一緒に暮らしているのは全員で何人ですか。

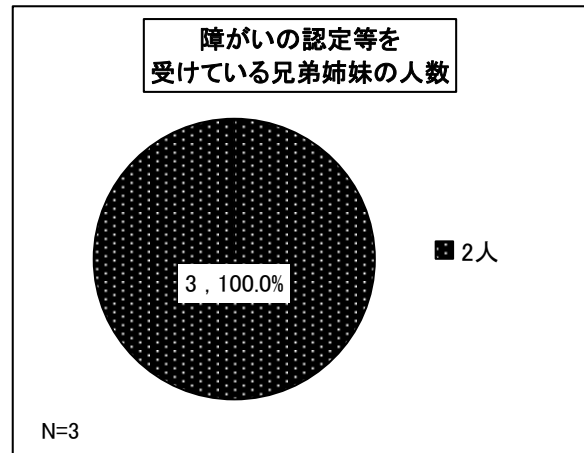
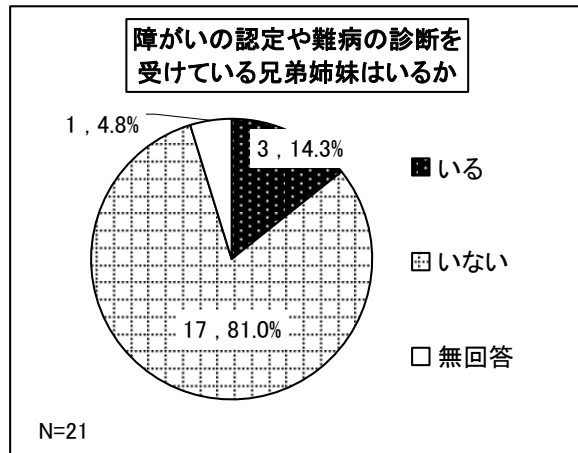
お子さんと一緒に暮らしている人数をみると、「3人」が 23.8%で最も多く、次いで「4人」及び「6人」が同率の 19.0%、「5人」の 14.3%、「2人」の 9.5%等となっています。



問 12 障がいの認定や難病の診断を受けている兄弟姉妹はいますか。（1つだけ○）また、「いる」を選んだ場合は、認定等を受けている兄弟姉妹（宛名のお子さんを含む）の人数を（ ）に記入してください。

障がいの認定や難病の診断を受けている兄弟姉妹はいるかをみると、「いない」が81.0%で最も多く、次いで「いる」の14.3%となっています。

また、認定等を受けている兄弟姉妹の人数は、「2人」との回答が100.0%となっています。

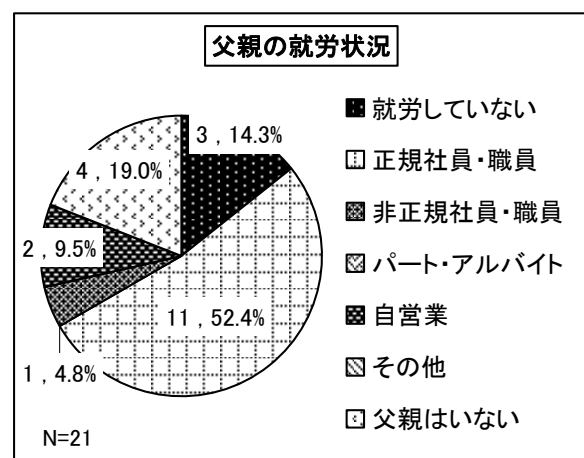


問 13 お子さんの父親と母親の就労状況を教えてください。（父親、母親それぞれ1つだけ○）父親または母親がいない場合は「父親・母親はいない」を選んでください。

#### ①父親の就労状況

父親の就労状況をみると、「正規社員・職員」が52.4%で最も多く、次いで「父親はいない」の19.0%、「就労していない」の14.3%、「自営業」の9.5%、「非正規社員・職員」の4.8%等となっています。

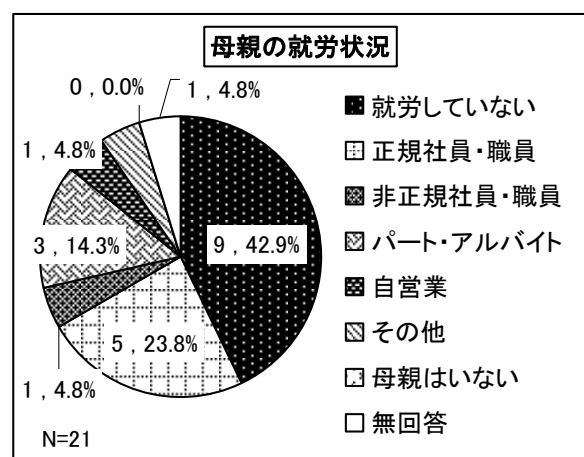
なお、「パート・アルバイト」及び「その他」との回答はありません。



#### ②母親の就労状況

母親の就労状況をみると、「就労していない」が42.9%で最も多く、次いで「正規社員・職員」の23.8%、「パート・アルバイト」の14.3%、「非正規社員・職員」及び「自営業」、「その他」が同率の4.8%等となっています。

なお、「母親はいない」との回答はありません。

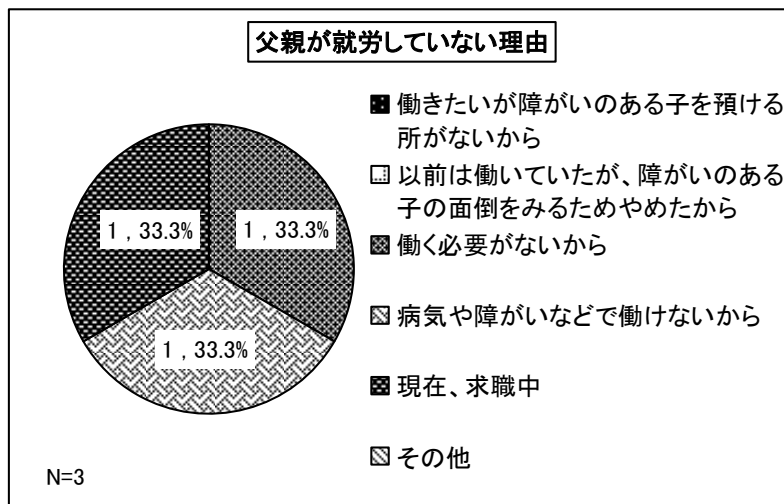


問 14 「就労していない」と答えた父親または母親にお伺いします。就労していないのはどうしてですか。（父親、母親それぞれ1つだけ〇）

①父親が就労していない理由

父親が就労していない理由をみると、「働く必要がないから」及び「病気や障がいなどで働けないから」、「現在、求職中」が同率の 33.3%となっています。

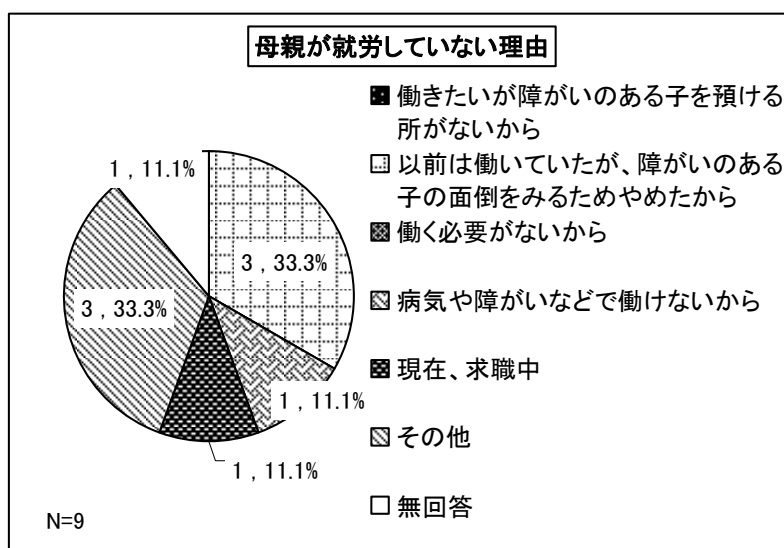
なお、「働きたいが障がいのある子を預ける所がないから」及び「以前は働いていたが、障がいのある子の面倒をみるためやめたから」、「その他」との回答はありません。



②母親が就労していない理由

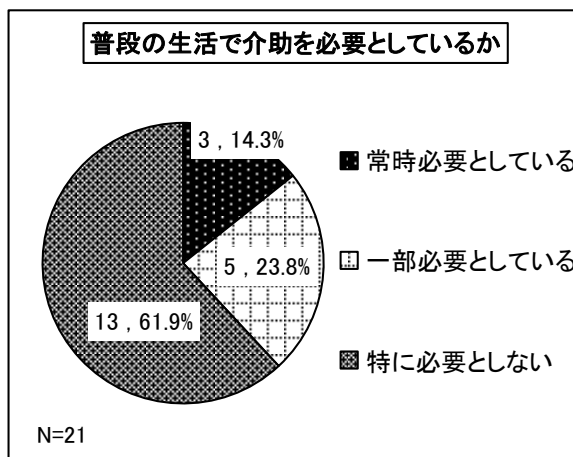
母親が就労していない理由をみると、「以前は働いていたが、障がいのある子の面倒をみるためやめたから」及び「その他」が同率の 33.3%で最も多く、次いで「病気や障がいなどで働けないから」及び「現在、求職中」が同率の 11.1%となっています。

なお、「働きたいが障がいのある子を預ける所がないから」及び「働く必要がないから」との回答はありません。



問 15 お子さんは、普段の生活で介助を必要としていますか。（1つだけ○）

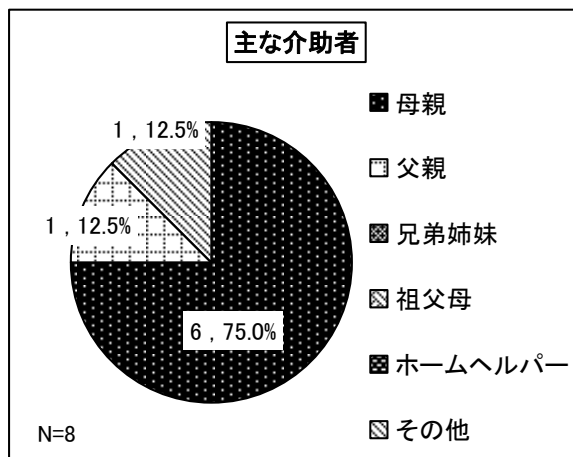
普段の生活で介助を必要としているかをみると、「特に必要としない」が61.9%で最も多く、次いで「一部必要としている」の23.8%、「常時必要としている」の14.3%となっています。



問 16 お子さんの介助者の中で、主な介助者はどなたですか。（1つだけ○）

主な介助者をみると、「母親」が75.0%で最も多く、次いで「父親」及び「その他」が同率の12.5%となっています。

なお、「兄弟姉妹」及び「祖父母」、「ホームヘルパー」との回答はありません。

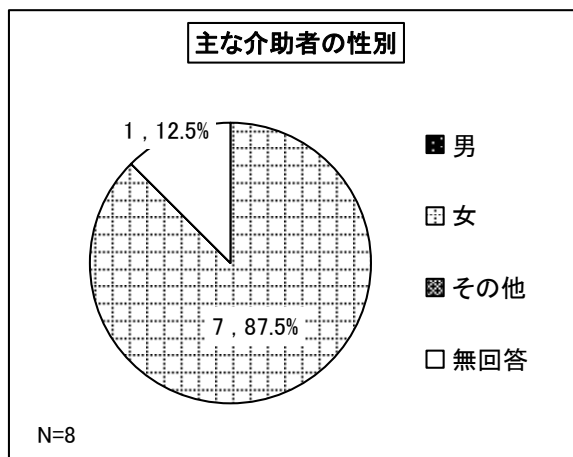


問 17 主な介助者の性別と年齢を教えてください。（年齢は令和2年1月1日現在）（性別、年齢のそれぞれ1つに○）

①主な介助者の性別

主な介助者の性別をみると、「女」が87.5%となっています。

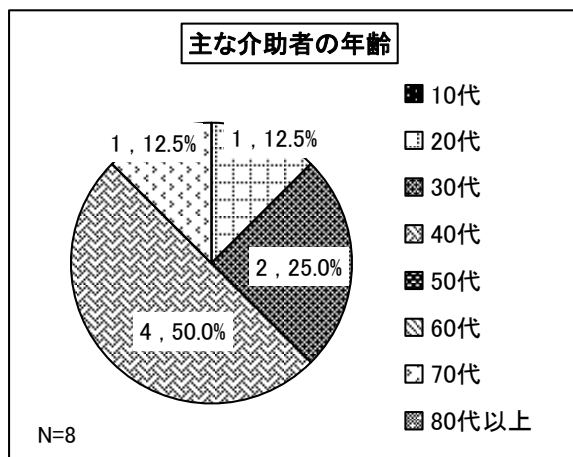
なお、「男」及び「その他」との回答はありません。



②主な介助者の年齢

主な介助者の年齢をみると、「40代」が50.0%で最も多く、次いで「30代」の25.0%、「20代」及び「70代」が同率の12.5%となっています。

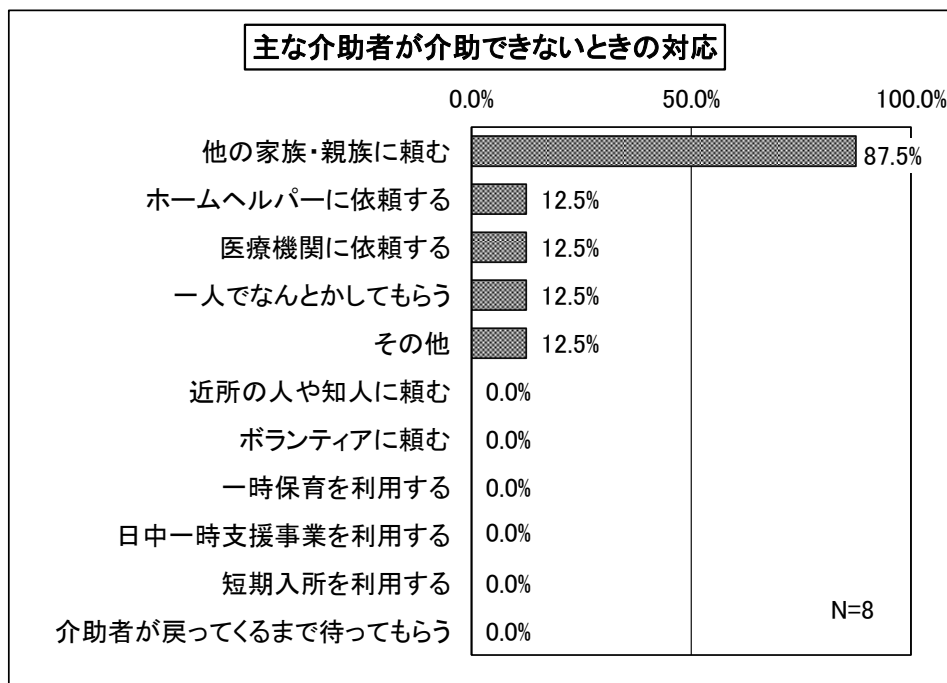
なお、「10代」及び「50代」、「60代」、「80代以上」との回答はありません。



問 18 主な介助者が病気や用事などで介助できないとき、お子さんの介助はどうしていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

主な介助者が介助できないときの対応の第1位は「他の家族・親族に頼む」の87.5%、第2位は「ホームヘルパーに依頼する」及び「医療機関に依頼する」、「一人でなんとかしてもらう」、「その他」が同率の12.5%等となっています。

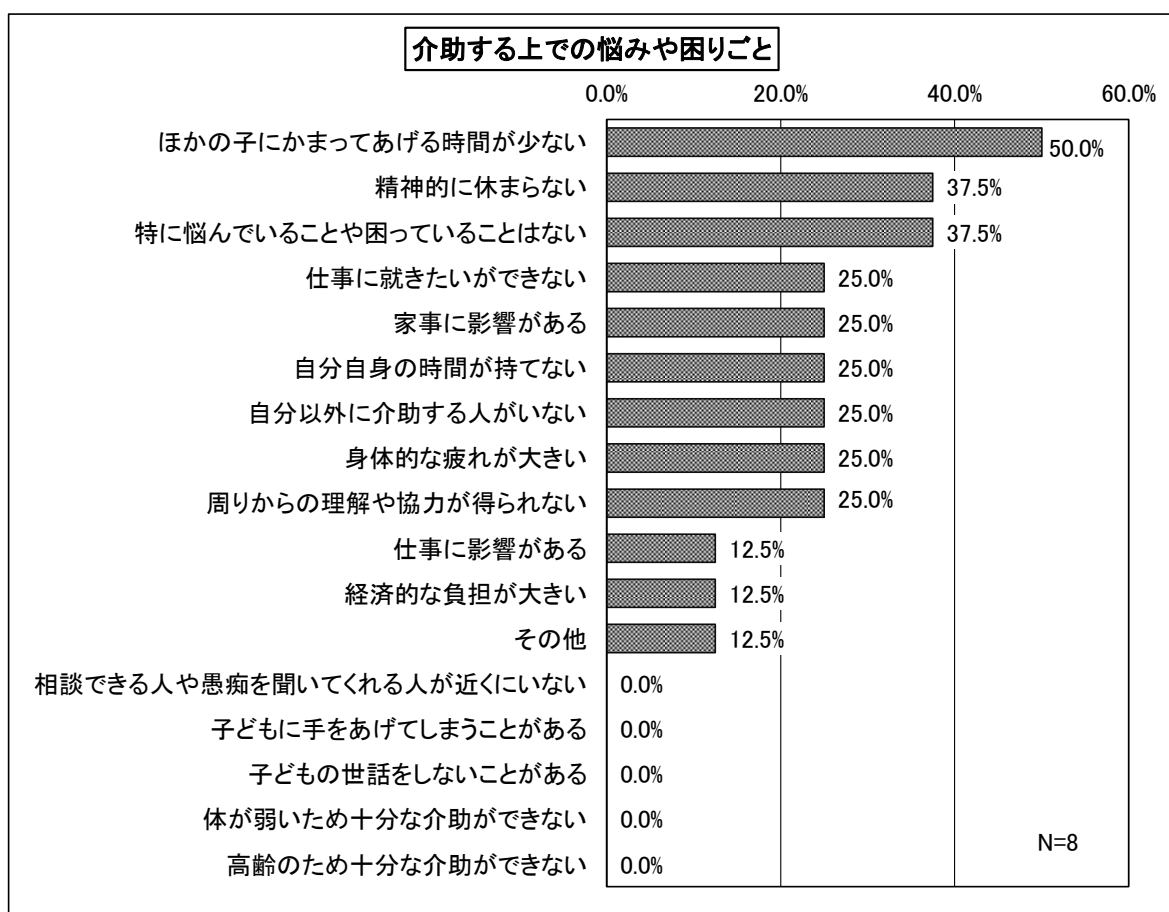
なお、「近所の人や知人に頼む」及び「ボランティアに頼む」、「一時保育を利用する」、「日中一時支援事業を利用する」、「短期入所を利用する」、「介助者が戻ってくるまで待ってもらう」との回答はありません。



問 19 主な介助者がお子さんを介助する上で悩んでいることや困っていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

介助する上での悩みや困りごとの第 1 位は「ほかの子にかまってあげる時間が少ない」の 50.0%、第 2 位は「精神的に休まらない」及び「特に悩んでいることや困っていることはない」が同率の 37.5%、第 4 位は「仕事に就きたいができない」及び「家事に影響がある」、「自分自身の時間が持てない」、「自分以外に介助する人がいない」、「身体的な疲れが大きい」、「周りからの理解や協力が得られない」が同率の 25.0%等となっています。

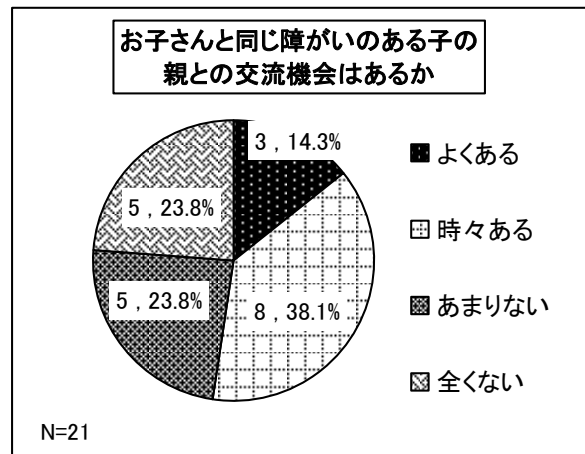
なお、「相談できる人や愚痴を聞いてくれる人が近くにいない」及び「子どもに手をあげてしまうことがある」、「子どもの世話をしないことがある」、「体が弱いため十分な介助ができない」、「高齢のため十分な介助ができない」との回答はありません。





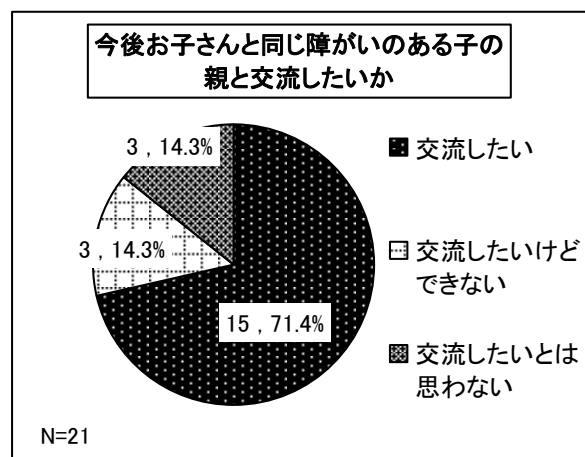
問 20 あなたは、お子さんと同じ障がいのある子の親と交流する機会がありますか。（1つだけ○）

お子さんと同じ障がいのある子の親との交流機会はあるかをみると、「時々ある」が38.1%で最も多く、次いで「あまりない」及び「全くない」が同率の23.8%、「よくある」の14.3%となっています。



問 21 あなたは、今後（今後とも）お子さんと同じ障がいのある子の親と交流したいですか。（1つだけ○）

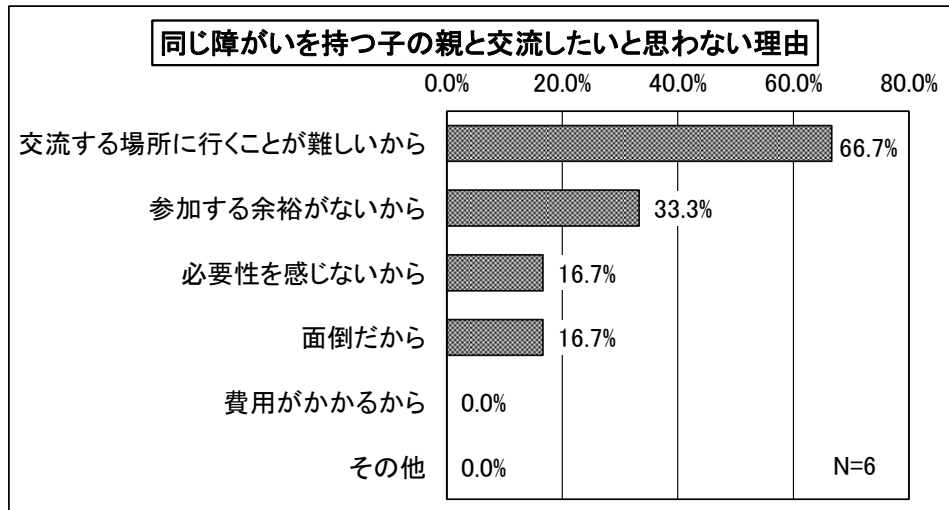
今後お子さんと同じ障がいのある子の親と交流したいかをみると、「交流したい」が71.4%で最も多く、次いで「交流したいけどできない」及び「交流したいとは思わない」が同率の14.3%となっています。



問 22 「交流したいけどできない」、「交流したいとは思わない」のは、どうしてですか。（あてはまるものすべてに○）

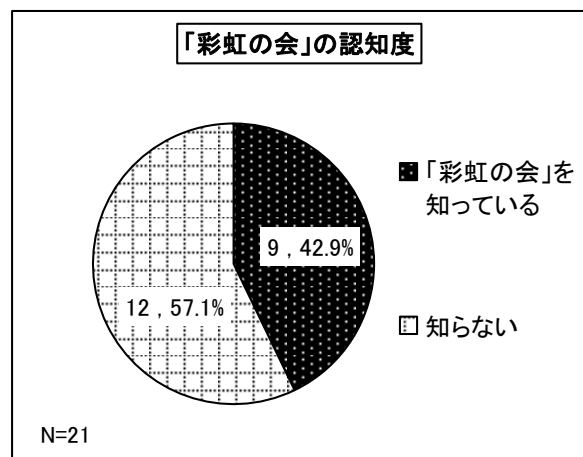
同じ障がいを持つ子の親と交流したいと思わない理由の第 1 位は「交流する場所に行くことが難しいから」の 66.7%、第 2 位は「参加する余裕がないから」の 33.3%、第 3 位は「必要性を感じないから」及び「面倒だから」が同率の 16.7%となっています。

なお、「費用がかかるから」及び「その他」との回答はありません。



問 23 あなたは、「彩虹の会」といった親の会の団体があるのを知っていますか。

「彩虹の会」の認知度をみると、「知らない」が 57.1%で最も多く、次いで「「彩虹の会」を知っている」の 42.9%となっています。

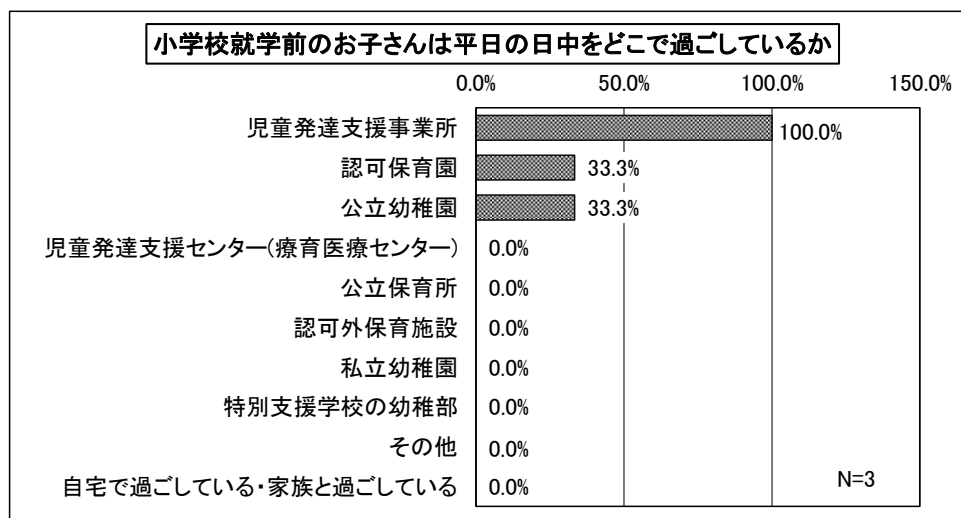


### 3. 保育・療育・教育について

問 24 お子さんは、平日の日中をどこで過ごしていますか。（あてはまるものすべてに○）

小学校就学前のお子さんは平日の日中をどこで過ごしているかの第 1 位は「児童発達支援事業所」の 100.0%、第 2 位は「認可保育園」及び「公立幼稚園」が同率の 33.3%となっています。

なお、「児童発達支援センター(療育医療センター)」、及び「公立保育所」、「認可外保育施設」、「私立幼稚園」、「特別支援学校の幼稚部」、「その他」、「自宅で過ごしている・家族と過ごしている」との回答はありません。



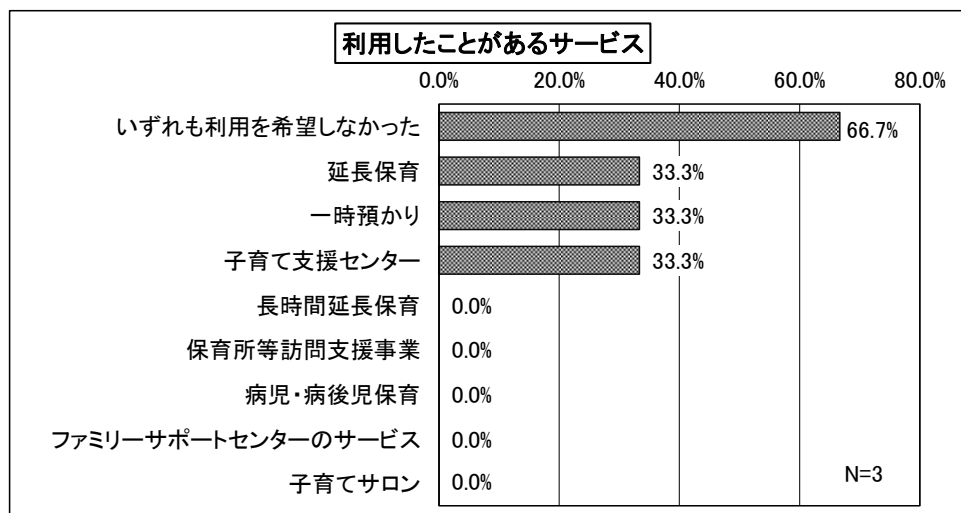
問 25 自宅や家族と過ごしているのはどうしてですか。（あてはまるものすべてに○）（※「1.」を選択した方は、自宅のみであげたいのはお子さんが何歳までか、年齢も記入して下さい。）

自宅や家族と過ごしている理由についての回答は無かった為、算出はしていません。

問 26 お子さんは、次のサービスを利用したことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

利用したことがあるサービスの第 1 位は「いずれも利用を希望しなかった」の 66.7%、第 2 位は「延長保育」及び「一時預かり」、「子育て支援センター」が同率の 33.3%となっています。

なお、「長時間延長保育」及び「保育所等訪問支援事業」、「病児・病後児保育」、「ファミリーサポートセンターのサービス」、「子育てサロン」との回答はありません。



問 27 次のサービスのうち、お子さんの障がいにより、利用を希望したが利用できなかったサービスがありますか。（あてはまるものすべてに○）

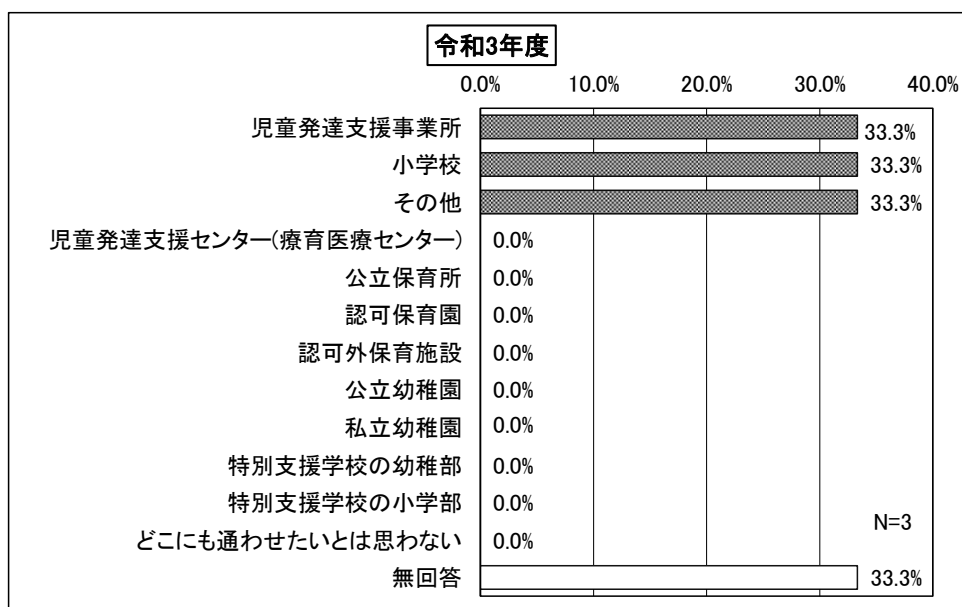
障がいを理由に利用できなかったサービスがあるかについての回答は無かった為、算出はしてありません。

問 28 あなたは、来年度からの3年間、平日の日中お子さんをどこに通わせたいですか。各年度ごとに、右の表から希望する施設等の番号を、左の表に記入してください。（年度ごとにそれぞれ1つだけ記入）

①令和3年度

令和3年度、平日の日中お子さんをどこに通わせたいかの第1位は「児童発達支援事業所」及び「小学校」、「その他」が同率の33.3%となっています。

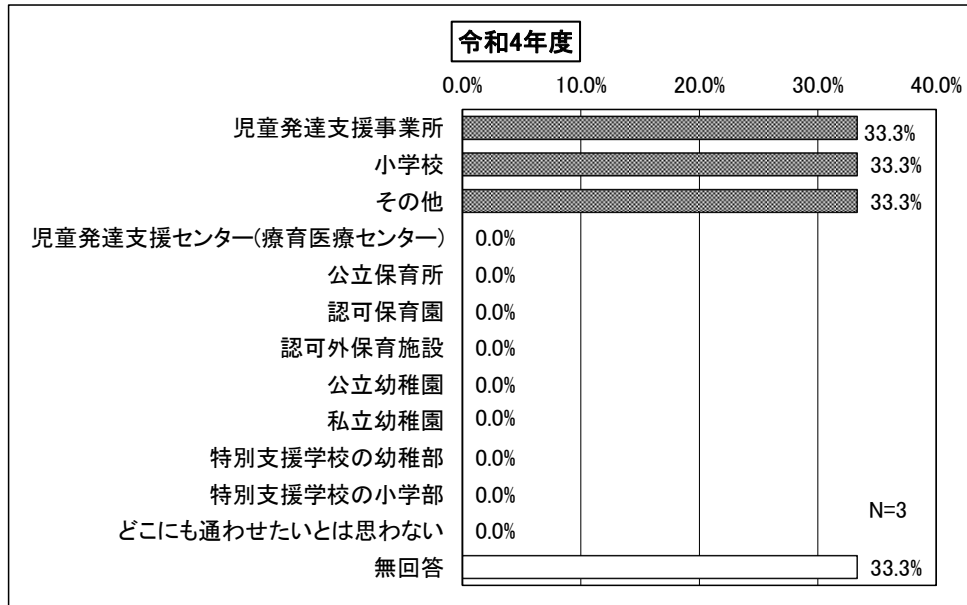
なお、「児童発達支援センター(療育医療センター)」、「公立保育所」、「認可保育園」、「認可外保育施設」、「公立幼稚園」、「私立幼稚園」、「特別支援学校の幼稚部」、「特別支援学校の小学部」、「どこにも通わせたいとは思わない」との回答はありません。



②令和4年度

令和4年度、平日の日中お子さんをどこに通わせたいかの第1位は「児童発達支援事業所」及び「小学校」、「その他」が同率の33.3%となっています。

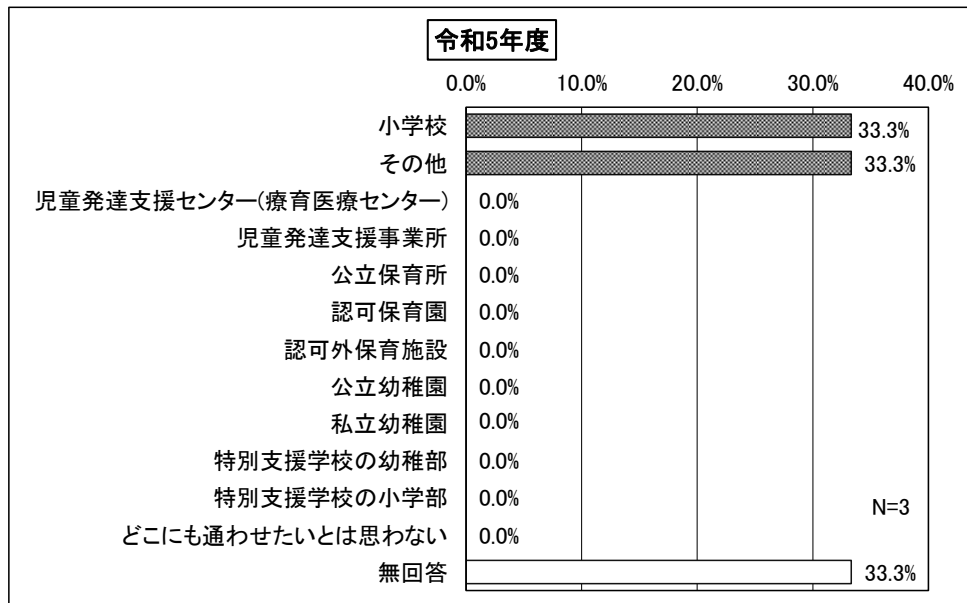
なお、「児童発達支援センター(療育医療センター)」、「公立保育所」、「認可保育園」、「認可外保育施設」、「公立幼稚園」、「私立幼稚園」、「特別支援学校の幼稚部」、「特別支援学校の小学部」、「どこにも通わせたいとは思わない」との回答はありません。



③令和5年度

令和5年度、平日の日中お子さんをどこに通わせたいかをみると、「小学校」及び「その他」が同率の33.3%となっています。

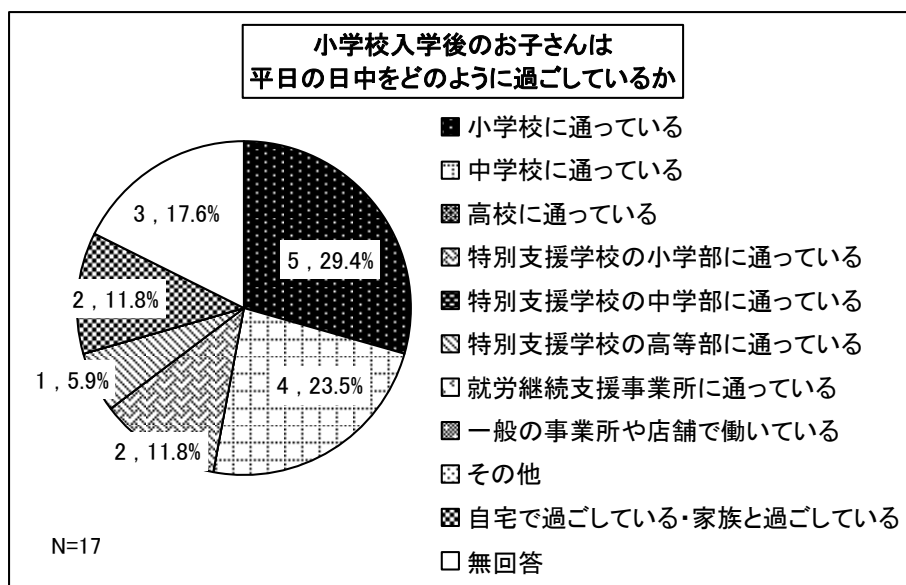
なお、「児童発達支援センター(療育医療センター)」、「児童発達支援事業所」、「公立保育所」、「認可保育園」、「認可外保育施設」、「公立幼稚園」、「私立幼稚園」、「特別支援学校の幼稚部」、「特別支援学校の小学部」、「どこにも通わせたいとは思わない」との回答はありません。



問 29 お子さんは、平日の日中をどのように過ごしていますか。（1つだけ〇）

小学校入学後のお子さんは平日の日中をどのように過ごしているかをみると、「小学校に通っている」が29.4%で最も多く、次いで「中学校に通っている」の23.5%、「特別支援学校の小学部に通っている」及び「自宅で過ごしている・家族と過ごしている」が同率の11.8%、「特別支援学校の高等部に通っている」の5.9%等となっています。

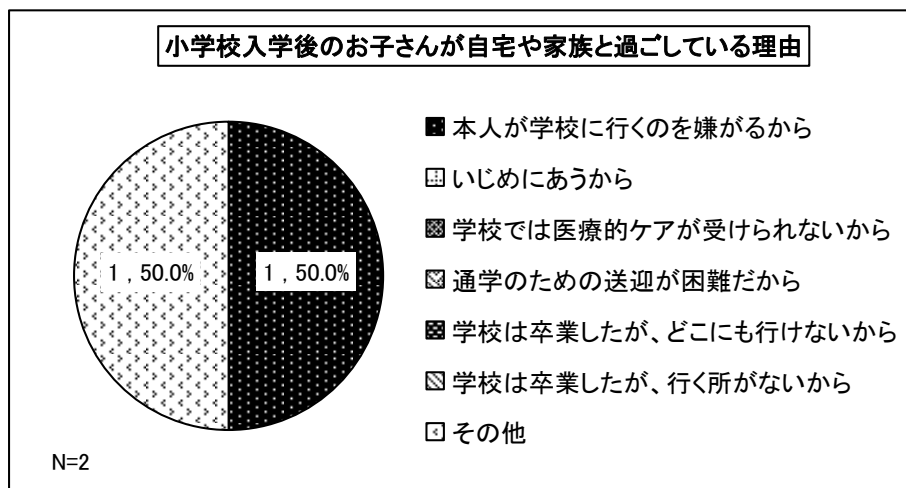
なお、「高校に通っている」及び「特別支援学校の中学部に通っている」、「就労継続支援事業所に通っている」、「一般の事業所や店舗で働いている」、「その他」との回答はありません。



問 30 自宅や家族と過ごしているのはどうしてですか。（1つだけ〇）

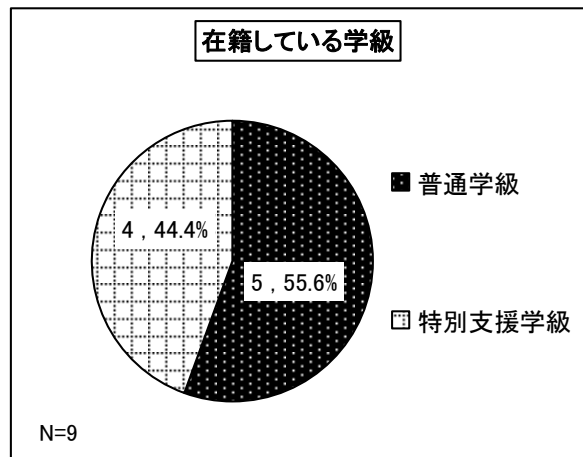
小学校入学後のお子さんが自宅や家族と過ごしている理由をみると、「本人が学校に行くのを嫌がるから」及び「その他」が同率の50.0%となっています。

なお、「いじめにあうから」及び「学校では医療的ケアが受けられないから」、「通学のための送迎が困難だから」、「学校は卒業したが、どこにも行けないから」、「学校は卒業したが、行く所がないから」との回答はありません。



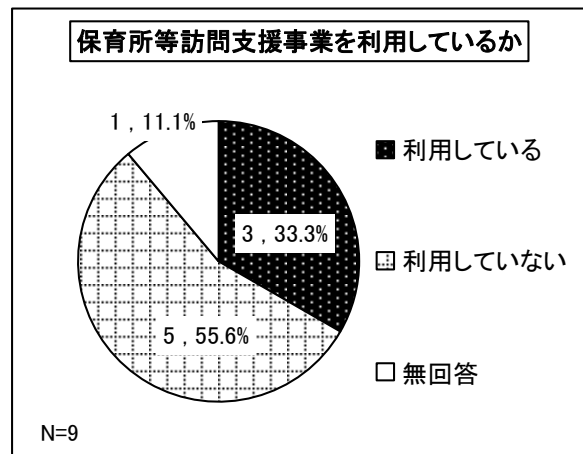
問 31 学校ではどの学級に在籍していますか。(1つだけ○)

在籍している学級をみると、「普通学級」が55.6%で最も多く、次いで「特別支援学級」の44.4%となっています。



問 32 お子さんは、保育所等訪問支援事業を利用していますか。(1つだけ○)

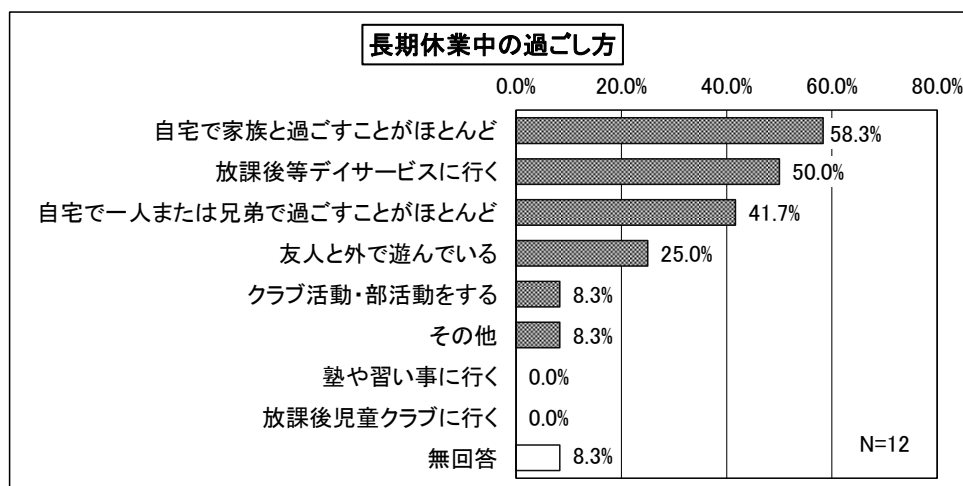
保育所等訪問支援事業を利用しているかをみると、「利用していない」が55.6%で最も多く、次いで「利用している」の33.3%となっています。



問 33 お子さんは、放課後や夏休みなどの長期休業中はどのように過ごしていますか。（あてはまるものすべてに○）

長期休業中の過ごし方の第 1 位は「自宅で家族と過ごすことがほとんど」の 58.3%、第 2 位は「放課後等デイサービスに行く」の 50.0%、第 3 位は「自宅で一人または兄弟で過ごすことがほとんど」の 41.7%、第 4 位は「友人と外で遊んでいる」の 25.0%、第 5 位は「クラブ活動・部活動をする」及び「その他」が同率の 8.3%となっています。

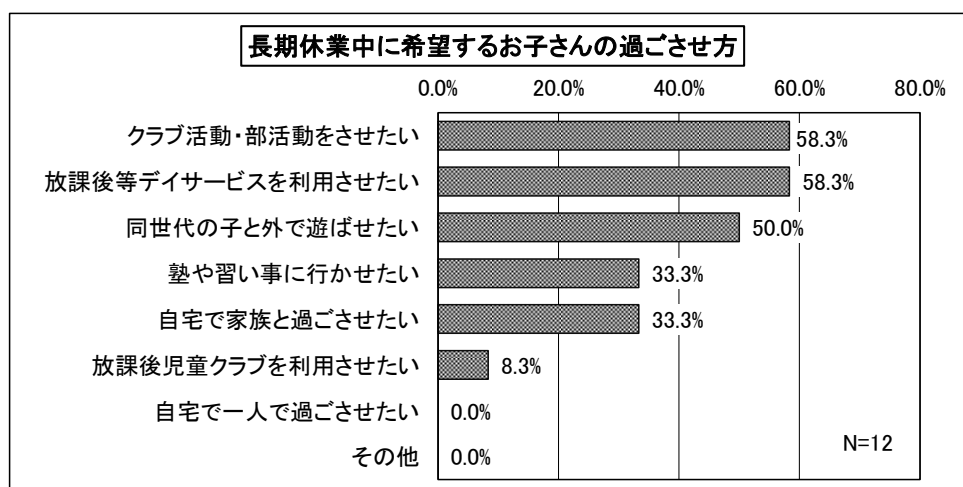
なお、「塾や習い事に行く」及び「放課後児童クラブに行く」との回答はありません。



問 34 あなたは、放課後や夏休みなどの長期休業中、お子さんをどのように過ごさせたいと思いますか。（最大 4 つまで○）

長期休業中に希望するお子さんの過ごさせ方の第 1 位は「クラブ活動・部活動をさせたい」及び「放課後等デイサービスを利用させたい」が同率の 58.3%、第 3 位は「同世代の子と外で遊ばせたい」の 50.0%、第 4 位は「塾や習い事に行かせたい」及び「自宅で家族と過ごさせたい」が同率の 33.3%等となっています。

なお、「自宅で一人で過ごさせたい」及び「その他」との回答はありません。

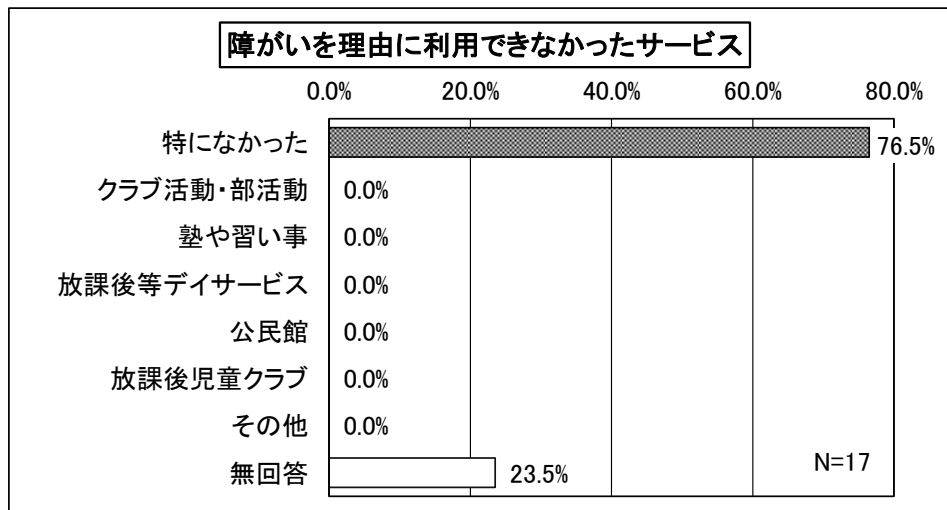




問 35 次の活動等について、利用を希望したが、お子さんの障がいに対応できないことを理由に、利用できなかったことがありましたか。（あてはまるものすべてに○）

障がいを理由に利用できなかったサービスをみると、「特になかった」が76.5%となっています。

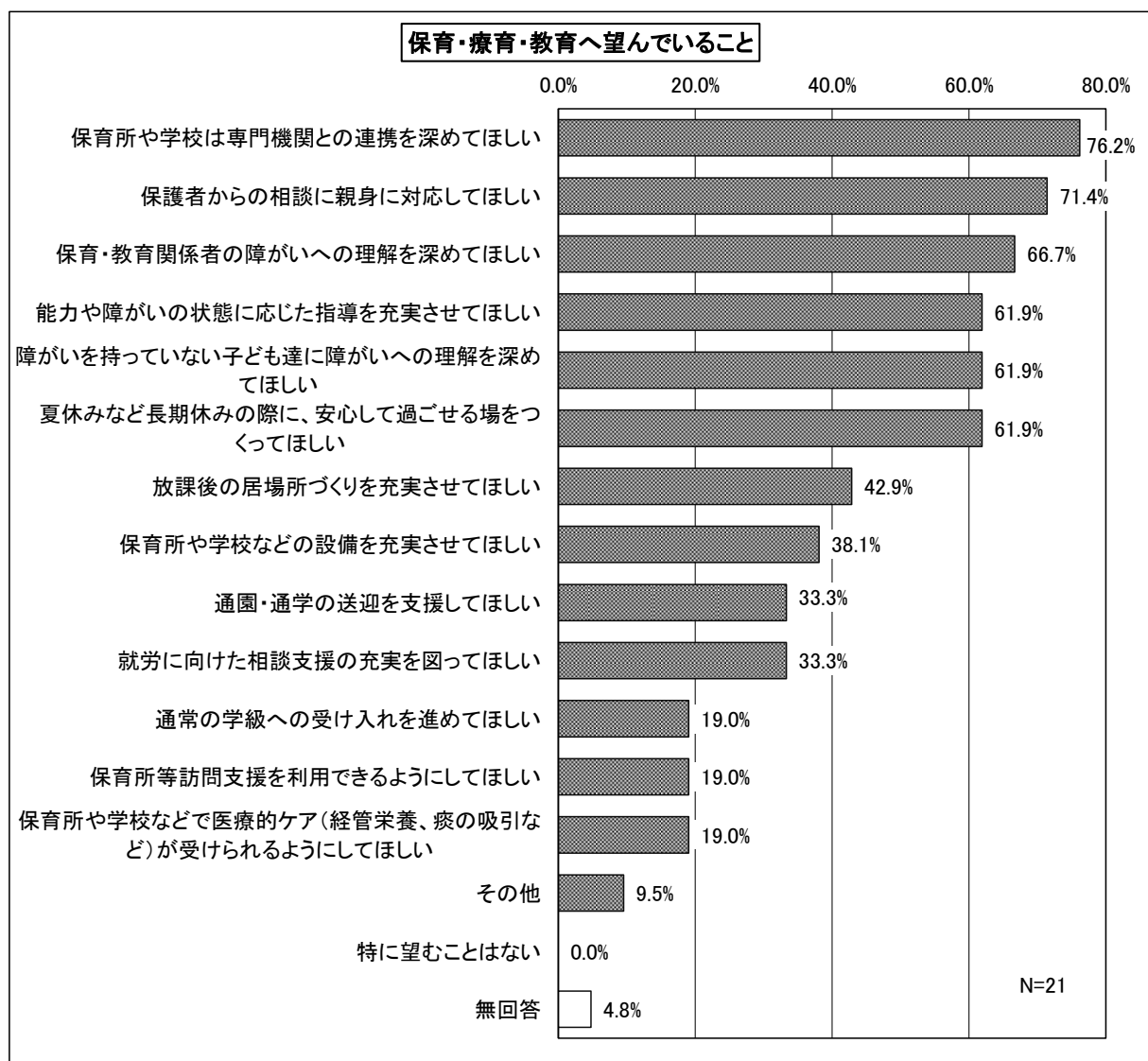
なお、「クラブ活動・部活動」及び「塾や習い事」、「放課後等デイサービス」、「公民館」、「放課後児童クラブ」、「その他」との回答はありません。



問 36 あなたは、保育・療育・教育について、どのようなことを望んでいますか。（あてはまるものすべてに○）

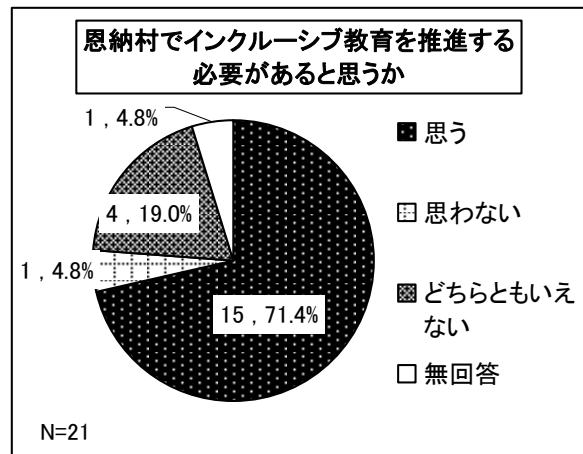
保育・療育・教育へ望んでいることの第 1 位は「保育所や学校は専門機関との連携を深めてほしい」の 76.2%、第 2 位は「保護者からの相談に親身に対応してほしい」の 71.4%、第 3 位は「保育・教育関係者の障がいへの理解を深めてほしい」の 66.7%、第 4 位は「能力や障がいの状態に応じた指導を充実させてほしい」及び「障がいを持っていない子ども達に障がいへの理解を深めてほしい」、「夏休みなど長期休みの際に、安心して過ごせる場をつくってほしい」が同率の 61.9%等となっています。

なお、「特に望むことはない」との回答はありません。



問 37 あなたは、恩納村でインクルーシブ教育を推進する必要があると思いますか。（1つだけ○）

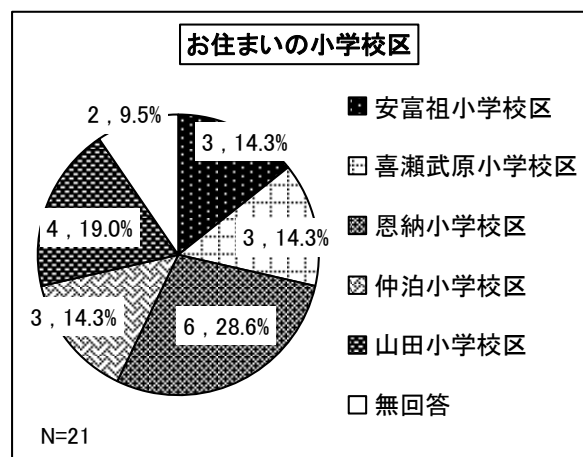
恩納村でインクルーシブ教育を推進する必要があると思うかをみると、「思う」が71.4%で最も多く、次いで「どちらともいえない」の19.0%、「思わない」の4.8%となっています。



#### 4. 住まいについて

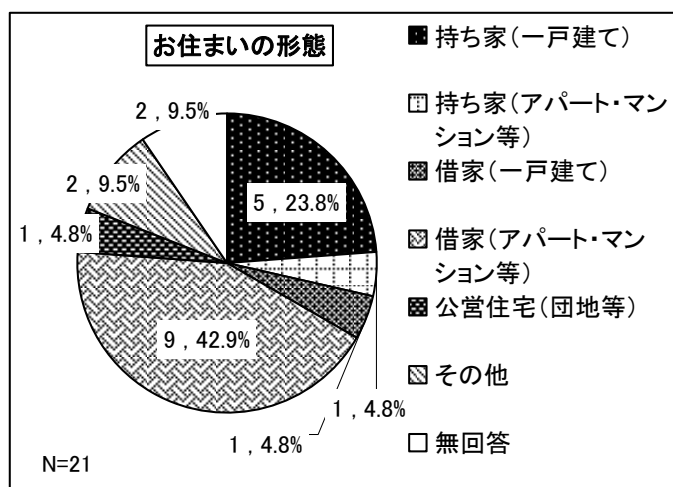
問 38 あなたのお住まいの小学校区は、どこになりますか。（1つだけ○）

お住まいの小学校区をみると、「恩納小学校区」が28.6%で最も多く、次いで「山田小学校区」の19.1%、「安富祖小学校区」及び「喜瀬武原小学校区」、「仲泊小学校区」が同率の14.3%となっています。



問 39 あなたの、お住まいの形態をお聞きします。（1つだけ○）

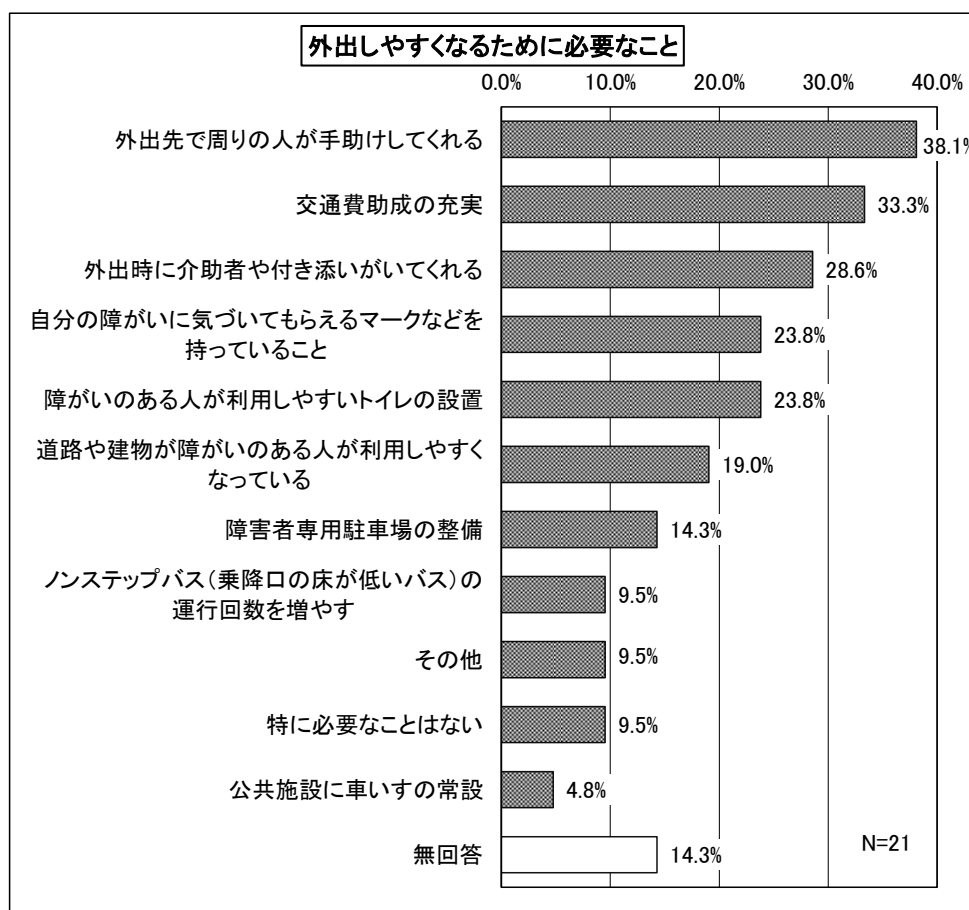
お住まいの形態をみると、「借家（アパート・マンション等）」が42.9%で最も多く、次いで「持ち家（一戸建て）」の23.8%、「その他」の9.5%、「持ち家（アパート・マンション等）」及び「借家（一戸建て）」が同率の4.8%となっています。



## 5. 外出について

問 40 あなたは、お子さんが外出しやすくなるには、どんなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

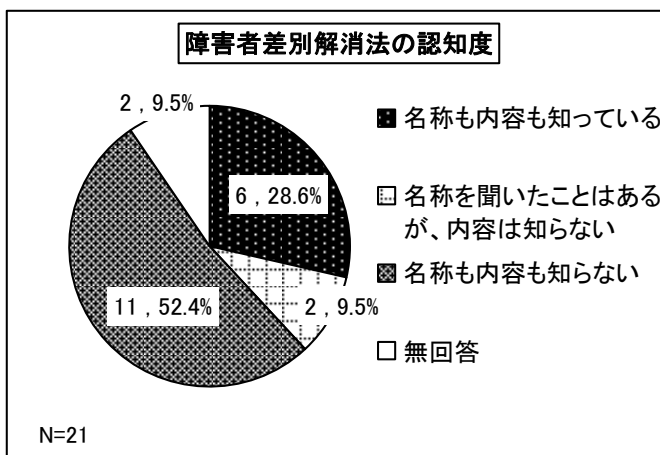
外出しやすくなるために必要なことの第 1 位は「外出先で周りの人が手助けしてくれる」の 38.1%、第 2 位は「交通費助成の充実」の 33.3%、第 3 位は「外出時に介助者や付き添いがいてくれる」の 28.6%、第 4 位は「自分の障がいに気づいてもらえるマークなどを持っていること」及び「障がいのある人が利用しやすいトイレの設置」が同率の 23.8%等となっています。



## 6. 権利擁護について

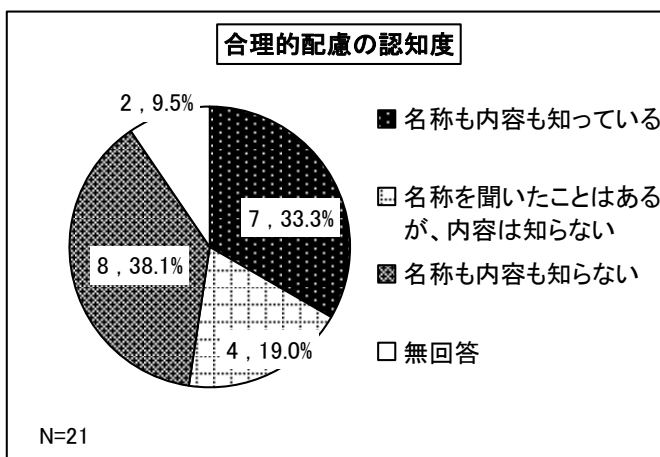
問 41 あなたは、障害者差別解消法についてご存じですか。（1つだけ○）

障害者差別解消法の認知度をみると、「名称も内容も知らない」が52.4%で最も多く、次いで「名称も内容も知っている」の28.6%、「名称を聞いたことはあるが、内容は知らない」の9.5%となっています。



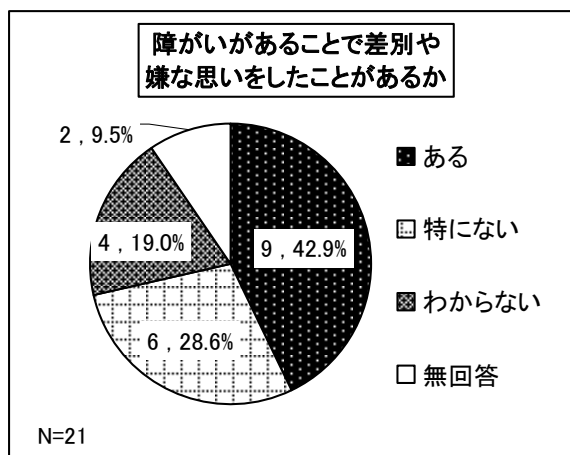
問 42 あなたは、合理的配慮についてご存じですか。（1つだけ○）

合理的配慮の認知度をみると、「名称も内容も知らない」が38.1%で最も多く、次いで「名称も内容も知っている」の33.3%、「名称を聞いたことはあるが、内容は知らない」の19.0%となっています。



問 43 あなたやお子さんは、障がいがあることで差別や嫌な思いをしたことがありますか。（1つだけ○）

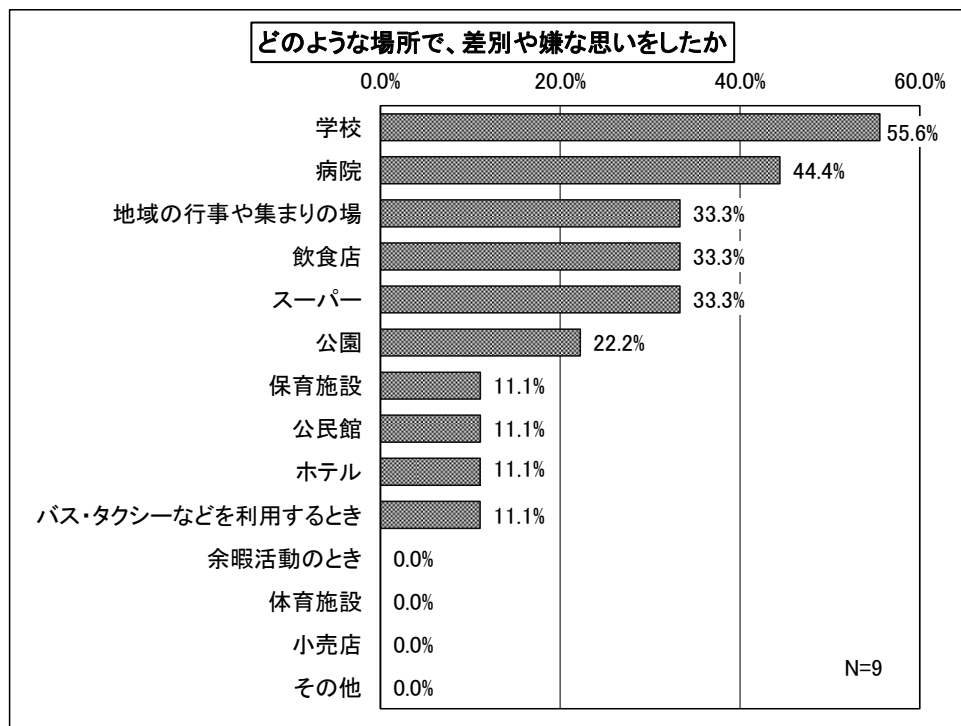
障がいがあることで差別や嫌な思いをしたことがあるかをみると、「ある」が42.9%で最も多く、次いで「特にない」の28.6%、「わからない」の19.0%となっています。



問 44 どのような場所で、差別や嫌な思いをしましたか。（あてはまるものすべてに○）

どのような場所で、差別や嫌な思いをしたかの第1位は「学校」の55.6%、第2位は「病院」の44.4%、第3位は「地域の行事や集まりの場」及び「飲食店」、「スーパー」が同率の33.3%等となっています。

なお、「余暇活動のとき」及び「体育施設」、「小売店」、「その他」との回答はありません。

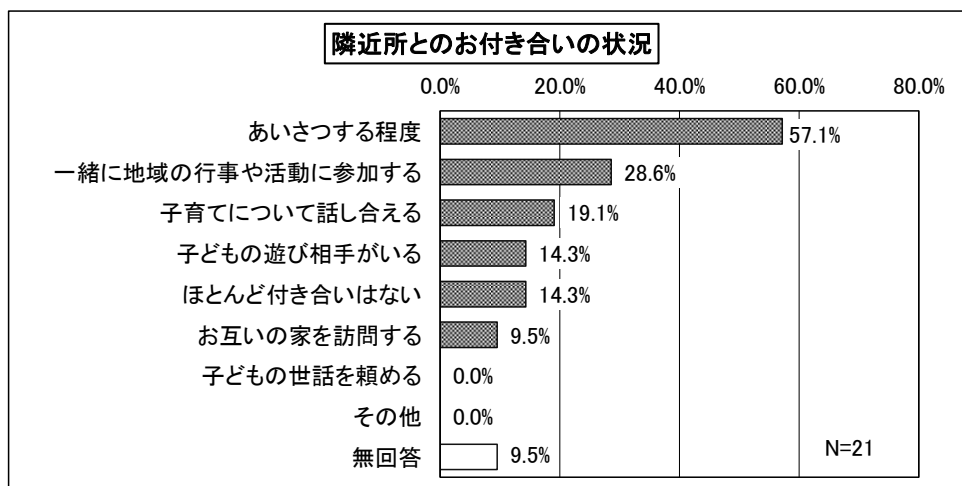


## 7. 地域での暮らしについて

問 45 あなたとお子さんの、隣近所とのお付き合いの状況について教えてください。（あてはまるものすべてに○）

隣近所とのお付き合いの状況の第 1 位は「あいさつする程度」の 57.1%、第 2 位は「一緒に地域の行事や活動に参加する」の 28.6%、第 3 位は「子育てについて話し合える」の 19.1%、第 4 位は「子どもの遊び相手がいる」及び「ほとんど付き合いはない」が同率の 14.3%等となっています。

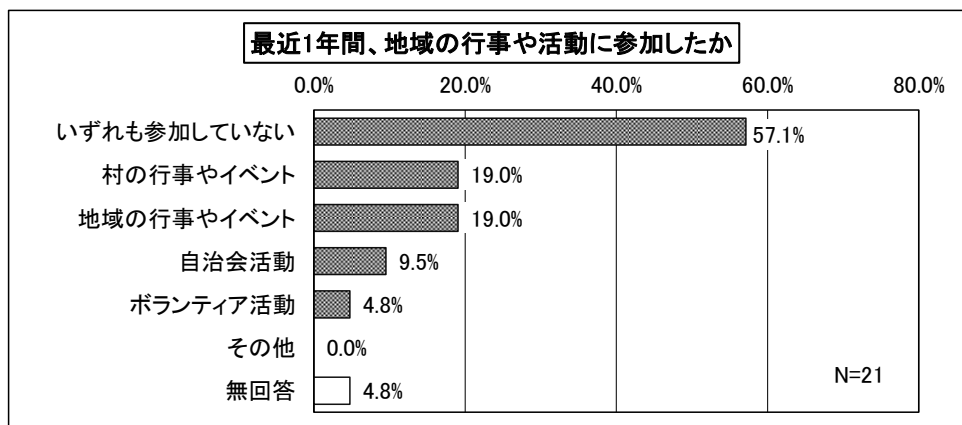
なお、「子どもの世話を頼める」及び「その他」との回答はありません。



問 46 最近 1 年間、お子さんは、地域の行事や活動に参加しましたか。（あてはまるものすべてに○）

最近 1 年間、地域の行事や活動に参加したかの第 1 位は「いずれも参加していない」の 57.1%、第 2 位は「村の行事やイベント」及び「地域の行事やイベント」が同率の 19.0%、第 4 位は「自治会活動」の 9.5%、第 5 位は「ボランティア活動」の 4.8%等となっています。

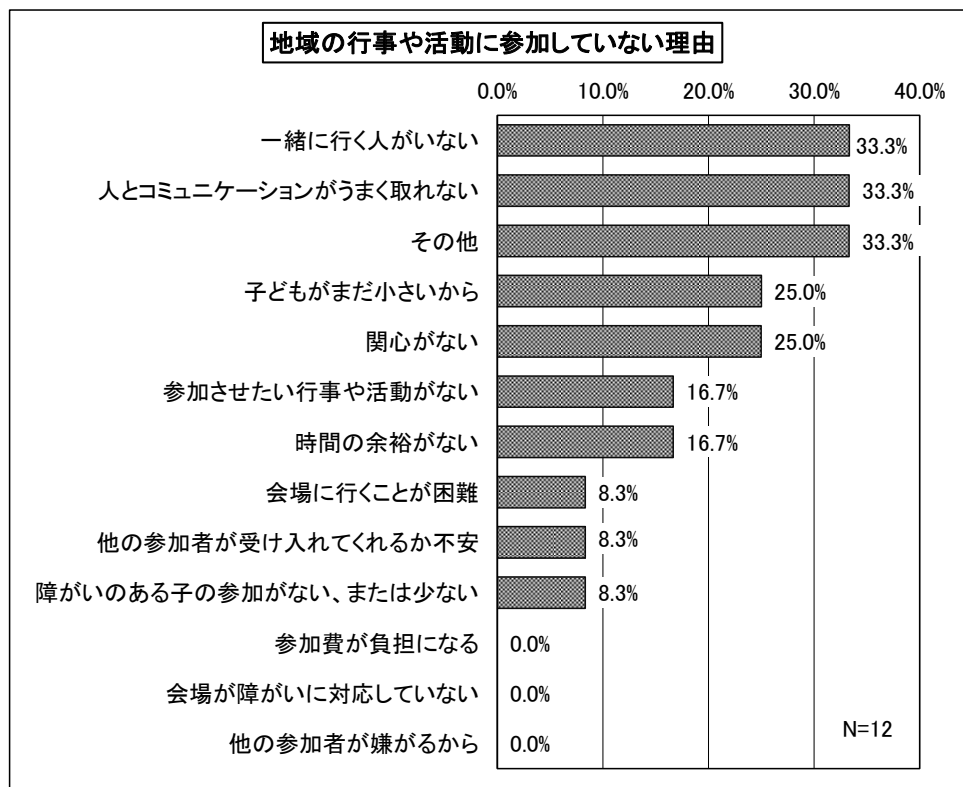
なお、「その他」との回答はありません。



問 47 いずれも参加していないのはどうしてですか。（最大4つまで〇）

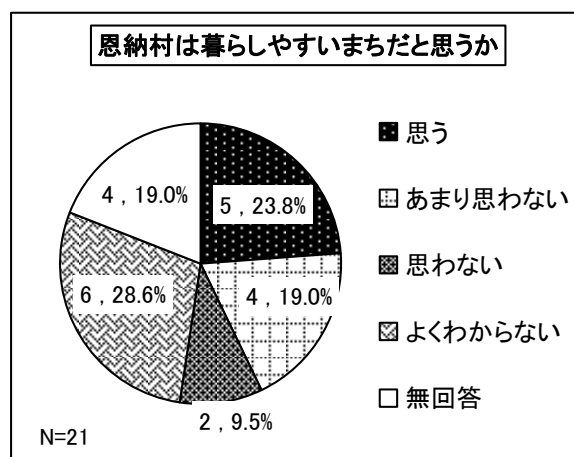
地域の行事や活動に参加していない理由の第1位は「一緒に行く人がいない」及び「人とコミュニケーションがうまく取れない」、「その他」が同率の33.3%、第4位は「子どもがまだ小さいから」及び「関心がない」が同率の25.0%等となっています。

なお、「参加費が負担になる」及び「会場が障がいに対応していない」、「他の参加者が嫌がるから」との回答はありません。



問 48 お子さんにとって、恩納村は暮らしやすいまちだと思いますか。（1つだけ〇）

恩納村は暮らしやすいまちだと思うかをみると、「よくわからない」が28.6%で最も多く、次いで「思う」の23.8%、「あまり思わない」の19.0%、「思わない」の9.5%となっています。

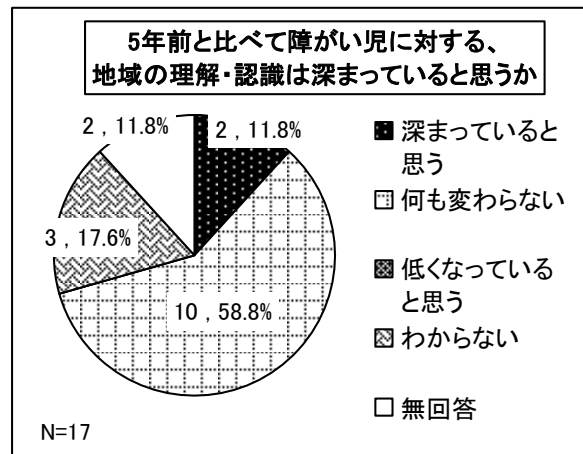




問 49 小学生以上の年齢のお子さんの保護者の方に伺います。あなたは、5年前と比べて障がいのある子に対する、地域の理解・認識は深まっていると思いますか。（1つだけ〇）

5年前と比べて障がい児に対する地域の理解・認識は深まっていると思うかをみると、「何も変わらない」が58.8%で最も多く、次いで「わからない」の17.6%、「深まっていると思う」の11.8%となっています。

なお、「低くなっていると思う」との回答はありません。



## 8. 自由意見

問 50 障がいのある子にかかる施策全般について、ご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

自由意見一覧	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 意見や相談（話）を聞くばかりで実現した試しが無い。「どうせ聞くだけでしょ」ともう思ってしまうから、話しても…ってなる。簡単ではないと思うけど、障害のいる家庭（家族）を困らせないよう、悩ませないよう動いてほしい。あと、自分の子なのに、夫が協力的じゃないので、障害についての大変さを学ぶ、教え合う、父親学級・祖父母への協力参加みたいな講習とか対談会があると嬉しい。（母親ばかりが結局やってるので）</li> </ul>
2	<p>特に幼児期には、手厚いフォローが必要になると思います。家族ケアも、していただけると、安心して子育てに向き合えると思います。後、働ける場所を、増やしてほしいです。</p>
3	<p>母子手帳交付時や母親学級、もしくは、就学前に必ず、障害について学ぶ機会を作ってもらえたら…と思います。知る事が差別の解消に繋がると思います。（障害がある無しに関わらず、自分事として考える機会を!!）ペアトレの導入を希望します。</p>
4	<p>中学校にいるスクールソーシャルワーカーですが、1校に男女いたら助かります。予算的に厳しいのは分かりますが、思春期の息子は異性には相談しづらいと言っていました。あと、普通教室にいるグレーゾーンの子（診断つかない子）のケアも何か無いかな～って思います。</p>
5	<p>中・高生が話ができたり、勉強を教え合ったりできる場所が欲しい。進路の話等ができるとう良いと思う。</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学校に行けない時など放課後デイサービスとは別に、自由に使える施設（運動、学習、趣味）があるといいです。子供の居場所作り。</li> <li>• 普通高校に通うのが難しい子は通信制になると思うので、授業料などの補助があるといいです。</li> <li>• どういう福祉サービスがあるのか、受けられるかの情報が入ってこなく、もっと情報発信してほしい。</li> <li>• 毎年アンケートしていますが、アンケートの結果がどれだけ反映されているか内容知りたいです。</li> </ul>